

平成25年度
第3期行財政経営計画
外部評価報告書

平成26年2月
鈴鹿市行財政経営計画検証委員会

はじめに

少子高齢社会の到来により、将来的に財源の確保がますます困難になることが予想される一方で、社会保障費の増大をはじめ多様化する新たな行政課題への対応が、地方自治体に求められています。

このことは、鈴鹿市においても同様であり、今後は、より効率的で、効果的な行政運営を実現していかなければならない状況にあると考えます。

そのためには、行政運営の効率性を高め、施策を着実に推進し、住民ニーズの変化に的確に対応した施策の選択と展開を図っていく必要があります。

第5次鈴鹿市総合計画の基本計画である「第3期行財政経営計画」に掲げた単位施策については、毎年、行政評価による進行管理が行われていますが、これまでは行政内部の評価に止まっていました。

今回、鈴鹿市行財政経営計画検証委員会が設置され、試行ではありますが、外部からの視点で、内部評価結果に対して検証を行いました。

今後、本評価結果が新たな改善につながることを望むとともに、合わせて鈴鹿市行財政経営計画検証委員会が、外部評価のための検証機関として定着し、行財政経営計画の適切な進行管理が図られることや、さらには、今後の総合計画策定に際しての一助となることを切に願います。

平成 26 年 2 月

鈴鹿市行財政経営計画検証委員会

委員長 杉 浦 礼 子

目次

- 1 行財政経営計画の外部評価導入にあたって・・・・・・・・・・ P. 3

- 2 鈴鹿市行財政経営計画検証委員会について・・・・・・・・・・ P. 4
 - (1) 委員の構成・・・・・・・・・・ P. 4
 - (2) 検証委員会の開催・・・・・・・・・・ P. 4
 - (3) 外部評価の実施方法・・・・・・・・・・ P. 5
 - ①ヒアリングによる検証
 - ②書面審査による検証
 - (4) 外部評価の視点・・・・・・・・・・ P. 7

- 3 外部評価の結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 8

- 4 平成26年度の取組に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 10

- 5 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 12
 - ① 行財政経営計画検証委員会評価結果・・・・・・・・・・ P. 12
 - ② 第3期行財政経営計画 施策体系図・・・・・・・・・・ P. 38
 - ③ 単位施策評価シート・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 46
 - ④ 構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧
・・・・・・・・・・ P. 115
 - ⑤ 行財政経営計画検証委員会 委員名簿・・・・・・・・・・ P. 147
 - ⑥ 鈴鹿市市民委員会規則（一部抜粋）・・・・・・・・・・ P. 148

1 行財政経営計画の外部評価導入にあたって

鈴鹿市の第5次総合計画「みんなで築く鈴鹿夢プラン」は、基本構想、行財政経営計画、実施計画から構成されており、そのうち、基本構想に掲げた政策の実現のために行政がリーダーシップを持って実施していく施策や単位施策について示しているのが行財政経営計画です。

現在、平成24年度から平成27年度を計画期間とする第3期の行財政経営計画に基づき、成果指標及び目標数値を掲げながら、施策及び単位施策に基づく事務事業が推進されています。

また、行財政経営計画の適切な進行管理を図る目的で、単位施策や、単位施策を構成する事務事業において、行政評価を活用したPDCAのマネジメントサイクルによる取組も行われており、平成14年度の事務事業の実施結果に対する事後評価として、平成15年度から事務事業評価が導入されています。

さらに、平成18年度からは、平成17年度の単位施策の実施結果に対する事後評価として、単位施策評価も導入されています。

このように、行政評価は、事務事業の執行結果をもとに、課題を把握し改善につなげるとともに、単位施策評価として、その目標実現に向けて構成する事務事業の方向性や優先順位の判断にも活用されています。

行政評価の実施結果については、評価の透明性や公正性を確保するため公表もされており、市民に対して一定の説明責任を果たすプロセスは確保されていると考えられます。

しかしながら、今後さらに、行政が市民に対する説明責任と受託責任を果たしていく上では、行政評価が行政による自己評価に止まっていること、行財政経営計画の進行管理の検証が3年、ないし4年になっていること、より一層の市民参加のまちづくりを進めていく必要があることなどの課題があります。

そこで、鈴鹿市では、鈴鹿市まちづくり基本条例の趣旨に基づき、より一層の市民参加のまちづくりを進めるために、鈴鹿市行財政経営計画検証委員会を設置し、第3期行財政経営計画の策定に携わった市民の視点及び学識経験者の専門的見地を活用して、外部評価を試行的に行うこととしています。

鈴鹿市行財政経営計画検証委員会においては、平成28年度までの試行期間中に評価方法等の改善、見直しも行い、外部評価の本格実施に向けて、システムの確立を目指していきます。

2 鈴鹿市行財政経営計画検証委員会について

(1) 委員の構成

鈴鹿市行財政経営計画検証委員会（以下、「検証委員会」と呼ぶ。）は、第5次鈴鹿市総合計画の第3期行財政経営計画の適切な進行管理等を検証することを目的としていますので、その委員は、学識経験者1名と、実際に第3期行財政経営計画の策定に携わった総合計画審議会委員の中から、「政策の柱」及び「構想の推進のために」を含む6つの分野が網羅できるように4名の委員を選出し、計5名で構成しています。

また、委員の任期は2年以内となっています。

(2) 検証委員会の開催

検証委員会は、平成25年度に4回開催し、第1回検証委員会では、外部評価の実施方法を決定し、かつ外部評価を実施する前に、鈴鹿市の行政評価の考え方や、行政評価システムの基本的な仕組みを理解するために、鈴鹿市行政評価システムアドバイザーの中澤政直先生を招き、行政評価研修を行いました。

第2回、第3回の検証委員会では、各委員が抽出した単位施策について、担当部署に対するヒアリングによる外部評価を行いました。

また、ヒアリング対象としなかった単位施策については、書面審査による外部評価を行い、第4回検証委員会ですべての評価結果をとりまとめました。

【検証委員会の開催状況】

第1回検証委員会

開催日 平成25年9月10日

内容 委員委嘱、行政評価研修、外部評価実施方法の決定

第2回検証委員会

開催日 平成25年11月26日

内容 ヒアリングによる外部評価の実施（3件）

第3回検証委員会

開催日 平成25年12月17日

内 容 ヒアリングによる外部評価の実施（3件）
書面審査による外部評価実施方法の決定

第4回検証委員会

開催日 平成26年2月4日

内 容 平成25年度第3期行財政経営計画外部評価報告書
（案）に関する協議について
外部評価（ヒアリング及び書面審査）結果の決定

（3）外部評価の実施方法

外部評価による検証は、平成25年度から平成28年度の4年間をかけて試行という形で実施することとされています。

評価対象は、第3期行財政経営計画を構成する124単位施策ですが、すべての単位施策について検証することは困難であるため、検証委員会では、試行期間中に、このうちの約80%（100単位施策程度）にあたる単位施策を外部評価することを目標としました。

また、外部評価の実施方法は、ヒアリングによる方法と、書面審査による方法で検証を行うこととしました。

対象となる単位施策の抽出方法については、第3期行財政経営計画の「政策・テーマ」ごとのバランスを考慮し、各委員の知見を活かせる分野として政策の柱ごとに担当委員を決め、各委員が検証すべきと考える単位施策を抽出しました。それをもとに検証委員会で協議し、平成25年度実施分の25件の単位施策を選定しました（表-1）。

その上で、検証期間等を考慮して、実施方法としては、ヒアリングによる外部評価を6件、書面審査による外部評価を19件としました。

ヒアリング対象は、委員の投票及び検証委員会での協議の結果、委員がヒアリング対象とすべき意見が多かった単位施策を選定しました。

(表-1) 平成25年度外部評価実施単位施策一覧

政策の柱	単位施策コード	主担当課名	単位施策名	評価方法
1	3	図書館	図書館サービスの充実	書面評価
1	8	教育総務課	子どもの教育環境の充実	ヒアリング
1	9	学校教育課	就学前教育の充実	書面評価
1	12	指導課	確かな学力づくり	ヒアリング
3	36	障害福祉課	障がい者福祉の推進	書面評価
3	37	生活支援課	生活保障の確保	書面評価
3	39	長寿社会課	介護保険の推進	書面評価
3	42	産業政策課	働く場の確保と就労支援	書面評価
3	45	健康づくり課	健康診査の推進	書面評価
3	47	保険年金課	医療費助成による生活の安定	書面評価
3	53	男女共同参画課	男女共同参画の総合的な取組の推進	ヒアリング
4	58	市政情報課	ユビキタスネット社会への対応	書面評価
4	65	産業政策課	中小企業の高度化・高付加価値化の推進	書面評価
4	67	商業観光課	商店街の活性化促進	ヒアリング
4	77	産業政策課	新産業の集積の促進	書面評価
5	82	防災危機管理課	市民の防災力強化	ヒアリング
5	88	消防総務課	地域消防力の整備充実	書面評価
5	91	道路整備課	生活道路の整備推進	書面評価
5	94	建築指導課	安全で良質な建築物の確保	書面評価
5	99	水道総務課	企業性を重視した水道事業の経営	ヒアリング
6	106	地域課	市民参加のまちづくりの推進	書面評価
6	107	地域課	市民参加の活動環境の充実	書面評価
6	108	秘書広報課	市民への情報提供の推進	書面評価
6	109	市民対話課	市民の声の的確な把握	書面評価
6	110	企画課	国・県との連携	書面評価

※詳細については、P12 5資料 ①行財政経営計画検証委員会評価結果参照

① ヒアリングによる検証

事前に委員から意見を聴取し、委員意見に対する各担当課からの回答を得て、再度その回答内容について委員から意見を聴取した上でヒアリングを実施しました。

ヒアリングは、1件の単位施策につき、担当課からの説明10分、質疑応答30分、検証委員会としての意見のとりまとめ10分の、計50分間で実施しました。

ヒアリングによる外部評価結果の詳細は、12ページからの資料①

「行財政経営計画検証委員会評価結果」にまとめました。

② 書面審査による検証

ヒアリングと同様に、まず事前に委員から意見を聴取し、委員意見に対する各担当課からの回答を得て、再度その回答内容について委員から意見を聴取した上で、ヒアリング対象以外の単位施策を書面審査の対象としました。

さらに、書面審査対象となった単位施策については、担当課に対して委員からの再意見に対する回答を求めました。

その後、担当課からの再回答に至るまでの一連の経過を踏まえて、各委員が検証を行った後、検証委員会としての外部評価結果をとりまとめました。

書面審査による外部評価結果の詳細についても、資料①「行財政経営計画検証委員会評価結果」にまとめました。

(4) 外部評価の視点

行政が実施した単位施策評価の実施結果を適切に検証するため、外部評価は、単位施策評価シートの項目に基づき、以下の6つの視点から実施しました。

① 目標値は適切に設定されているか（単位施策評価シート項目5）

成果指標の目標値が、現状や実績からみて、かけ離れていないか、適切か。

② 施策が計画どおり進捗しているか（単位施策評価シート項目5）

第5次鈴鹿市総合計画の最終目標に向かって、単位施策を計画的に推進しているか。

③ 総合評価は妥当であるか（単位施策評価シート項目7）

目標の達成状況や構成する事務事業の取組状況を踏まえて評価し

ているか。

④ 課題認識は妥当であるか（単位施策評価シート項目8）

市民ニーズや社会情勢など、行政を取り巻く環境の変化や、今後の予測を踏まえて、課題認識が妥当であるか。

⑤ 今後の取組の方向性は妥当であるか（単位施策評価シート項目9）

課題認識を踏まえて、今後の取組の方向性は妥当であるか。

⑥ その他

単位施策の事業内容に関することやコメントなど、上記の項目以外のこと

3 外部評価の結果について

検証の結果については、ヒアリングによる外部評価および書面審査による外部評価を、いずれも単位施策ごとにまとめました。

以下に、外部評価による検証結果の総括を示しますが、それぞれの単位施策に対する評価内容は、資料①「行財政経営計画検証委員会評価結果」の各評価結果のシートをご参照ください。

【検証結果の総括】

① 目標値は適切に設定されているか

目標値については、全体25件中76%（19件）は適切に設定されているものと考えられましたが、残り24%については、最終目標の設定が低すぎるものや、中間年度の目標値の設定に課題があるものなどがありました。

また、事業中止に伴い成果指標を測ることが出来なくなったものについ

ては、今後、事業を推進していく中で、環境変化を踏まえた課題認識として表記し、市民への説明責任が果たせるようにすべきと考えます。

なお、成果指標については、定量的な指標設定が難しい中、全体的には適切な指標が多かったと考えますが、次期計画策定の際には、単位施策の目的をよりの確に表す指標の設定を求める意見が52%（13件）ありましたので、ぜひ検討すべきと考えます。

② 施策が計画どおり進捗しているか

計画どおり進捗していると判断されたものが全体25件中56%（14件）しかないため、今後、目標達成に向けてさらなる努力が必要と考えます。

③ 総合評価は妥当であるか

全体25件中80%（20件）については、妥当であると考えます。ただし、総合評価として平成25年度の取組結果に基づく自己評価が十分にされていないものや、明確になっていないものがあるため、組織として自己評価をより明確に示していくよう改善を求めます。

④ 課題認識は妥当であるか

全体25件中76%（19件）については、妥当であると考えます。ただし、妥当でないと判断されたものについては、具体的な課題が記載されていないものや、課題認識ではなく取組の内容を記載しているものも見受けられるため、今後は、総合評価を踏まえた課題認識を適切に記載するよう改善を求めます。

⑤ 今後の取組の方向性は妥当であるか

全体25件中84%（21件）については、妥当であると考えます。ただし、具体的な取組の方向性が記載されていないものも見受けられるため、今後は、総合評価、課題認識から導き出される具体的な取組の方向性を分かりやすく記載するよう改善を求めます。

⑥ その他

行政評価の項目以外では、ほとんどすべての単位施策の実施内容に対して意見等が出されました。取組の拡充を求める意見や、取組の早期実施等、改善、見直しを求める意見、国や県との積極的な連携を図ることを求める意見等、多くの意見が提出されましたので、これらも参考にして、行財政経営計画のさらなる推進を図っていただくよう期待します。

また、全体を通しては、概ね妥当な結果であったと考えますが、外部評価による指摘事項からは、具体的で分かりやすい記載に努めることなど、市民に対して説明責任を果たす上で、さらに改善すべき事項もあると考えますので、今後、より精度の高い評価が行えるよう努力すべきと考えます。

4 平成26年度の取組に向けて

平成25年度の検証委員会を振り返ると、全体を通してスケジュールにあまり余裕が無く、会議の開催間隔が短くなったことや、それに伴い資料の確認作業も短期間で行わざるを得ないこと、あるいは限られた時間で外部評価を行っていくため、審議時間の確保に向けて会議運営の効率化を図ることなど、以下のとおり、いくつかの課題が見えました。

【課題の視点】

- ① 評価対象については、4年間で全124単位施策の約80%を目標としていますが、本年度は、時間的な制約から、行政の内部評価に対して各委員の意見を調整するプロセスが確保できなかったこと、それに伴い検証委員会意見を調整するための議論が十分できなかったこと、外部評価に入るまでに単位施策や事務事業の内容を事前に委員が把握する時間がなかったことなどが課題として挙げられます。
- ② ヒアリングによる外部評価においては、次年度以降は、早期にヒアリング対象を選定しスケジュールに余裕を持たすことや、委員が外部評価を確実にできるよう事前の情報提供の充実なども課題と考えます。

- ③ 書面審査による外部評価においても、短期間で各委員の意見を調整する作業に取り組みざるを得なかったことや、単位施策シートや構成する事務事業の課題のみで判断することの難しさなどの課題があります。
- ④ 上記の会議運営面以外の課題として、第3期行財政経営計画の計画期間中での指標変更は基本的にできないとされていることから、設定した指標自体に課題がある場合に、自己評価した結果がどのようにPDCAサイクルを経て改善されているのかが、評価シートからは見えてこないことなど、次期総合計画策定の際には検討すべき問題も見えてきました。

また、行政評価による適切なPDCAサイクルを実現するため、平成25年度に外部評価した結果が、平成26年度の内部評価に対しどのように反映されたのかを確認し、検証を行っていくことも必要と考えます。

以上のようなことから、今後、会議運営の簡素化や、効率的な審議に向けて外部評価を実施するプロセスを見直すなど、改善、見直しを図り、次年度以降も外部評価を通して、信頼性や客観性を一層確保する最適な仕組みを作り上げていただきたいと思います。

そして、総合計画の進行管理を図る最適なマネジメントツールとして、質の高い行政評価システムの構築につながることを望みます。

5 資料

①行財政経営計画検証委員会評価結果

平成25年度行財政経営計画検証委員会 評価対象一覧				
政策の柱	単位施策コード	主担当課名	単位施策名	評価方法
1	3	図書館	図書館サービスの充実	書面評価
1	8	教育総務課	子どもの教育環境の充実	第3回委員会ヒアリング対象
1	9	学校教育課	就学前教育の充実	書面評価
1	12	指導課	確かな学力づくり	第2回委員会ヒアリング対象
3	36	障害福祉課	障がい者福祉の推進	書面評価
3	37	生活支援課	生活保障の確保	書面評価
3	39	長寿社会課	介護保険の推進	書面評価
3	42	産業政策課	働く場の確保と就労支援	書面評価
3	45	健康づくり課	健康診査の推進	書面評価
3	47	保険年金課	医療費助成による生活の安定	書面評価
3	53	男女共同参画課	男女共同参画の総合的な取組の推進	第3回委員会ヒアリング対象
4	58	市政情報課	ユビキタスネット社会への対応	書面評価
4	65	産業政策課	中小企業の高度化・高付加価値化の推進	書面評価
4	67	商業観光課	商店街の活性化促進	第2回委員会ヒアリング対象
4	77	産業政策課	新産業の集積の促進	書面評価
5	82	防災危機管理課	市民の防災力強化	第3回委員会ヒアリング対象
5	88	消防総務課	地域消防力の整備充実	書面評価
5	91	道路整備課	生活道路の整備推進	書面評価
5	94	建築指導課	安全で良質な建築物の確保	書面評価
5	99	水道総務課	企業性を重視した水道事業の経営	第2回委員会ヒアリング対象
6	106	地域課	市民参加のまちづくりの推進	書面評価
6	107	地域課	市民参加の活動環境の充実	書面評価
6	108	秘書広報課	市民への情報提供の推進	書面評価
6	109	市民対話課	市民の声の的確な把握	書面評価
6	110	企画課	国・県との連携	書面評価

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	3	単位施策名	図書館サービスの充実	
主担当所属名	図書館		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	成果指標及び目標値は適切であると判断します。 ただし、ベンチマークを行うなど、目標値の設定根拠が、より明確となるよう今後努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。 今後は、環境変化を意識した工夫を凝らし、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	今後は取組実績の結果を多方面から分析し、その内容を総合評価として記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、現在の課題や状況、ニーズに対応したものに留まるのではなく、将来を見据えた新しい図書館を考え、早期に取組の方向性を示してほしいと考えます。
【6】 その他	図書館の最大の課題は入館者数、貸出数の減少であり、近年の活字離れやSNSの普及などが主な要因であると考えますが、今後、活字離れがますます加速することが考えられますので、図書館をもっと利用してもらえる、身近に感じてもらえるよう努めてください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	8	単位施策名	子どもの教育環境の充実	
主担当所属名	教育総務課		評価方法	ヒアリング評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	成果指標が「実施計画掲載事業の進捗率」となっていますが、実施計画掲載事業は進捗して当然のことと考えます。成果指標の設定が難しいとのことですが、次期計画策定の際には、「利用者満足度」など、確実に事業の成果が把握できるような指標の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画どおり進捗していると考えます。引き続き、目標値が達成できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	平成24年度の取組状況を踏まえた総合評価としては妥当であると考えます。ただし、実施計画搭載事業が増減し目標値が変化するのであれば、市民にとって分かりやすいものとなるよう、数値で表せない部分は総合評価の欄に理由を記載するなど補足するようにしてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	表現が、課題認識ではなく、課題への対応方法になっていますので具体的な課題を記載してください。課題認識であれば、「財政上の制約から必要な施設整備に思うように対応することができない。あるいは、優先順位を定めて、学校施設の整備を進めなければならない。」などの表現が望ましいと考えます。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	今後も計画どおり、学校施設の整備を進めていくという方向性は、妥当であると考えます。
【6】 その他	この単位施策は、多くの事務事業から構成され、かつソフト事業のように単独の事務事業で構成されるものと、施設整備事業のように複数の事務事業で構成されるものが混在しており、事務事業のレベルや改善すべき課題の内容にも非常に差異があると考えます。 このように単位施策の範囲が大きいことから、目的達成のために適切な予算配分がなされたかどうかなどを判断しづらく、課題認識や取組の方向性も分かりにくいのではないかと考えます。 次期計画策定の際には、単位施策及び構成する事務事業の範囲、成果指標の設定などを見直すことも検討してください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	9	単位施策名	就学前教育の充実	
主担当所属名	学校教育課		評価方法	書面評価
関係所属名	教育総務課			

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	未実施であるため、評価ができる状態でないと判断します。 ただし、次期計画策定時には、より適切な成果指標及び目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	未実施であるため、施策の達成度を評価できる状態でないと判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	総合評価であるので、将来の計画を記述するのではなく、単位施策の実施内容及び実施結果を踏まえたうえで、組織としての自己評価を記述するようにしてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、入園児童数が減少している要因は少子化だけではないと考えられますので、魅力ある公立幼稚園として園児が増加するよう、課題の洗い出しに努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、鈴鹿市の幼児教育のあり方がどうあるべきかという原点に戻って検討し、幼稚園の再編整備を進めて欲しいと考えます。
【6】 その他	再編整備を進めるにあたっては、今後も、園児にとって何が最良であるのかの意識を強く持ちながら、効率性とともに検討するよう努めてください。 意見に対する回答内容に、「適正規模の集団」、「適正規模の集団による教育」という言葉がでてきますが、「適正規模」とはどういう考え方なのかを単位施策評価シートにも記載するよう努めてください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	12	単位施策名	確かな学力づくり	
主担当所属名	指導課		評価方法	ヒアリング評価
関係所属名				

評価項目	意見
【1】 目標値は適切に設定されているか	<p>全国学力・学習状況調査の実施結果において全国平均を上回る学校数を成果指標とし、半数の学校が達成することを目標値に設定したことは適切であると考えます。</p> <p>しかし、現在の成果指標では、目標値の算出方法が複雑で理解が難しいため、次期計画策定の際には、市民が理解しやすい成果指標と目標値の設定を検討してください。</p>
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	<p>目標値に対する実績値から見て、計画どおり進んでいるとは言えない状況にあると考えます。</p> <p>目標達成に向けて、努力してください。</p>
【3】 総合評価は妥当であるか	<p>妥当であると考えます。</p>
【4】 課題認識は妥当であるか	<p>学力保障が教育の最重要課題のひとつであるという認識は妥当であると考えます。</p> <p>ただし、鈴鹿市は全国的にみて、外国人の数が多いため、日本語力が未熟な児童生徒も少なからずいるといった社会的要因も課題のひとつではないかと考えます。</p>
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	<p>今後の取組の方向性については概ね妥当であると考えます。</p> <p>ただし、学力・学習調査では生活面の調査も実施しているため、その調査から見えてくる生活面の課題改善の視点からも、取組の方向性を検討してください。</p> <p>また、学力の向上には、学習指導が大きく影響すると考えられます。このため、教職員が、充実した学習指導を行っていただけるように、教育環境の改善に向けた取組の方向性も検討してください。</p>
【6】 その他	<p>今後も、引き続き、学力向上に向けた取組を推進してください。</p> <p>なお、単位施策評価にあたっては、学力調査時期が年度当初であることから、評価シートには当該年度の取組の成果がまだ反映されていないことから、そのような状況を分かりやすく記載するなどの努力も必要であると考えます。</p> <p>また、外国人児童生徒の学力向上を図るには、きめ細かな支援が必要であり、このことも課題のひとつと捉え、市全体の学力が向上するような取組を推進することが必要と考えます。</p>

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	36	単位施策名	障がい者福祉の推進		
主担当所属名	障害福祉課		評価方法	書面評価	
関係所属名	建築指導課				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	成果指標及び目標値の設定は適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	妥当であると判断します。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	妥当であると判断します。
【6】 その他	<p>今後も障がい者の活動の場の確保に努めてください。</p> <p>障がい者が安心して生活のできるグループホーム、ケアホームの適切な充実と、障がい者の自立に向けた取組をしっかりと推進してください。</p> <p>構成する事務事業の内、13事業については課題が記載されていないが、課題が全く無いものであるのか、さらに検討を行ってください。</p>

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	37	単位施策名	生活保障の確保	
主担当所属名	生活支援課		評価方法	書面評価
関係所属名	保険年金課			

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に 設定されているか	成果指標及び目標値は適切であると判断します。 ただし、目標値の設定根拠が、より明確となるよう今後努めてください。
【2】 施策が計画どおり 進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は 妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は 妥当であるか	妥当であると判断します。
【5】 今後の取組みの方向性 は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題認識の内容を踏まえ、それらを解決するような取組を今後の方向性についても記載するよう努めてください。
【6】 その他	特になし。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	39	単位施策名	介護保険の推進	
主担当所属名	長寿社会課		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。 ただし、現在の参加者数は、平成25年度、26年度の目標値には達していない状況ですので、今後それぞれの目標値を達成できるよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。 介護予防事業への参加者の約78%が改善していることは、良い数値であるため、推進方法は適切であると考えます。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、地域包括支援センターとの連携の中で認識された課題を具体的に記載するようにしてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、介護予防を推進するために何をしていくのかを具体的に記載するよう努めてください。
【6】 その他	介護保険料の適切な賦課徴収及び介護を必要としない高齢者を増やす取組をしっかりと推進してください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	42	単位施策名	働く場の確保と就労支援	
主担当所属名	産業政策課		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	成果指標を就職率とし目標設定したことは理解しますが、三重県下における産業構造等の特徴や有効求人倍率の推移の状況を踏まえると、目標値を上方修正することが必要ではないかと考えます。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対してやや実績値が下回っているが、概ね計画どおり進捗していると判断します。引き続き、関係各署と連携し、戦略的に鈴鹿市の産業人材を確保、育成してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	平成24年度の取組み状況を踏まえた総合評価としては概ね妥当であると判断します。ただし、事業の実施結果を踏まえた自己評価を記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 ただし、今後は、日本全体で労働力の不足が大きな問題になると考えられるため、高齢者や女性の活用を促進する必要があり、それらを妨げている課題も整理し、関係部署と協力しながら対策を進めてください。 また、高齢者や女性の雇用促進に係る啓発活動については、雇用する側、雇用される側の双方における課題を把握し、今後取り組んでください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、新規起業を支援する取組については、就労支援だけでなく、経済活動の活性化を促す意味で力強く推進していくことが必要と考えます。
【6】 その他	市独自の取組として、地域産業活性化や就労のための研修等を実施していますが、それらが有効的なものとなっているか、就職率改善に効果が出ているか、他に有効な手段がないか等、今後、検証を行ってください。 就職率の改善に向けては、ハローワークとの連携を深めて相乗効果を発揮するよう努めてください。 また、国や県の取組をうまく活用することにより企業を活性化し雇用の場を確保することで、就職率の改善を図ることも検討してはとを考えます。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	45	単位施策名	健康診査の推進		
主担当所属名	健康づくり課		評価方法	書面評価	
関係所属名	保険年金課				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね妥当であると判断します。 ただし、成果指標としている健康診査等の受診者数は、国の制度の変更により増減するなどPDCAが実施しにくい課題もあるため、次期計画策定の際は多面的な検討を重ね、確実に事業の進捗状況が把握できるような指標及び目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね目標値を達成しているものと判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、実施結果を踏まえた自己評価を記載することや成果を表す具体的な数値を用いるなどをして、明確に表現するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、各事業における具体的な問題点やその要因を踏まえて課題認識を記載するように努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	健康診査の受診率を上げるだけでなく、受診した本人が健康診査の結果を受け、病院にかかるなど何らかの対応をすることが重要ですので、このことを意識付けをするために、啓発を行っていくことが必要であると考えます。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	47	単位施策名	医療費助成による生活の安定	
主担当所属名	保険年金課		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	目標値の設定は適切であると判断します。 ただし、助成対象者数が増加することを目標としているのか、漏れなく助成を受けさせることを目標としているのか等の、目標値設定の考え方をわかりやすくするよう努めてください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と判断します。 ただし、【1】で述べたように、目標値設定の考え方が明確でない部分があり判断しづらいため、目標値の達成状況が把握しやすい記載に努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 ただし、課題内容に、住所地による格差、近隣市町の動向を踏まえて施策を検討という記載がありますが、施策の課題認識は鈴鹿市が状況等の判断を行った上で判断し記載すべきと考えます。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 ただし、具体的な内容が分かりにくいいため、医療費助成の目標とするビジョンを明確にし、さらに課題を洗い出し、今後の方向性を示すよう努めてください。
【6】 その他	適正な医療費助成に努めるとともに、不正受給を未然に防ぐ仕組みも考えてください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	53	単位施策名	男女共同参画の総合的な取組の推進		
主担当所属名	男女共同参画課		評価方法	ヒアリング評価	
関係所属名	子育て支援課				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	<p>実現可能な範囲で、かつ積極的な目標値の設定がなされており、現時点での目標値としては適切に設定されていると考えます。</p> <p>ただし、今後、行政の取組だけでなく、民間も含めた市全体としての男女共同参画社会の実現という、この施策の目的にさらに合致した成果指標及び目標値の設定も検討してください。</p>
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	<p>審議会等への女性登用率が着実に上昇していることは評価できますが、目標値に対する実績値から見て、計画通り進んでいないと考えます。</p> <p>引き続き、目標値を上回ることができるように努力してください。</p>
【3】 総合評価は妥当であるか	<p>妥当であると考えます。</p>
【4】 課題認識は妥当であるか	<p>「取組を加速していく必要がある」という認識は妥当であると考えますが、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)を実践できる体制づくり、企業に対する啓発、防災分野など女性登用率の低い審議会等への対応など、具体的な課題をできる限り記載するようにしてください。</p>
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	<p>登用率の上昇に苦慮している所属等に対し、具体案の提案等を積極的に働きかけることや、相談事業から導き出される課題を分析し、啓発事業の中で効果的な取組を行うという方向性は妥当であると考えます。</p> <p>また、現状把握のためのアンケート調査を実施し、分析することも必要と考えます。</p>
【6】 その他	<p>男女共同参画都市宣言を行い、さらに市長が内閣府の男女共同参画会議 監視専門調査会に委員として参加するなど、国の施策等と連携を図っていく良い時期であり、先進的な取組を進めるようにしてください。</p>

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	58	単位施策名	ユビキタスネット社会への対応	
主担当所属名	市政情報課		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	成果指標が「地域WiMAXの加入世帯割合」となっていますが、地域WiMAXは事業会社が事業を中止したため、新たな成果指標及び目標値を設定する必要があると考えます。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	地域WiMAX事業の中止により、進捗状況を評価ができる状況でないと判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	指標とする地域WiMAX事業が中止になったことから、総合評価の妥当性を判断することは難しいため、取組の方向性、内容を明確にする必要があると考えます。
【4】 課題認識は妥当であるか	改善すべき課題を整理しており概ね妥当であると考えますが、市として取組を行っていく上での課題を記載するよう努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	改善すべき課題を整理していますが、地域WiMAX事業中止に伴う、代替事業の方向性を早急に出し、より具体的に示してください。 また、代替事業が決定した際は、スピード感をもって事業を実施してください。
【6】 その他	単に情報通信ネットワークを構築するだけでなく、情報ネットワークが市の活性化に繋がっていくような取組を積極的に推進してください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	65	単位施策名	中小企業の高度化・高付加価値化の推進	
主担当所属名	産業政策課		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	適切であると判断します。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 ただし、支援内容や支援を行ったことによる効果をより明確に記載するように努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	課題認識ではなく、課題への対処方法を記載していますので、中小企業の高度化・高付加価値化を推進する上での具体的な課題の内容を記入してください。 また、企業訪問のアドバイザーとアドバイスを受けた双方の分析により明らかとなった課題も記載するように努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	新規事業への参入に関して、中小企業が独自に進めることはなかなか困難であると考えられるため、市として積極的にアドバイス等支援を行うことが望ましいと考えます。 国や県の中小企業活性化のための事業とうまく連携して取組を推進することも必要と考えます。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	67	単位施策名	商店街の活性化促進	
主担当所属名	商業観光課		評価方法	ヒアリング評価
関係所属名				

評価項目	意見
【1】 目標値は適切に設定されているか	商店街の活性化を示す適切な成果指標の設定が困難なため、代理指標を用いることは止むを得ないもので、目標値の設定も適切なものと考えます。 しかし、次期計画策定の際には、「商店街等が、にぎわいを取り戻し、活性化している」という本来の目的がより明確となるような成果指標と目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対して実績が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と考えます。引き続き、目標達成に向け、対象となる全ての商店街が、活性化促進事業に参画するよう、努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると考えます。
【4】 課題認識は妥当であるか	商店街における組織的な活動や体制の維持が困難であるという課題認識は妥当であると考えます。 しかし、商店街を取り巻く環境変化等、その困難な状況を踏まえて、その状況を改善していくにあたって、対応すべき具体的な課題をできる限り記載してください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	商店街の維持を図るため、事業費補助の継続や広報活動への支援を行うことは、取組の方向性として妥当であると考えます。
【6】 その他	商店街等がにぎわいを取り戻し、活性化することがこの単位施策の目的であることから、商店街等活性化促進事業は、イベント等の単発事業費への補助だけでなく、商店街が継続的に活性化するための取組に対する支援制度となることが望ましいと考えます。 このため、対象である9つの商店街のうち、補助申請が5つの商店街のみということであれば、現在の1商店街に対し1事業補助という支援制度のあり方を再検討するとともに、さらに実効性のある支援制度の設計も検討する必要があると考えます。 また、今後は、活性化促進事業に係る補助だけでなく、商業団体及び団体の構成員の意識も変わっていくように努めてください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	77	単位施策名	新産業の集積の促進	
主担当所属名	産業政策課		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね妥当であると判断します。 ただし、次期計画策定時には取組内容を再検討し、適切な成果指標及び目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	燃料電池関連機器等新分野の開発に取組む事業者がいなくなったため、現時点では施策が計画どおり進捗しているとは言い難い状況と考えます。
【3】 総合評価は妥当であるか	現時点での総合評価としては概ね妥当であると判断します。 ただし、取組内容を模索している段階であるため、単位施策の目的に沿って総合評価の妥当性を判断することは難しいと考えます。
【4】 課題認識は妥当であるか	現時点での課題認識としては、妥当であると考えますが、取組内容を模索している段階であり、単位施策の目的に沿って課題認識の妥当性を判断することは難しいと考えます。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	今後の取組として、鈴鹿地域産業活性化基本計画に基づき、地域の特性を生かした地域活性化への取組を計画的に推進していく方向性は妥当であると考えます。
【6】 その他	新産業の集積にあたっては、鈴鹿市単独で実施することは困難であるため、国や県の新産業育成施策とうまく連携して協働で推進することが効果的ではないかと考えます。 少し先の将来を見据えて、鈴鹿市に最適な次世代産業の分野を決めて、新産業集積に向けた具体的な取組を推進してください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	82	単位施策名	市民の防災力強化	
主担当所属名	防災危機管理課		評価方法	ヒアリング評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	<p>成果指標「自主防災活動に対する市民の認識率」は、市民防災講演会等でのアンケート結果を基に実績を算出していますが、母数が少ないことや、防災講演会の対象者(年齢層)が毎年変わるなど、経年変化を確実に捉えることができないと考えます。</p> <p>年間150回行っている講演会等で地域や年代等も把握した上でアンケートを行い、対象者を拡大するなど、実績の算出方法を再検討してください。</p> <p>また、単位施策名が「市民の防災力強化」であるので、次期計画策定の際は成果指標を「自主防災組織の組織率」とするなど、本来の目的がより明確となるような成果指標の設定を検討してください。</p>
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	<p>目標値に対して実績値が下回っており、計画どおり進捗しているとは言い難い状況と考えます。</p> <p>目標達成に向け努力してください。</p>
【3】 総合評価は妥当であるか	<p>総合評価であるので、単位施策の実施結果及び達成状況を踏まえたうえでの、組織としての自己評価をより明確に示すようにしてください。</p>
【4】 課題認識は妥当であるか	<p>「「自助」、「共助」をより一層強化する必要がある」ということは理解できますが、課題認識は、事業の内容を記載するのではなく、例えば、地域における防災意識の違いやリーダーの有無などから自主防災隊の取組に温度差が生じていることや、災害時に行動できる市民を増やすことなど、具体的な課題を明確に示すようにしてください。</p>
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	<p>方向性は概ね妥当であると考えますが、次期計画の策定時には、「市民が防災について理解する」ことから一歩進んで、「市民が防災について行動する」ようなステップアップした取組を検討し、成果指標の目標値を達成できるような具体的な内容を記載するよう努めてください。</p>
【6】 その他	<p>市民の概念を広く捉えて企業等にも啓発を行っていくなど、単位施策の目的や成果指標に合うように、啓発の対象を拡大していくことも必要であると考えます。</p>

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	88	単位施策名	地域消防力の整備充実		
主担当所属名	消防総務課		評価方法	書面評価	
関係所属名	消防課				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	<p>成果指標は適切であると考えますが、平成25年度目標値の2500人は、平成24年度実績値の5353人からみて、約半数の低い数値であり適切な目標値であるとは言い難いと考えます。</p> <p>災害直後はモチベーションが高まり訓練参加者が一時的に多くなっていると考えますが、実績値から見て現状に近い数値を目標値に設定することが望ましいと考えます。</p>
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	<p>現在の成果指標及び目標値のもとでは、計画以上の進捗状況であると判断します。</p>
【3】 総合評価は妥当であるか	<p>総合評価であるので、単位施策の実施内容及び実施結果を踏まえたうえでの、組織としての自己評価をより明確に示すようにしてください。</p>
【4】 課題認識は妥当であるか	<p>概ね妥当であると判断します。</p> <p>ただし、記載内容は、課題ではなく目標とすべき姿や採るべき施策にあたる考えられますので、それらを実現するに当たり、解決すべき具体的な課題を記載するようにしてください。</p>
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	<p>概ね妥当であると判断します。</p> <p>ただし、記載内容は5年後、10年後、どの時点でも言える表現となっているため、第3期行財政経営計画の期間中において、重点的に推進する項目や、達成したい項目を具体的に記載するようにしてください。</p>
【6】 その他	<p>単位施策は地域消防力の整備充実であるので、自助・共助の考えの下で行動できる市民が、より増加するような事業計画を立ててください。</p> <p>自主防災隊を組織化しただけでは効果が無いので、自主防災隊の取組を活性化させることが必要と考えます。また、自宅以外に事業所など様々な場所で被災する可能性があるため、様々な形態の防災隊が存在しても良いと考えます。</p> <p>消防分団の分団員確保に、行政区単位での定数設定が問題になっているのであれば、それを課題として捉え、早急に改善に取り組む必要があると考えます。</p>

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	91	単位施策名	生活道路の整備推進		
主担当所属名	道路整備課		評価方法	書面評価	
関係所属名	道路用地課	建築指導課			

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	生活道路の整備推進を示す適切な成果指標の設定が困難なため、代理指標を用いることは止むを得ないと考えます。このため、目標値は概ね適切であると判断します。 ただし、現在の成果指標では、成果指標及び目標値の算出方法が理解し難いため、次期計画策定の際には、市民が理解しやすい成果指標、目標値を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	財政上の制約があるのはどの施策でも同じであり、事業の優先順位付け等における具体的な課題を洗い出し記載してください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	事業の優先順位付けをどのような要因等に基づいて行っているのか、根拠を明確にし説明できるようにする必要があると考えます。
【6】 その他	成果指標である市道整備率は、市民にとって理解がしづらいため、分かりやすい表現、説明に努めてください。 構成する事務事業「道路、橋梁新設改良事業」等においても、①公共性②安全性③緊急性④便益性⑤その他の5点の評価指標に基づき、地元要望を客観的に評価することで、投資効果が高い事業を選択し、実施していくことを望みます。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	94	単位施策名	安全で良質な建築物の確保	
主担当所属名	建築指導課		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	<p>目標値の設定は適切であると判断します。</p> <p>ただし、現在の成果指標は完成時点における安全性の確保のための指標であり、建築物の安全性確保が目的ならば、「特殊建築物等の定期報告率」とするなど、次期計画策定時には使用中の建築物の安全性の確保につながる指標の設定を検討してください。</p>
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	<p>目標値をやや下回っていますが、ほぼ計画どおり進捗していると判断します。</p>
【3】 総合評価は妥当であるか	<p>妥当であると判断します。</p> <p>引き続き、建築物安全性確保の徹底に向けて啓発活動をお願いします。</p>
【4】 課題認識は妥当であるか	<p>建築基準法の実効性を高めるためのさらなる取組や、そのために今後実施する方策について、的確に対応していくための具体的な課題を記載するよう努めてください。</p>
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	<p>具体的な取組の方向性について記載するよう努めてください。</p>
【6】 その他	<p>安全で良質な建築物の確保は、そこで居住する人々の安全だけでなく地域住民の安全を保障するものであると考えますので、平成8年以前に建築された既存住宅に対する安全確保も同時に保障するよう努めてください。</p> <p>近年、建築物、特に特殊建築物(ホテル、病院、アパートなど)で起きた、大きな事故や災害の報道を見ることがあります。次期計画策定において建築物の安全性確保を単位施策として継続するのならば、関係機関との連携のもと、特殊建築物等の定期報告件数を指標にできないか検討してください。</p>

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	99	単位施策名	企業性を重視した水道事業の経営	
主担当所属名	水道総務課		評価方法	ヒアリング評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	現在の成果指標「経常収支比率」のもとでは、目標値の設定は適切であると考えますが、単位施策の内容からすると、成果指標そのものがあまりにも大きすぎるのではないかと考えます。 このため、単位施策の内容が分かりづらくなっているため、次期計画策定の際には、構成する事務事業から具体的に成果が推し計れる成果指標の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	成果指標及び目標値のもとで、計画どおり進捗していると考えます。 今後も、安全で安心できる水質を維持し、かつ、経費削減とのバランスを意識しながら、経常収支比率が100%以上を確保できるよう努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	目標値に対する達成状況等を踏まえた総合評価としては妥当であると考えます。 ただし、【1】で述べたような新たな成果指標の設定等も含め、総合評価として、より明確に単位施策の達成状況等を示すことができるように検討してください。
【4】 課題認識は妥当であるか	「給水収益の増加が期待できない中、更なる経営努力が必要」という課題認識は妥当であると考えますが、次期に定めるべき目標を明確にしていくためには、より具体的な課題内容を記載するように努めてください。 また、構成事務事業における「改善すべき課題の具体的な内容」を適切に把握し、単位施策の課題として反映していくように改善してください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	中長期的な視点から予算編成を行い安定的な水道事業の運営を目指すことは、取組の方向性としては妥当であると考えますが、今後は、さらに具体的な取組の方向性が見えるような記載にしてください。
【6】 その他	特にありません。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	106	単位施策名	市民参加のまちづくりの推進	
主担当所属名	地域課		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切に設定されていると判断します。 ただし、次期計画策定時には、より成果を把握できる指標の設定も検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	概ね計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。 ぜひ、多くの地域組織が設立されるように進めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、課題解決に向け取り組むべきと考えている具体的な内容を記載するように努めてください。
【5】 今後の取組の方向性は妥当であるか	優先する取組の方向性や優先順位の考え方についても具体的に記載するように努めてください。
【6】 その他	地域づくりアドバイザーの活用のほか、他地域の成功事例を情報共有する場を作り、地域づくり協議会の育成を早期に進めてください。 地域組織が良いまちづくりを行うことが目的であり、具体的な効果が上がるような行政からの指導、助言が必要と考えます。 地域組織がどのような役割と責任を担う組織であるのか広く周知するとともに、職員に対しては強く意識付けを行うようにしてください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	107	単位施策名	市民参加の活動環境の充実	
主担当所属名	地域課		評価方法	書面評価
関係所属名				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね妥当であると判断します。 ただし、次期計画策定時には、より施策の進捗状況を表す指標と目標値の設定を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	計画どおり進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、構成事務事業の課題にも挙げられている、市民の活動の理解、認識を広めるための課題や地域コミュニティの場としての役割を明確化するために取り組むべき課題についても、記載すべきと考えます。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	市民が街づくりの活動を行う施設に係る取組については、設置や改修の面だけではなく、有効に活用されているかの視点も含め、関係部署と連携し取り組んでください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	108	単位施策名	市民への情報提供の推進	
主担当所属名	秘書広報課		評価方法	書面評価
関係所属名	市政情報課			

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	過去の実績から見て、最終年度の目標値の設定は妥当であると判断するが、各年度ごとに設定している目標値では最終目標が達成できないと考えられます。 また、次期計画策定時には、より単位施策の進捗状況を表す指標を検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対し、実績値は下回っており計画通り進捗しているとは言い難い状況と判断します。 市民をはじめとする利用者等の意見に耳を傾けながら、目標値の達成に向けて努力してください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。 ただし、総合評価であるため、ホームページだけでなく、他のメディアについてもどのような結果であったか記載するよう努めてください。
【4】 課題認識は妥当であるか	概ね妥当であると考えます。 優先順位が高い構成事務事業で挙げている課題についても、課題認識に記載するように努めてください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【6】 その他	今後も情報の受け手のニーズを把握し、細やかな情報提供に努めてください。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	109	単位施策名	市民の声の的確な把握		
主担当所属名	市民対話課		評価方法	書面評価	
関係所属名	秘書広報課				

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	概ね適切であると判断します。 ただし、次期計画策定時には、より成果を把握できる指標の設定も検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値に対する実績値から見ると、計画通り進んでいないと判断します。 引き続き、目標値を達成するよう努めてください。
【3】 総合評価は妥当であるか	概ね妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	「市政への提言」の数がなぜ減少したのかを考え、具体的な課題を記載してください。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	具体的な取組みの方向性を記載するよう努めてください。
【6】 その他	良い意見・悪い意見を適切に判断出来る組織づくりに努めてください。 また、建設的な提案をどこが取り上げ、どのように推進しているか、市民の声を受ける担当課が、市民の立場から判断しているか等が見えないため、今後は行政の対応がより市民に分かるよう努めてください。 まちづくり基本条例、意見公募手続要綱などの制度がうまく機能するように、広聴事業はどうあるべきか、広聴の中心の課として市民対話課がリーダーシップをとることが望ましいと考えます。

平成25年度 行財政経営計画検証委員会 評価結果

単位施策コード	110	単位施策名	国・県との連携	
主担当所属名	企画課		評価方法	書面評価
関係所属名	総務課			

評価項目	委員会意見まとめ
【1】 目標値は適切に設定されているか	目標値は概ね適切に設定されていると判断します。 ただし、次期計画策定時には、より成果を把握できる指標の設定も検討してください。
【2】 施策が計画どおり進捗しているか	目標値をやや下回っていますが、概ね計画どおりに進捗していると判断します。
【3】 総合評価は妥当であるか	妥当であると判断します。
【4】 課題認識は妥当であるか	妥当であると判断します。
【5】 今後の取組みの方向性は妥当であるか	妥当であると考えます。
【6】 その他	要望内容の重要度は、提出する側と受け取り側で異なるため、対応率の向上は市の努力で達成できない面もあり、今後はより適切な成果指標の検討が必要と考えます。 国や県との連携はますます重要になり、地方自治の強化を推進中とのことですが、市単独では出来ないことも多くなっていると考えられますので、市の対外窓口としての組織には、相当深い知識と積極的な取組姿勢を持った優秀な人材を配置する必要性を強く感じます。

②第3期行財政経営計画 施策体系図

政策
の柱

第1章 人と文化を育むまちづくり

政策-1 「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります

施策-1 生涯学習の推進

単位施策	担当課
1 地域・家庭・学校の連携による青少年育成活動の支援	生涯学習課
2 地域における学習活動の推進	生涯学習課

施策-2 学びの場の充実

3 図書館サービスの充実	図書館
4 高等教育機関との連携	企画課

施策-3 子どもを育てやすい環境づくり

5 生み育てやすい地域社会づくり	子育て支援課
6 子育て家庭への支援	子育て支援課
7 保育環境の充実	子育て支援課

施策-4 子どもの教育の充実

8 子どもの教育環境の充実	教育総務課
9 就学前教育の充実	教育総務課 学校教育課
10 学校教育の充実	学校教育課
11 学校教育を支える地域社会づくり	青少年課
12 確かな学力づくり	指導課
13 人権教育の推進	人権教育課
14 学校教育の支援・研究	教育研究所
15 教育相談の充実	教育研究所

施策-5 生涯スポーツの推進

16 市民参加型スポーツの推進	スポーツ課
17 快適に利用できる運動施設の整備・運営	スポーツ課

施策-6 みんなでまもり、育てる青少年の健全育成

18 子どもの安全安心ネットワークの充実	青少年課
19 青少年の健全育成	青少年課

政策-2 魅力ある「すずか文化」を受け継ぎ、生み出していきます

施策-7 文化財の保護・保存・継承・活用

20 文化財を発掘・保存・活用したまちづくりの推進	文化課 考古博物館
---------------------------	--------------

施策-8 文化活動の促進

21 市民参加型文化事業の推進	総務課 文化課
22 文化的施設の整備・運営	文化課

第2章 環境と共生するまちづくり

政策-3 環境への負荷の少ない循環型社会を進めます

施策-9 ごみの減量活動の推進

単位施策	担当課
23 リサイクル施策の推進と資源化の促進	土木総務課 市街地整備課 建築指導課
24 廃棄物の適正処理による健全な環境の確保	廃棄物対策課 開発整備課 清掃センター グリーンセンター
25 循環型社会に向けた基盤整備	開発整備課

政策-4 自然環境を保全するとともに、快適な生活環境を維持します

施策-10 地球温暖化防止活動の推進

26 新エネルギーの導入促進	環境政策課
27 地球温暖化対策実行計画の推進	環境政策課 建築指導課
28 地球温暖化防止啓発活動の推進	環境政策課

施策-11 適正な水環境の保全

29 自然環境の保全	環境政策課
30 緑化施策の推進	市街地整備課 道路保全課

施策-12 生活排水対策の推進

31 農業集落排水の整備	集落排水課
32 合併処理浄化槽の設置促進	環境政策課
33 公共下水道（汚水）の整備	下水管理課 下水建設課

施策-13 良好な生活環境の確保

34 環境美化及び公衆衛生の向上	環境政策課
35 生活環境を守る取組	環境政策課

第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり

政策-5 みんなで支えあう福祉のまちをつくります

施策-14 福祉サービスの充実

単位施策	担当課
36 障がい者福祉の推進	障害福祉課 建築指導課
37 生活保障の確保	生活支援課 保険年金課
38 高齢者福祉の推進	長寿社会課
39 介護保険の推進	長寿社会課
40 住生活基本計画の推進	住宅課
41 地域福祉活動の推進	生活支援課

施策-15 労働環境の充実

42 働く場の確保と就労支援	産業政策課
43 勤労者福祉の促進	産業政策課

政策-6 いつも健康で暮らせるまちにします

施策-16 健康づくりの推進

44 健康づくりの啓発の推進	健康づくり課
45 健康診査の推進	健康づくり課 保険年金課

施策-17 医療体制・制度の充実

46 国民健康保険の適正な執行	保険年金課
47 医療費助成による生活の安定	保険年金課
48 医療体制の充実	健康づくり課

政策-7 一人ひとりの人権が尊重され、誰もが参画できる社会の実現をめざします

施策-18 平等で平和な社会の実現

49 子どもの人権の保障	人権教育課
50 人権・平和意識の高揚	人権政策課
51 人権啓発・福祉・交流の総合的な取り組みの推進	人権政策課

施策-19 共生社会の実現

52 外国人市民との地域共生と異文化理解の推進	市民対話課
-------------------------	-------

施策-20 男女共同参画社会の実現

53 男女共同参画の総合的な取組の推進	男女共同参画課 子育て支援課
---------------------	-------------------

第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり

政策-8 人・物・情報が活発に行き交うまちをつくります

施策-21 人・物がスムーズに行き交う交通網の充実

単位施策	担当課
54 幹線道路の整備推進	道路整備課 道路用地課 市街地整備課
55 公共交通の利便性向上	商業観光課
56 国・県の道路事業促進	土木総務課 道路用地課

施策-22 経済活動が活発化する市街地の創造

57 中心市街地と商業の活性化	商業観光課
-----------------	-------

施策-23 情報通信インフラの活用と次世代への対応

58 ユビキタスネット社会への対応	市政情報課
-------------------	-------

政策-9 地域の個性と暮らしの利便性を高めます

施策-24 生活の快適性・利便性の向上

59 良好な住環境の創造・保全	市街地整備課 建築指導課
60 住居表示の推進	地域課
61 地籍調査の推進	土木総務課

施策-25 景観に配慮しつつ個性を活かした計画的なまちづくり

62 美しい街並みや景観の創造と保全	都市計画課
63 計画的な土地利用の誘導	都市計画課

政策-10 地域経済を支える豊かな産業を活かします

施策-26 蓄積された知識と技術の活用による競争力の向上

64 地元農水産物の消費拡大の推進	農林水産課
65 中小企業の高度化・高付加価値化の促進	産業政策課

施策-27 持続的で安定した経営基盤づくり

66 中小企業の経営健全化促進	商業観光課
67 商店街の活性化促進	商業観光課
68 地域農業と経営基盤づくり	農業委員会事務局
69 農業及び漁業関連施設の充実と担い手の育成	農林水産課
70 農林水産業経営支援の促進	農林水産課
71 農業生産基盤の整備推進	耕地課
72 多面的機能が発揮できる生産環境づくり	農林水産課
73 市内特産品の販路拡大の促進	商業観光課

政策-11 新たな活力を生み出す産業を振興します

施策-28 新ビジネスの創造と産業の振興

単位施策	担当課
74 新商品の開発の促進	産業政策課
75 進出意欲を持つ企業の立地促進	産業政策課
76 地場産業の需要開拓の促進	産業政策課
77 新産業の集積の促進	産業政策課
78 産学官の連携による研究開発と人材育成	産業政策課

施策-29 豊かな自然と観光資源の活用

79 観光資源の充実	商業観光課
80 モータースポーツの振興の促進	商業観光課

第5章 安全で安心できるまちづくり

政策-12 災害に強いまちづくりを推進します

施策-30 防災対策の推進

単位施策	担当課
81 防災体制の充実	防災危機管理課 生活支援課 消防課
82 市民の防災力強化	防災危機管理課

施策-31 浸水・治水対策の推進

83 河川・排水路の整備推進	河川課
84 河川等の維持管理	河川課
85 都市浸水対策	下水管理課 下水建設課

施策-32 地震災害対策の推進

86 建築物等の耐震化促進	防災危機管理課 建築指導課
87 避難所の整備	防災危機管理課

政策-13 安全なまちをめざします

施策-33 消防力の強化

88 地域消防力の整備充実	消防総務課 消防課
89 消防体制の充実強化	消防課 消防総務課 情報指令課

施策-34 交通安全対策の推進

90 交通安全意識の高揚	防災危機管理課
91 生活道路の整備推進	道路整備課 道路用地課 建築指導課
92 交通安全施設の整備推進	道路保全課
93 市道の維持管理	道路保全課 土木総務課

施策-35 建築物の安全性確保

94 安全で良質な建築物の確保	建築指導課
-----------------	-------

政策-14 安心できる市民生活を確保します

施策-36 防火・防犯対策の推進

95 防犯意識の高揚	防災危機管理課
96 火災予防対策	予防課

施策-37 救急・救命対策の推進

単位施策	担当課
97 救急業務高度化の推進	消防課
98 応急手当の普及	消防課

施策-38 上水道の安定供給	99 企業性を重視した水道事業の経営	水道総務課
	100 水道料金に関する事務の効率化	営業課
	101 水道施設の整備・更新	工務課
	102 需要者ニーズを踏まえたサービスの充実	工務課 営業課
	103 水道施設の維持管理	工務課 水源課
施策-39 相談機能の拡充	104 安心できる消費生活の確保	産業政策課
	105 市民相談窓口の充実	市民対話課

第6章 構想の推進のために

主要テーマ1 市民みんなで取り組むまちづくりをめざします

施策-40 市民参加が活発なまちづくり

単位施策	担当課
106 市民の参加のまちづくりの推進	地域課 各課
107 市民参加の活動環境の充実	地域課

施策-41 市民との情報共有の推進

108 市民への情報提供の推進	秘書広報課 市政情報課 各課
109 市民の声の的確な把握	秘書広報課 市民対話課 各課

主要テーマ2 時代の変化に対応した行政経営をめざします

施策-42 自治力の強化

110 国・県との連携	企画課 総務課 各課
111 シティセールスの推進	企画課 各課
112 機動的な組織・体制の構築	人事課 企画課 各課
113 環境の変化に対応できる人材育成	人事課 総務課
114 自主財源の積極的な確保	納税課 市民税課 資産税課 秘書広報課 各課

施策-43 効果・効率的な行政経営

115 広域行政の推進	企画課 各課
116 総合的・計画的行政の推進	企画課 財政課 各課
117 民間活力の導入	企画課 総務課 各課
118 事務の効率化と行政コストの削減	総務課 市政情報課 各課
119 計画的・効率的な財政運営	財政課

施策-44 適正な事務運営

120 法令等に基づく事務の推進	市民税課 資産税課 総務課 契約調達課 市民課 会計課 選挙管理委員会事務局 各課
121 監査・検査機能の充実	監査委員事務局 工事検査課 会計課
122 適正な資産管理	管財管繕課 会計課 各課
123 情報資産の適正管理と共有	市政情報課 各課
124 働きやすい職場環境の充実	人事課 公平委員会

③単位施策評価シート

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		3 図書館サービスの充実							5頁	
2 作成者	職名	氏名		職名	氏名					
	文化振興部図書館長	大藪 宏紀								
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり							1頁	
	政策	政策1:「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくれます							1頁	
	施策	施策02:学びの場の充実(企画財務部,文化振興部)							4頁	
	施策内重点戦略	(重点戦略)なし								
4 目的		市民が、多様で充実した図書館サービスを市全域で受けている。								
5 目的の達成状況(成果指標)	指標名	貸出冊数					単位	冊		
	期別	第3期行財政経営計画					第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			730000	730000	730000	-	750000		
	実績値	707793	688992	662398	-	-	-			
	指標設定背景・根拠	貸出冊数が増加することは、多くの市民が図書館サービスを受けている状態であり、図書館サービスの充実につながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位:千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	72,369	72,054	77,103	-	-	-	-	-
	概算人件費	51,600	51,600	51,600	-	-	-	-	-	
	②現状を維持します	合計コスト	123,969	123,654	128,703	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	105,845	102,727	110,597	-	-	-	-	-	
7 総合評価(24年度の取組み状況,目標の達成状況を踏まえて)		図書館の利用人数は、前年度と比較して若干増加したものの、成果指標である貸出冊数は、目標を下回る結果となった。今後は成果指標の目標達成に向け、平成24年度に実施した「図書館利用者アンケート」を参考に「図書館サービス方針」を策定する。								
8 環境変化を踏まえた課題認識(市民からの要望,国・県の動向なども踏まえて)		昨年度実施した図書館利用者アンケートでは、「資料の充実」、「施設・設備の充実」、「予約・リクエストサービスの充実」が上位に挙げられている。また、国が昨年12月に改正した「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の内容を踏まえ、図書館の管理運営や図書館サービスの実施に努める。								
9 今後の方向性(新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		図書館サービスは、市民の生涯にわたる主体的な学びを支え、知識や教養を高めることにより、精神的に豊かな生活を実現しうることから、今後も図書館運営はサービス事業を優先し、市民の文化力を高めていきたい。そのため、本年度は、昨年度実施したアンケート調査結果などを基に、「図書館サービス方針」を策定し、今後の図書館の方向性を定めることにより、公共図書館としてふさわしいサービスを展開していく。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
	様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						26年度における事業の方向性	26年度予算配分等に関する優先順位		
	年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性		予算の 方向性	
1	継続 1号	003001 図書館運営・サービス事業				図書館 3 施設管理運営事業			無該当	関連無し	貸出冊数			冊	
	23実績	688992	59,154	32,000	91,154	72,694	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	730000	58,522	35,600	94,122	75,998	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	663255	58,208	35,600	93,808	72,881									
	25計画	730000	59,084	35,600	94,684	76,578	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2	継続 1号	003002 図書館施設等維持管理事務				図書館 3 施設管理運営事業			無該当	関連無し	入館者数			人	
	23実績	317735	64,937	16,000	80,937	34,922	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	-	13,847	16,000	29,847	29,847	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	24実績	319173	13,846	16,000	29,846	29,846									
	25計画	-	18,019	16,000	34,019	34,019	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		8 子どもの教育環境の充実						12頁		
2 作成者	職名	氏名		職名	氏名					
	教育委員会事務局教育総務課長	富田 佳宏								
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり						1頁		
	政策	政策1：「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります						1頁		
	施策	施策04：子どもの教育の充実（教育委員会事務局）						11頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■学校施設等の計画的な整備（教育委員会事務局）■学力保障の推進（教育委員会事務局）■キャリア教育の充実（教育委員会事務局）■多文化共生教育の推進（教育委員会事務局）■特別支援教育の推進（教育委員会事務局）■地域ぐるみ教育環境づくり（教育委員会事務局）								
4 目的		子どもたちが、良好な教育環境で教育を受けている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	実施計画登録事業の進捗率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			67	83	100	-	100		
	実績値	100	71	67	-	-	-			
指標設定背景・根拠		実施計画登録事業が計画通り実施されることは、教育環境の改善が図られることにつながる。（平成22,23年度の実績値は、平成21～23年度を計画期間とした実施計画の進捗率であり、平成24年度からの目標値及び実績値は、平成24～27年度を計画期間とした実施計画での進捗率である。）								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	1,861,656	1,471,802	3,424,253	-	-	-	-	-
		概算人件費	41,520	41,920	41,520	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	1,903,176	1,513,722	3,465,773	-	-	-	-	
	(内)一般財源	1,226,075	664,814	2,091,388	-	-	-	-		
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		成果指標とした実施計画登録事業は全部で6事業となるが、平成24年度末において4事業が着手できた。 平成24年度末までの事業着手：平田野中学校移転改築事業、教育施設環境整備事業（つり天井改修分）、第二学校給食センター施設整備事業、教育施設防災機能強化事業								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		学校施設には、増改築又は大規模改修が必要な施設が数多くあることから、今後においても優先順位を定め、学校施設の整備を進める必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		現在実施中の平田野中学校移転改築事業及び第二学校給食センター施設整備事業を計画どおり進める。 また、26年度には、新たに栄小学校屋内運動場・プール増改築事業に着手する予定である。 なお、教育施設環境整備事業（つり天井分）については、国における技術基準の改定が遅れているが、確定次第早期に着工し、安全性の確保を図る方針である。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				26年度における事業の方向性					
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量				事業費	一般 財源		作業 時間	事業の 方向性
1	継続 1号	008001 教育委員会運営事務				教育総務課 5 内部管理事務		無該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	4,899	800	5,699	5,699	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	-	5,311	800	6,111	6,111	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	9
	24実績	-	5,224	800	6,024	6,024									
	25計画	-	5,310	800	6,110	6,110	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	9
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2	継続 1号	008002 私立中等高等学校私学振興費補助事業				教育総務課 5 内部管理事務		無該当	関連無し	充足率			%		
	23実績	16.8	4,224	160	4,384	4,384	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	16.8	3,952	160	4,112	4,112	→	→	↓	↓	↓	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	13
	24実績	16.6	3,741	160	3,901	3,901									
	25計画	16.8	3,593	160	3,753	3,753	→	→	↓	→	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	12
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
3	継続 1号	008003 三重朝鮮学園補助事業				教育総務課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	補助金交付の三重朝鮮学園			園		
	23実績	1	300	80	380	380	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	9
	24計画	1	300	80	380	380	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	12
	24実績	1	300	80	380	380									
	25計画	1	250	80	330	330	→	→	↓	→	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	13
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
4	継続 1号	008004 幼稚園・小・中学校施設維持管理				教育総務課 4 施設維持管理事業		無該当	関連無し	管理委託件数			件		
	23実績	23	148,545	9,600	158,145	158,143	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	23	181,737	10,400	192,137	192,137	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	24実績	23	197,200	10,400	207,600	207,600									
	25計画	23	187,615	10,400	198,015	198,015	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	8
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
5	継続 2号	008005 小・中学校屋内運動場吊り天井改修				教育総務課 6 ハード事業等		重要事業	関連無し	-			-		
	23実績	-	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	-	20,069	800	20,869	14,581	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	3
	24実績	-	24,090	800	24,890	19,320									
	25計画	-	145,100	1,600	146,700	102,769	→	→	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									

6	継続 1号	008006 小・中学校施設整備					教育総務課 4 施設維持管理事業	無該当	関連無し	改修工事及び教室不足対応			校		
	23実績	4	5,282	800	6,082	6,082	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	3	2,268	800	3,068	3,068	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	7
	24実績	3	2,268	800	3,068	3,068	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし		
	25計画	3	10,412	800	11,212	11,212	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して 成果・効果を向上する	7
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
7	継続 2号	008007 神戸中学校移転改築					教育総務課 6 ハード事業等	無該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	76,828	4,000	80,828	80,828	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	完了	-
	24計画	-	7,000	1,600	8,600	8,600	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	大幅増	②コストを増加して 成果・効果を向上する	6
	24実績	-	7,870	1,600	9,470	9,470	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	大幅増		
	25計画	-	1,000	800	1,800	1,800	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
8	継続 1号	008008 教育行政相談					教育総務課 2 ソフト事業(義務)	無該当	関連無し	-			-		
	23実績	-	0	400	400	400	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	-	0	400	400	400	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	10
	24実績	-	0	0	0	0	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ		
	25計画	-	0	400	400	400	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	10
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
9	継続 2号	008009 平田野中学校移転改築					教育総務課 6 ハード事業等	戦略的事業①	関連無し	-			-		
	23実績	-	99,615	10,400	110,015	110,015	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	-	1,360,980	12,800	1,373,780	802,967	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	大幅増	①課題解決に向け 緊急性が高い	1
	24実績	-	1,034,582	12,800	1,047,382	304,044	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	大幅増		
	25計画	-	2,151,748	11,200	2,162,948	1,105,584	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け 緊急性が高い	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
10	継続 1号	008010 イーエーエス伯人学校補助事業					教育総務課 1 ソフト事業(任意)	無該当	関連無し	補助金交付のイーエーエス伯人学校			学校		
	23実績	1	500	80	580	580	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	8
	24計画	1	500	80	580	580	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して 成果・効果を維持する	11
	24実績	1	500	80	580	580	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし		
	25計画	1	500	80	580	580	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して 成果・効果を維持する	11
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

11	継続 2号	008011 深伊沢小学校屋内運動場増改築	教育総務課 6 ハード事業等				無該当	関連無し					-		
	23実績	-	304,600	4,800	309,400	70,950	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	完了	-
	24計画	-	7,000	800	7,800	7,800	↑	↓	↓	↓	↓	H24完了	大幅減		-
	24実績	-	6,938	800	7,738	7,738									
	25計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
12	継続 2号	008012 第二学校給食センター施設整備	教育総務課 6 ハード事業等				戦略的事業②	関連無し					-		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	-	272,539	12,800	285,339	185,339	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	大幅増	①課題解決に向け 緊急性が高い	2
	24実績	-	181,118	12,800	193,918	93,918									
	25計画	-	874,455	11,200	885,655	618,065	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	大幅増	①課題解決に向け 緊急性が高い	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
13	新規 2号	008013 栄小学校屋内運動場・プール増改築	教育総務課 6 ハード事業等				重要事業	関連無し					-		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	-
	24計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①課題解決に向け 緊急性が高い	5
	24実績	-	-	-	-	-									
	25計画	-	27,000	2,400	29,400	29,400	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	大幅増	①課題解決に向け 緊急性が高い	5
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
14	新規 2号	008014 教育施設防災機能強化	教育総務課 6 ハード事業等				重要事業	関連無し					-		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	-	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	①課題解決に向け 緊急性が高い	4
	24実績	-	7,971	800	8,771	8,771									
	25計画	-	11,000	800	11,800	6,300	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅増	平成25年度完了	4
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
15	新規 2号	008015 教育施設扇風機設置	教育総務課 6 ハード事業等				無該当	関連無し					-		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	-
	24計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	24実績	-	-	-	-	-									
	25計画	-	6,270	800	7,070	7,070	→	→	→	→	→	完了	増減なし	①26年度で完了	6
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		就学前教育の充実							13頁	
コード		9								
2 作成者	職名	氏名			職名	氏名				
	教育委員会事務局学校教育課長	森本 雅夫			教育委員会事務局教育総務課長	富田 佳宏				
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり							1頁	
	政策	政策1：「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります							1頁	
	施策	施策04：子どもの教育の充実（教育委員会事務局）							11頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■学校施設等の計画的な整備（教育委員会事務局） ■学力保障の推進（教育委員会事務局） ■キャリア教育の充実（教育委員会事務局） ■多文化共生教育の推進（教育委員会事務局） ■特別支援教育の推進（教育委員会事務局） ■地域ぐるみ教育環境づくり（教育委員会事務局）								
4 目的		公立幼稚園の再編成により、効率的な運営による就学前教育を受けている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	再編整備された公立幼稚園数						単位	園	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			未実施	未実施	2	-	1		
	実績値	未実施	未実施	未実施	-	-	-			
指標設定背景・根拠		保育所との一元化を視野に入れた再編整備をすることで、効率的で適正な規模による運営がなされ、幼稚園児が充実した就学前教育を受けることにつながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	250,572	226,903	239,520	-	-	-	-	-
		概算人件費	12,000	12,000	12,400	-	-	-	-	-
	③縮小します	合計コスト	262,572	238,903	251,920	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	165,625	146,928	154,740	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		鈴鹿市立幼稚園再編整備計画 第I期計画(案)により、庄内幼稚園・深伊沢幼稚園を橿幼稚園に統廃合し、井田川幼稚園・石薬師幼稚園を加佐登幼稚園に統廃合する計画を進め、本年度末に4園の廃止をめざす。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		現状で6園休園と言う状況を踏まえ、統廃合を急ぐ。「子ども子育て新制度」を受けた保健福祉部との協議を開始する。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		第I期計画後、休園状態にある園、及び統廃合後も現状と変わらない園を中心に第II期計画を策定する。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規		事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
	様式	成果指標 目標・実績	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）			26年度における事業の方向性			26年度予算配分等に関する優先順位		
	年度目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	009001 私立幼稚園補助事業					教育総務課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	園児の充足率			%	
	23実績	58.3	16,156	320	16,476	16,476	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	100	17,194	320	17,514	17,514	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	58.8	16,295	320	16,615	16,615									
	25計画	100	16,938	320	17,258	17,258	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
2	継続 1号	009002 私立幼稚園就園奨励費補助事業					教育総務課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連有り	補助金交付人数			人	
	23実績	1278	118,062	2,000	120,062	91,880	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	1310	133,123	2,000	135,123	90,749	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	1291	124,475	2,000	126,475	96,591									
	25計画	1290	146,655	2,000	148,655	99,770	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
3	継続 1号	009003 幼稚園管理運営事業					学校教育課 3 施設管理運営事業		無該当	関連有り				-	
	23実績	-	82,315	2,480	84,795	30,167	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	-	100,255	2,480	102,735	50,782	→	→	↓	↓	↓	改善継続	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	24実績	-	86,133	2,480	88,613	33,176									
	25計画	-	75,927	2,480	78,407	31,272	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
4	継続 1号	009004 幼稚園保育料収納管理事務					学校教育課 2 ソフト事業（義務）		無該当	関連有り	幼稚園保育料納付率			%	
	23実績	100	0	800	800	513	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	100	0	800	800	180	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	100	0	800	800	546									
	25計画	100	0	1,200	1,200	40	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
5	継続 1号	009005 幼児教育振興検討事業（公立幼稚園再編整備）					学校教育課 1 ソフト事業（任意）		戦略的事業②	関連有り	幼稚園再編整備検討数			回	
	23実績	23	0	6,400	6,400	6,400	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	23	0	6,400	6,400	6,400	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1
	24実績	4	0	6,400	6,400	0									
	25計画	11	0	6,400	6,400	6,400	↑	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		確かな学力づくり						16頁		
2 作成者	職名	氏名		職名	氏名					
	教育委員会事務局指導課長	鈴木 英文								
3 総合計画体系	政策の柱	第1章 人と文化を育むまちづくり						1頁		
	政策	政策1：「生きる力」を生涯にわたり育むまちをつくります						1頁		
	施策	施策04：子どもの教育の充実（教育委員会事務局）						11頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■学校施設等の計画的な整備（教育委員会事務局）■学力保障の推進（教育委員会事務局）■キャリア教育の充実（教育委員会事務局）■多文化共生教育の推進（教育委員会事務局）■特別支援教育の推進（教育委員会事務局）■地域ぐるみ教育環境づくり（教育委員会事務局）								
4 目的		子どもたちの学力が全国標準に到達している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	全国学力・学習状況調査の国語・算数（数学）の「知識」「活用」問題の結果がいずれも全国平均を上回る学校数の割合						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			50	75	75	-	100		
	実績値	数値なし	未実施	15	-	-	-			
指標設定背景・根拠		全国平均を上回るとは、児童生徒の学力が保障されていることにつながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	105,950	256,648	95,676	-	-	-	-	-
		概算人件費	64,400	73,600	62,480	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	170,350	330,248	158,156	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	170,050	168,091	158,156	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		学力向上について、平成24年度国においては抽出調査であったが、市費で補てんし小中学校全校に調査を実施した。その結果、本市においては、小中学校ともに学力は、全国的に全国平均を下回る状況にあった。特に国語、算数の活用に関する問題について、全国と比較して差が大きい。こうした実態を受け、各校において結果の分析を行い、授業改善、学校における組織体制、教職員の資質向上について、改善に取り組んでいる。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		学力向上は、保護者、市民の願いであり、学校教育の果たすべき最重要課題であると認識している。特に、全国学力・学習状況調査は現行の学習指導要領が求める力と密接な関係があるため、その向上は本市の教育の質の向上となる。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		長期継続契約をしている小中学校における児童生徒用パソコンについては、スケールメリットを考え、更新時期を遅らせてきたため、優先したい。また、各学校における学力向上の取組を支援する教育環境づくりを優先していきたいと考えている。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					26年度における事業の方向性				
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費				一般 財源	作業 時間		事業の 方向性
1	継続 1号	012001 鈴鹿市教育研究会研究事業	指導課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	各作品展の参観人数			人				
	23実績	17200	2,872	800	3,672	3,672	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	16000	2,872	3,200	6,072	6,072	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	24実績	15109	2,872	800	3,672	3,672									
	25計画	16000	3,142	800	3,942	3,942	→	→	→	→	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
2	継続 1号	012002 特別支援教育の振興補助事業	指導課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	振興会が実施する行事に参加する学校の割合			%				
	23実績	100	180	400	580	580	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	13
	24計画	100	180	800	980	980	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	11
	24実績	100	180	400	580	580									
	25計画	100	180	400	580	580	→	→	↓	↓	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	11
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
3	継続 1号	012003 国際化教育推進事業	指導課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	外国語を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒の割合			%				
	23実績	-	24,408	1,600	26,008	26,008	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	70	24,442	3,200	27,642	27,642	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	24実績	65.9	23,971	3,200	27,171	27,171									
	25計画	70	26,922	2,400	29,322	29,322	↑	→	→	→	↓	改善継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
4	継続 1号	012004 教育研究推進事業	指導課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	鈴鹿市教育研究会委託校発表に参加した学校の割合			%				
	23実績	0	3,506	800	4,306	4,306	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	100	3,506	1,600	5,106	5,106	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	24実績	100	3,506	1,600	5,106	5,106									
	25計画	100	1,096	1,200	2,296	2,296	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
5	継続 1号	012005 学校図書館巡回指導員派遣事業	指導課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	学校図書館を活用した授業を年3回以上実施している学校の割合			%				
	23実績	23.6	2,447	800	3,247	3,247	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	100	2,117	1,200	3,317	3,317	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	大幅増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7
	24実績	52.5	2,098	1,200	3,298	3,298									
	25計画	100	2,117	1,200	3,317	3,317	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

6	継続 1号	012006 学校教育情報化推進事業					指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	コンピュータ等の基本的な操作を身に付ける学習指導を行っている学校の割合			%
	23実績	80	53,464	1,600	55,064	55,064	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	100	55,992	2,400	58,392	58,392	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	③将来のコスト削減のため、予算を厚くする	4
	24実績	100	47,202	3,200	50,402	50,402	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	③将来のコスト削減のため、予算を厚くする	4
	25計画	100	42,361	3,200	45,561	45,561	↑	→	↑	→	→	改善継続	増	③将来のコスト削減のため、予算を厚くする	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
7	継続 1号	012007 チャレンジ14事業					指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	夢や希望を持っている児童生徒の割合			%
	23実績	92.8	1,180	400	1,580	1,580	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	9
	24計画	80	1,150	800	1,950	1,950	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	9
	24実績	80	1,150	800	1,950	1,950	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	9
	25計画	80	1,150	800	1,950	1,950	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	9
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
8	継続 1号	012008 部活動振興事業					指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	種目数			種目
	23実績	12	8,586	1,600	10,186	10,186	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	10
	24計画	6	9,475	1,600	11,075	11,075	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上させる	3
	24実績	7(食炊事業部)	11,263	1,600	12,863	12,863	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25計画	6	9,688	1,600	11,288	11,288	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
9	継続 1号	012009 すずか夢工房ー達人に学ぶー					指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	地域の人材を外部講師として招聘した授業をよく行った学校の割合			%
	23実績	14595	570	800	1,370	1,370	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	35	550	1,600	2,150	2,150	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	24実績	37.5	550	1,600	2,150	2,150	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25計画	35	530	1,600	2,130	2,130	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
10	継続 1号	012010 学力保障推進事業					指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	学力調査の全国平均を上回る学校の割合			%
	23実績	未実施	3,164	2,400	5,564	4,564	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	50	2,000	12,800	14,800	14,800	↑	→	↓	→	↓	改善継続	大幅減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	24実績	5	2,000	12,800	14,800	14,800	↑	→	↓	→	↓	改善継続	大幅減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	25計画	事業完了	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

11	継続 1号	012011 指導主事の要請訪問				指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し				-		
	23実績	-	0	28,000	28,000	28,000	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	0	0	33,600	33,600	33,600	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	10	
	24実績	0	0	33,600	33,600	33,600	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	10	
	25計画	0	0	33,600	33,600	33,600	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	10	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
12	継続 1号	012012 復興教育支援事業				指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	減災研修会等により学校危機管理マニュアルの見直しを図った学校の割合			%		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-	
	24計画	100	3,666	800	4,466	4,466	→	→	↓	↓	→	H24完了	大幅減		-	
	24実績	100	3,666	800	4,466	800	→	→	↓	↓	→	H24完了	大幅減		-	
	25計画	100	100	400	500	500	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	7	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
13	新規 1号	012013 食育推進事業				指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の「朝食を毎日食べていますか。」の割合			%		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	-	
	24計画	0.878	-	800	800	500	-	-	-	-	-	-	-		-	
	24実績	0.873	-	800	800	512	-	-	-	-	-	-	-		-	
	25計画	0.878	300	800	1,100	1,100	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
14	新規 1号	012014 学校図書館学習・情報センター機能強化支援事業				指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	学校図書館を活用した授業を年3回以上実施している学校の割合			%		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	-	
	24計画	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
	24実績	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
	25計画	100	2,070	80	2,150	2,150	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	③26年度に他の事業と統合する		
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
15	新規 1号	012015 確かな学力を育む特色ある学校づくり事業				指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	学力調査の全国平均を上回る学校の割合			%		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	-	
	24計画	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
	24実績	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
	25計画	50	5,190	12,800	17,990	17,990	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											

16	新規 1号	012016 理科教育推進支援事業					指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	鈴鹿市の小学校で、全国学力・学習状況調査の児童質問紙で「観察や実験を行うことが好き」と答えた児童の割合			%
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	-
	24計画	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25計画	75	830	1,600	2,430	2,430	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	※コストを増加して成果・効果を向上する	3
	25実績	0	0	0	0	0	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	※コストを増加して成果・効果を向上する	3
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
17	新規 1号	012017 道徳教育総合支援事業					指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	各教科等と連携した道徳教育の年間計画を作成した学校の数			校
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画	40	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	40	6,250	400	6,650	400	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25計画	事業終了	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
18	新規 1号	012018 教育課程研究指定校事業					指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	指定校における自己肯定感をもつ生徒の割合			%
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	70	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	73.8	213	800	1,013	800	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25計画	事業完了	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
19	新規 1号	012019 体系的なキャリア教育実践研究事業					指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	教育課程に位置づけたキャリア教育の年間計画を作成した学校数			校
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	40	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	40	150,000	8,000	158,000	8,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25計画	事業完了	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
20	新規 1号	012020 環境教育調査研究事業					指導課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	教育課程に位置づけた環境教育の年間計画を作成した学校数			校
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	40	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	40	440	800	1,240	800	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25計画	事業完了	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

	新規 1号	012021					指導課			無該当	関連無し	全国学力・学習状況調査における児童生徒 質問紙の「朝食を食べていますか」の割合			%			
		栄養教諭を中核とした食育推進事業					1 ソフト事業 (任意)					成果	活動量	事業費		一般財源	作業時間	事業
21	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24計画	86.8	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	86.3	287	800	1,087	787	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25計画	86.8	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0												
	26計画	0	0	0	0	0												
	26実績	0	0	0	0	0												
	27計画	0	0	0	0	0												
27実績	0	0	0	0	0													
	新規 1号	012022					指導課			無該当	関連無し	消費者教育を教育課程に位置 づけた学校数			校			
		消費者教育推進調査研究事業					1 ソフト事業 (任意)					成果	活動量	事業費		一般財源	作業時間	事業
22	23実績	-	-	0	0	-	成果	活動量	事業費	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24計画	40	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24実績	40	1,000	400	1,400	400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25計画	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0												
	26計画	0	0	0	0	0												
	26実績	0	0	0	0	0												
	27計画	0	0	0	0	0												
27実績	0	0	0	0	0													

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		障がい者福祉の推進						50頁		
2 作成者		職名		氏名		職名		氏名		
		保健福祉部障害福祉課長		村田 達也		都市整備部建築指導課長		服部 進二		
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり						49頁		
	政策	政策5：みんなで支えあう福祉のまちをつくります						49頁		
	施策	施策14：福祉サービスの充実（保健福祉部，都市整備部）						49頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■障がい者福祉の推進（保健福祉部） ■高齢者福祉の推進（保健福祉部）								
4 目的		障がい者が，地域において自立した日常生活を送るための支援や介護を受けている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	市内におけるケアホーム・グループホームの施設数						単位	施設	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			10	11	12	-	12		
	実績値	9	9	10	-	-	-			
指標設定背景・根拠		居住系サービス施設の増加により，障がい者が地域において自立した生活を送ることにつながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	2,308,828	2,679,276	2,733,122	-	-	-	-	-
		概算人件費	106,880	107,440	104,800	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	2,415,708	2,786,716	2,837,922	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	895,240	1,095,907	1,013,682	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		平成24年度におけるグループホームの計画と実績値は達成することとなった。なお，平成25年度の目標値に関しては，現段階で，三重県の不採択通知から，数値の伸びは見込めないものである。障害福祉行政全体として，障害福祉サービス等の利用者増による障がい者施策の展開と一報でと利用負担増に伴う財源確保に努めるものとなった。また，全事業内容(重複，モレ等)の精査をふまえて，43年間続いた一部給付事業の廃止と平成25年度新規事業の予算措置に至っている。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		グループホームの建設には，建設主体となる民間事業者等の経営(事業)計画に依存するところであり，そこには用地費，建設費，維持管理費，運営費，収益性からの採算性の課題が発生する。一時期，経済的要因から事業者の慎重かつ計画延伸の話があったが，最近は建設に向けた相談を複数事業者から受けるところである。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		すずかハートフルプラン(平成23年度末策定)に基づき，各種事業の推進，精査等を図っていく。居住系サービスであるグループホームの整備に関しては，利用者ニーズと事業所建設ニーズを把握しながら，平成27年度末時点での12施設の整備目標を達成する予定である。各種事務事業の優先順位については，全事業内容，法的主旨，すずかハートフルプランの目的を加味しながら，取り決めている。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）															
N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					26年度における事業の方向性				
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費				一般 財源	作業 時間		事業の 方向性
1	継続 1号	036001 福祉タクシー事業	障害福祉課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	利用率					%		
	23実績	41.1	7,851	640	8,491	1,616	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	14
	24計画	50	8,107	560	8,667	667	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	12
	24実績	44	8,107	560	8,667	667									
	25計画	50	8,067	560	8,627	667	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	11
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2	継続 1号	036002 通所助成事業	障害福祉課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	支給率					%		
	23実績	100	885	160	1,045	1,045	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	10
	24計画	100	941	240	1,181	1,181	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	9
	24実績	100	941	240	1,181	1,181									
	25計画	100	1,022	240	1,262	1,262	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	8
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
3	継続 1号	036003 社会福祉団体等活動費補助事業	障害福祉課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	各障がい者団体登録者数					人		
	23実績	322	970	160	1,130	160	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	13
	24計画	288	970	240	1,210	240	→	→	↓	→	→	改善継続	減	④成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	19
	24実績	288	970	240	1,210	240									
	25計画	288	880	240	1,120	240	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	10
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
4	継続 1号	036004 在宅障害者手当事業	障害福祉課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	支給率					%		
	23実績	100	74,452	2,800	77,252	77,252	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	100	76,080	2,400	78,480	78,480	↑	↓	↓	↓	↓	H25廃止	大幅減	④25年度に他の事業と統合する	21
	24実績	100	76,080	2,400	78,480	78,480									
	25計画	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	廃止	増減なし	平成24年度廃止	-
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
5	継続 1号	036005 障害者施策推進事業	障害福祉課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	-					-		
	23実績	-	3,343	1,200	4,543	4,543	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	-	279	1,200	1,479	1,479	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	24実績	-	279	1,200	1,479	1,479									
	25計画	-	438	1,200	1,638	1,638	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									

6	継続 1号	036006 特別障害者手当等事業					障害福祉課 2 ソフト事業(義務)			無該当	関連無し	新規申請者数			人
	23実績	59	94,035	1,200	95,235	24,677	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	45	98,718	1,840	100,558	26,521	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	24実績	40	98,718	1,840	100,558	26,521	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8
	25計画	50	97,694	1,840	99,534	26,267	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
7	継続 1号	036007 難病患者等在宅福祉事業					障害福祉課 2 ソフト事業(義務)			無該当	関連無し	日常生活用具の給付件数			人
	23実績	0	0	80	80	80	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	16
	24計画	2	159	560	719	719	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	14
	24実績	1	70	560	630	630	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	14
	25計画	2	159	560	719	719	↓	↓	↓	↓	↓	廃止	人件費のみ	⑤26年度に他の事業と統合する	18
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
8	継続 1号	036008 生活支援事業					障害福祉課 1 ソフト事業(任意)			無該当	関連無し	支援割合			%
	23実績	50	6,000	80	6,080	6,080	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	8
	24計画	50	5,500	560	6,060	6,060	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	17
	24実績	50	5,500	560	6,060	6,060	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	17
	25計画	50	1,963	560	2,523	2,523	→	→	↓	↓	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	16
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
9	継続 1号	036009 重症心身障害者移送支援事業					障害福祉課 2 ソフト事業(義務)			無該当	関連無し	述べ利用回数			回
	23実績	847	4,235	1,600	5,835	5,835	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	850	5,400	1,200	6,600	6,600	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	18
	24実績	800	4,440	1,200	5,640	5,640	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	18
	25計画	750	4,440	1,200	5,640	5,640	→	→	→	→	→	完了	増減なし	⑦26年度で廃止	19
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
10	継続 1号	036010 自立支援給付事業					障害福祉課 2 ソフト事業(義務)			無該当	関連無し	-			-
	23実績	-	1,797,312	38,560	1,835,872	432,655	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	-	1,794,074	32,400	1,826,474	480,796	→	→	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	-	2,150,000	32,400	2,182,400	682,250	→	→	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25計画	-	2,240,560	32,400	2,272,960	617,260	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	0	0	0	0	0	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

11	継続 1号	036011 地域生活支援事業					障害福祉課 2 ソフト事業 (義務)			無該当	関連無し				-
	23実績	-	260,950	15,200	276,150	196,712	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	-	163,895	16,000	179,895	113,699	→	→	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	24実績	-	163,895	16,000	179,895	113,699	→	→	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	25計画	-	205,591	16,000	221,591	142,745	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
12	継続 1号	036012 障害福祉サービス費等加算事業					障害福祉課 2 ソフト事業 (義務)			無該当	関連無し				-
	23実績	-	1,386	800	2,186	2,186	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	11
	24計画	-	3,381	560	3,941	3,941	→	→	→	→	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	13
	24実績	-	2,800	560	3,360	3,360	→	→	→	→	→	改善継続	増	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	13
	25計画	-	2,646	560	3,206	3,206	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
13	継続 1号	036013 小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業					障害福祉課 2 ソフト事業 (義務)			無該当	関連無し	日常生活用具の給付件数		人	
	23実績	0	0	80	80	80	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	15
	24計画	1	171	240	411	326	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	15
	24実績	1	40	240	280	260	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	15
	25計画	1	171	240	411	326	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	12
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
14	継続 1号	036014 各種障害者手帳及び福祉サービスに係る窓口事務					障害福祉課 2 ソフト事業 (義務)			無該当	関連無し				-
	23実績	-	0	27,360	27,360	27,360	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	12
	24計画	-	0	28,000	28,000	28,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	24実績	-	0	28,000	28,000	28,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10
	25計画	-	0	29,600	29,600	29,600	→	→	↓	↓	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	15
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
15	継続 1号	036015 高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する事務					建築指導課 2 ソフト事業 (義務)			無該当	関連無し	バリアフリー法適合率		%	
	23実績	100	0	2,880	2,880	2,880	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	9
	24計画	100	0	2,880	2,880	2,880	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	16
	24実績	100	0	2,880	2,880	2,880	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	16
	25計画	100	0	2,800	2,800	2,800	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	13
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

16	継続 1号	036016 障害者グループホーム等緊急整備事業	障害福祉課 1 ソフト事業 (任意)			重要事業	関連無し					-			
	23実績	-	30,000	800	30,800	15,800	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	-	15,000	560	15,560	8,060	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	24実績	-	3,800	560	4,360	2,460	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25計画	-	15,000	560	15,560	8,060	→	→	→	→	→	完了	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
17	継続 1号	036017 NPO法人等福祉施設運営資金貸付金	障害福祉課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し					-			
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画	-	3,000	1,200	4,200	1,200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	20
	24実績	-	3,000	1,200	4,200	1,200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	20
	25計画	-	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	廃止	人件費のみ	平成24年度廃止	-
	25実績	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	廃止	人件費のみ	平成24年度廃止	-
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
18	継続 1号	036018 障害者相談員設置事業	障害福祉課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し					-			
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	-	379	1,840	2,219	2,219	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	11
	24実績	-	379	1,840	2,219	2,219	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	11
	25計画	-	379	1,840	2,219	2,219	↓	↓	↓	↓	↓	廃止	大幅減	平成25年度廃止	-
	25実績	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	廃止	大幅減	平成25年度廃止	-
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
19	継続 1号	036019 ベルホーム管理運営事業	障害福祉課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し					-			
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	-	44,323	1,200	45,523	45,521	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	24実績	-	44,247	1,200	45,447	45,445	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	25計画	-	23,015	1,200	24,215	24,213	→	→	↓	↓	→	完了	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	14
	25実績	0	0	0	0	0	→	→	↓	↓	→	完了	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	14
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
20	継続 1号	036020 障害児通所支援事業	障害福祉課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し					-			
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	-	20,000	12,000	32,000	17,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上させる	2
	24実績	-	44,164	12,000	56,164	23,041	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上させる	2
	25計画	-	53,000	12,000	65,000	65,000	→	↑	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	2
	25実績	0	0	0	0	0	→	↑	↑	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	2
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

	継続	036021					障害福祉課			無該当	関連無し			-	
	1号	療育センター管理運営事業					1 ソフト事業 (任意)							-	
21	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	-	68,451	1,200	69,651	69,651	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	24実績	-	68,435	1,200	69,635	69,635	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	25計画	-	78,097	1,200	79,297	79,297	→	→	→	→	→	完了	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
	新規	036022					障害福祉課			無該当	関連無し	整備率		箇所	
	1号	おもいやり駐車場区画整備事業費					1 ソフト事業 (任意)								
22	23実績	-	-	0	0	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	107	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-		-
	24実績	107	3,411	560	3,971	560	-	-	-	-	-	-	-		-
	25計画	-	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		生活保障の確保						51頁		
2 作成者	職名	氏名		職名		氏名				
	保健福祉部生活支援課長	服部 伸仁		保健福祉部保険年金課長		森川 洋行				
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり						49頁		
	政策	政策5：みんなで支えあう福祉のまちをつくります						49頁		
	施策	施策14：福祉サービスの充実（保健福祉部，都市整備部）						49頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■障がい者福祉の推進（保健福祉部）■高齢者福祉の推進（保健福祉部）								
4 目的		生活保障を必要とする市民が，扶助や支援を受け，自立に向けて暮らしている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	ケースワーカーの訪問計画に対する訪問活動の割合						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			100	100	100	-	100		
	実績値	99.7	106.6	116.3	-	-	-			
指標設定背景・根拠	訪問活動の割合が高まることにより，被保護世帯の状況がその都度把握でき，必要な支援・相談を行うことができる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	2,369,893	2,155,847	2,176,021	-	-	-	-	-
		概算人件費	186,480	186,080	186,400	-	-	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	2,556,373	2,341,927	2,362,421	-	-	-	-	
	(内)一般財源	689,667	519,677	582,638	-	-	-	-		
7 総合評価 (24年度の取組み状況，目標の達成状況を踏まえて)		適正な保護の実施のためには，ケースワークの基本である訪問活動を行い保護世帯の生活状況を的確に把握することが重要である。訪問件数は目標値を超える実績となっており，ケースワークが適切に行われていると言える。今後も引き続き目標を上回る保護世帯への訪問の実施に努め，適切な支援を行っていく。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望，国・県の動向なども踏まえて)		厳しい雇用情勢が続いており，生活保護の受給世帯数は依然として高い水準にある。生活保護においては，保護費の改定はあるものの最後のセーフティネット施策として各種業務と連携し，自立支援に向けて取り組んでいく必要がある。合わせて，生活保護になる前に就労支援等を行い，自立を図っていくことも重要である。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		ほぼ全ての事業が義務的な事業であり，個別の事業に大きな変化はないので，前年同様の優先順位とする。また，戦没者遺族等援護や災害等被災者に対する諸事業については，法令に基づき今後も継続する。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）																
NO	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				26年度における事業の方向性						
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源		作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性			
1	継続 1号	037001	生活支援課 生活保護法に基づく自立支援事業				2 ソフト事業（義務）		無該当	関連無し	ケースワーカーの訪問計画に対する訪問活動の割合			%		
	23実績	113.7	2,229,489	124,000	2,353,489	528,354	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3	
	24計画	100	2,308,647	144,000	2,452,647	661,162	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	24実績	116.3	2,111,556	144,000	2,255,556	499,390	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	25計画	100	2,122,373	144,000	2,266,373	554,594	→	→	→	→	→	現状継続	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	3	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
2	継続 1号	037002	生活支援課 行旅病人及び行旅死亡人取扱事業				2 ソフト事業（義務）		無該当	関連無し	行旅病人、行旅死亡人取扱人数			人		
	23実績	1	94	400	494	494	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	11	
	24計画	2	629	400	1,029	400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10	
	24実績	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10	
	25計画	2	491	400	891	400	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	10	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
3	継続 1号	037003	生活支援課 外国人福祉給付金支給事務				1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	支給率			%		
	23実績	100	130	80	210	210	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	10	
	24計画	100	120	80	200	200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9	
	24実績	100	120	80	200	200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9	
	25計画	100	120	80	200	200	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	9	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
4	継続 1号	037004	生活支援課 生活保護適正推進事業				2 ソフト事業（義務）		無該当	関連無し	ワーカー一人当たりの延べ研修時間数			時間		
	23実績	36	14,337	2,000	16,337	9,383	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	30	13,759	2,000	15,759	2,000	→	→	→	→	→	現状継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1	
	24実績	32	11,953	2,000	13,953	2,000	→	→	→	→	→	現状継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1	
	25計画	30	13,855	2,000	15,855	2,000	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	1	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
5	継続 1号	037005	生活支援課 災害見舞金の支給事務				1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	支給率			%		
	23実績	100	1,003	800	1,803	1,803	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	9	
	24計画	100	1,350	800	2,150	2,150	→	→	↑	↑	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8	
	24実績	100	1,850	800	2,650	2,650	→	→	↑	↑	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8	
	25計画	100	1,350	800	2,150	2,150	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8	
	25実績	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	8	
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										

6	継続 1号	037006 社会福祉寄付金受領事務					生活支援課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	寄付受領額			円
	23実績	950672	0	80	80	80	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	14
	24計画	-	0	80	80	80	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	12
	24実績	30000	0	80	80	80	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	12
	25計画	-	0	80	80	80	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	12
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
7	継続 1号	037007 戦傷病者戦没者遺族等援護に関する事務					生活支援課 2 ソフト事業 (義務)			無該当	関連無し	-			-
	23実績	-	0	800	800	800	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	12
	24計画	-	0	800	800	800	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	11
	24実績	-	0	800	800	800	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	11
	25計画	-	0	800	800	800	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	11
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
8	継続 1号	037008 日本赤十字社鈴鹿市地区事務					生活支援課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	社資募集額実績割合			%
	23実績	94.7	0	1,600	1,600	1,600	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	8
	24計画	95	0	1,600	1,600	1,600	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	24実績	90	0	1,600	1,600	1,600	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25計画	95	0	1,600	1,600	1,600	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
9	継続 1号	037009 国民生活基礎調査事務					生活支援課 2 ソフト事業 (義務)			無該当	関連無し	回収率			%
	23実績	-	0	80	80	77	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	13
	24計画	60	204	400	604	400	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	7
	24実績	90	129	400	529	400	→	→	→	→	→	現状継続	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25計画	60	315	400	715	400	→	→	→	→	→	現状継続	減	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
10	継続 1号	037010 支援給付事業					生活支援課 2 ソフト事業 (義務)			無該当	関連無し	支援給付金支給世帯数			世帯
	23実績	1	2,500	240	2,740	865	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	1	2,775	240	3,015	935	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	1	3,546	240	3,786	1,128	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25計画	1	2,775	240	3,015	935	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

11	継続 1号	037011 災害援護資金貸付金事業					生活支援課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し				-
	23実績	-	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	-	1,500	0	1,500	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	14
	24実績	-	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	14
	25計画	-	1,500	0	1,500	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	14
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
12	継続 1号	037012 身体障害者等緊急保護事業					生活支援課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し				-
	23実績	-	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	-	100	0	100	100	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	13
	24実績	-	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	13
	25計画	-	100	0	100	100	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	13
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
13	継続 1号	037013 国民年金事務					保険年金課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	国民年金加入者			人
	23実績	26124	4,433	32,000	36,433	6,349	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	26000	7,356	32,000	39,356	14,477	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	24実績	25941	6,047	32,000	38,047	6,064	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25計画	26000	8,279	32,000	40,279	15,379	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
14	継続 1号	037014 住宅手当緊急特別措置事業					生活支援課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	住宅手当支給世帯数			世帯
	23実績	109	30,635	4,000	34,635	-19,929	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	109	32,170	4,000	36,170	4,000	→	→	↓	→	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	4
	24実績	79	19,363	4,000	23,363	4,002	→	→	↓	→	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	4
	25計画	79	24,863	4,000	28,863	4,000	→	→	↓	→	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	4
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
15	継続 1号	037015 更生保護施設整備費補助					生活支援課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	補助執行率			%
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	100	1,283	80	1,363	1,363	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	大幅減	-	-
	24実績	100	1,283	80	1,363	1,363	→	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25計画	-	0	0	0	0	→	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		介護保険の推進						53頁			
コード		39									
2 作成者	職名		氏名		職名		氏名				
	保健福祉部長寿社会課長		市川 俊彦								
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり						49頁			
	政策	政策5：みんなで支えあう福祉のまちをつくります						49頁			
	施策	施策14：福祉サービスの充実（保健福祉部，都市整備部）						49頁			
	施策内重点戦略	（重点戦略）■障がい者福祉の推進（保健福祉部）■高齢者福祉の推進（保健福祉部）									
4 目的		介護保険事業が安定した運営を将来的にも維持できている。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	特定高齢者の介護予防事業への参加者数						単位	人		
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)			
	目標値			300	350	400	-	500			
	実績値	399	246	342	-	-	-				
指標設定背景・根拠		介護が必要となるおそれのある特定高齢者が、介護予防事業に参加することにより、介護保険の給付額の抑制につながり、さらに、これが介護保険事業の安定した運営と維持につながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度		
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
		事業費	1,699,947	-	1,775,332	-	-	-	-	-	-
		概算人件費	12,080	-	1,600	-	-	-	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	1,712,027	-	1,776,932	-	-	-	-	-	
	(内)一般財源	1,712,027	-	1,776,932	-	-	-	-	-		
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		特定高齢者（二次予防事業対象者）の把握方法が変更になり、医師による生活機能検査が原則不要となったことから対象者が大幅に増加したが、目標値は超えたものの急激な予防事業参加者増にはつながらなかった。こういった状況の中、介護予防事業を推進するため地域包括支援センターと定期的に会議を開催した。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		対象者把握方法の改正により対象者は大幅に増加したが、生活機能の低下を感じている方は少なく、地域包括支援センターが積極的にアプローチするものの参加者増にはつながらにくい。									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		健全な介護保険財政の維持には、介護保険事業計画に基づいた運営が必要である。第5期（平成24年度～平成26年度）の介護保険料は大幅な増額となったが、保険料の増加幅を抑制するためにも介護を必要としない高齢者を増やしていく必要がある。今後、介護予防の重要性を様々な機会を活用して周知していく必要がある。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
	様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）			26年度における事業の方向性						
	年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性		予算の 方向性	
1	継続 1号	039001 鈴鹿亀山地区広域連合負担金（介護 保険）					長寿社会課 2 ソフト事業（義務）		無該当	関連無し	要支援・要介護認定者数			人	
	23実績	6497	1,530,422	80	1,530,502	1,530,502	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	6500	1,692,782	80	1,692,862	1,692,862	→	→	↓	↓	→	改善継続	増	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	1
	24実績	0	0												
	25計画	57	1,767,038	800	1,767,838	1,767,838	→	→	→	↑	→	現状継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
2	継続 1号	039002 介護保険料賦課徴収事業					長寿社会課 2 ソフト事業（義務）		無該当	関連無し	口座振替件数			件	
	23実績	703	6,942	12,000	18,942	18,942	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	800	7,165	12,000	19,165	19,165	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	2
	24実績	0	0												
	25計画	57	8,294	800	9,094	9,094	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		働く場の確保と就労支援						57頁		
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		産業振興部産業政策課長	浅野 浩							
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり						49頁		
	政策	政策5：みんなで支えあう福祉のまちをつくります						49頁		
	施策	施策15：労働環境の充実（産業振興部）						56頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）なし								
4 目的		働く意欲のある人が就労している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	ハローワーク鈴鹿管内の就職率					単位	パーセント		
	期別	第3期行財政経営計画					第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			30	30	30	-	30		
	実績値	26.8	31.2	29.5	-	-	-			
指標設定背景・根拠	就職率の増加が、働く意欲のある人がより多く就職したことを示している。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	244,696	147,805	104,350	-	-	-	-	-
		概算人件費	14,960	14,960	14,960	-	-	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	259,656	162,765	119,310	-	-	-	-	
	(内)一般財源	83,759	71,882	79,458	-	-	-	-		
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		年明け以降、景気回復の兆しがあり雇用状況も改善している。雇用創出や住宅リフォームの事業は目標に達しなかったが、雇用の下支えになっている。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		中小製造業の現状は厳しいが、ものづくり産業支援センターの事業を進めていく他、ハローワークと連携し国等の事業を活用して雇用の確保に努めていく。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		今年度については、昨年度に引き続き国の雇用創出事業や住宅リフォーム事業を実施する。また、新規起業の地域雇用創造を構築し支援していきたい。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）															
N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				26年度における事業の方向性					
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量				事業費	一般 財源		作業 時間	事業の 方向性
1	継続 1号	042001	労働雇用支援事業				産業政策課 3 施設管理運営事業		無該当	関連無し	訓練人員			人	
	23実績	1491	12,363	3,280	15,643	15,643	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	1500	12,218	3,280	15,498	12,090	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	1439	12,060	3,280	15,340	11,932	→	→	→	→	→	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25計画	1450	23,037	3,280	26,317	22,354	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	25実績	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2	継続 1号	042002	シルバー人材センター運営支援事業				産業政策課 3 施設管理運営事業		無該当	関連無し	就業実人数			人	
	23実績	11469	29,800	1,600	31,400	31,400	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	11500	29,800	1,600	31,400	31,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	12304	29,800	1,600	31,400	31,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25計画	12500	29,800	1,600	31,400	31,400	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の維持する	5
	25実績	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の維持する	5
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
3	継続 1号	042003	緊急雇用創出事業				産業政策課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	雇用された人数			人	
	23実績	143	85,870	2,000	87,870	2,000	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	127	137,489	2,000	139,489	2,000	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	大幅減	-	-
	24実績	86	57,893	2,000	59,893	2,000	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	大幅減	-	-
	25計画	17	27,389	2,000	29,389	2,000	-	-	-	-	-	完了	人件費のみ	④26年度で完了	2
	25実績	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	完了	人件費のみ	④26年度で完了	2
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
4	継続 2号	042004	鈴鹿地域職業訓練センター施設改修事業				産業政策課 6 ハード事業等		無該当	関連無し	-			-	
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	-	35,000	80	35,080	80	→	→	→	→	↓	H25完了	減	④25年度で完了	3
	24実績	-	31,241	80	31,321	1,739	→	→	→	→	↓	H25完了	減	④25年度で完了	3
	25計画	-	8,500	80	8,580	80	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度完了	3
	25実績	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度完了	3
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
5	継続 1号	042005	緊急経済対策住宅リフォーム促進事業				産業政策課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	経済効果			千円	
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	700000	30,189	8,000	38,189	38,189	↓	↓	↓	↓	↓	H24完了	大幅減	-	-
	24実績	457672	16,811	8,000	24,811	24,811	↓	↓	↓	↓	↓	H24完了	大幅減	-	-
	25計画	200000	15,624	8,000	23,624	23,624	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度完了	1
	25実績	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成25年度完了	1
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		健康診査の推進						61頁		
2 作成者		職名	氏名		職名	氏名				
		保健福祉部健康づくり課長	古市 素朗		保健福祉部保険年金課長	森川 洋行				
3 総合計画体系		政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり						49頁	
		政策	政策6：いつも健康で暮らせるまちにします						59頁	
		施策	施策16：健康づくりの推進（保健福祉部）						59頁	
		施策内重点戦略	（重点戦略）■健康診査の充実（保健福祉部）							
4 目的		市民が、適切に、健康診査、検診、予防接種を受けることにより、自ら健康づくりに取り組んでいる。								
5 目的の達成状況（成果指標）		指標名	健康診査、検診、予防接種の受診者数					単位	人	
		期別	第3期行財政経営計画					第5次総計		
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)	
		目標値			158900	158900	158900	-	159600	
		実績値	136681	156546	151520	-	-	-		
		指標設定背景・根拠	健康診査等の受診者数が増加することにより、疾病の早期発見・予防の効果が高められる。							
6 投入コスト		単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	1,088,577	1,074,883	1,076,767	-	-	-	-	-
		概算人件費	128,640	113,440	111,680	-	-	-	-	-
		合計コスト	1,217,217	1,188,288	1,188,447	-	-	-	-	-
		①拡大します	(内)一般財源	998,632	958,554	1,117,817	-	-	-	-
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		<p>・妊婦乳幼児健診事業は、高水準で推移しているが、漏れ者に対しては、訪問や文書での受診勧奨を行う。</p> <p>・各種がん検診事業は、無料クーポン事業により受診者は増加しているが、更なる受診者の増加を目指す。</p> <p>・本年度から定期接種となったヒブ・小児用肺炎球菌予防ワクチンの接種率は、高い状況にある。</p>								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		<p>乳児全戸訪問事業及び歯周病検診事業は、スムーズに進められている。歯周病検診については、自己負担がなくなったことから、受診率の向上がみられたものの、今年度は、更に受診率向上に向けた取り組みが必要となる。また、子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的勧奨を取りやめたことから、接種者の減少が見込まれる。風しん予防ワクチンについては、県の補助制度を受け、本年6月から助成を実施しているが、今後のワクチン在庫状況により接種者の優先順位付けが求められる。</p>								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		<p>少子・高齢化対策の観点から、優先順位は小児、高齢者、一般成人の順とする。各種がん検診事業は、無料クーポンでの検診により、受診率は増加傾向にあるものの、ポスター等の掲示や啓発文書の送付により更なる受診率の向上を図る。特定検診、保健指導についても医療機関及び関係課との協議により、受診率向上を図る。</p>								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）															
NO	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名					担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位
		投入コスト[単位:千円]					事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					26年度における事業の方向性			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源		成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性	26年度における事業の方向性	26年度予算配分等に関する優先順位
1	継続 1号	045001 妊婦乳幼児健康診査事業					健康づくり課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	1歳6か月児健診対象者把握率			%
	23実績	95.4	196,084	27,200	223,284	176,201	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	100	225,740	24,000	249,740	199,119	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	99.9	206,100	22,400	228,465	181,536	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25計画	100	217,254	24,000	241,254	241,254	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2	継続 1号	045002 結核レントゲン検診事業					健康づくり課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	精密検査受診率			%
	23実績	75	1,068	240	1,308	1,308	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	8
	24計画	100	1,280	240	1,520	1,520	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果を維持する	10
	24実績	81.8	1,062	240	1,302	1,302	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	④コストを維持して成果・効果を維持する	10
	25計画	100	1,255	240	1,495	1,495	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	10
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
3	継続 1号	045003 定期（任意）予防接種実施事業					健康づくり課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	予防接種者率			%
	23実績	94	321,020	8,000	329,020	321,020	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	85	291,810	6,400	298,210	298,210	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	3
	24実績	89.6	305,431	6,400	311,831	311,831	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	3
	25計画	85	479,470	8,000	487,470	487,470	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
4	継続 1号	045004 各種がん検診事業					健康づくり課 2 ソフト事業（義務）			戦略的事業⑤	関連無し	精密検査受診率			%
	23実績	77.4	199,958	10,960	210,918	189,150	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	100	184,796	10,960	195,756	168,670	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	5
	24実績	64.4	193,602	10,960	204,562	180,907	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	5
	25計画	100	197,306	10,960	208,266	208,266	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
5	継続 1号	045005 健康増進法健康診査					健康づくり課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	健診受診率			%
	23実績	16.7	2,093	4,400	6,493	5,594	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	65	2,593	4,400	6,993	5,976	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	24実績	17.2	2,184	4,400	6,584	5,392	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	25計画	44	2,419	4,400	6,819	6,819	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									

6	継続 1号	045006 特定健診実施事業					保険年金課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	特定健診受診者数		人		
	23実績	12287	129,829	20,000	149,829	107,681	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5	
	24計画	23246	142,368	20,000	162,368	118,580	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	7	
	24実績	13333	136,529	20,000	156,529	101,245	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	7	
	25計画	14578	135,844	20,000	155,844	100,504	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	7	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
7	継続 1号	045007 歯周病検診					健康づくり課 1 ソフト事業（任意）			戦略的事業⑤	関連無し	歯周病検診受診率		%		
	23実績	10.7	2,883	4,640	7,523	6,272	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4	
	24計画	20	3,900	5,040	8,940	6,649	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	9	
	24実績	12.39	2,220	5,040	7,260	6,048	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	9	
	25計画	20	2,516	5,040	7,556	7,556	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	9	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
8	継続 1号	045008 母子保健啓発事業					健康づくり課 2 ソフト事業（義務）			戦略的事業⑤	関連無し	すくすく広場（育児相談：相談延人数）		人		
	23実績	1836	6,596	41,040	47,636	44,805	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	370	9,102	48,000	57,102	55,041	→	→	→	↑	↑	改善継続	増	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	2	
	24実績	541	7,595	34,400	41,995	39,055	→	→	→	↑	↑	改善継続	増	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	2	
	25計画	545	10,317	34,400	44,717	42,064	→	→	→	→	↑	現状継続	増減なし	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	2	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
9	継続 1号	045009 任意予防接種（ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチン）					健康づくり課 1 ソフト事業（任意）			重要事業	関連無し	予防接種率		%		
	23実績	68.7	351,049	8,000	359,049	200,713	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3	
	24計画	85	203,813	6,400	210,213	118,492	→	↓	→	↑	↓	改善継続	増減なし	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	4	
	24実績	81.8	214,184	6,400	220,584	124,156	→	↓	→	↑	↓	改善継続	増減なし	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	4	
	25計画	0	0	0	0	0	↑	→	→	→	→	統合	増減なし	平成25年度統合	—	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
10	継続 1号	045010 任意予防接種（高齢者用肺炎球菌ワクチン）					健康づくり課 1 ソフト事業（任意）			戦略的事業⑤	関連無し	予防接種率		%		
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3	
	24計画	20	23,175	3,200	26,375	26,375	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	6	
	24実績	5.2	5,976	3,200	9,176	7,082	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	6	
	25計画	20	17,340	3,200	20,540	20,540	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して 成果・効果の向上を目指す	6	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										

新規 1号	045011 未熟児養育医療					健康づくり課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	承認率			%	
	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規							
11	23実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	24計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	24実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	25計画	90	13,046	1,440	14,486	1,849	→	→	→	→	→	-	増減なし	4	
	25実績	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→	-	増減なし	4	
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
12	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
13	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
14	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
15	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		医療費助成による生活の安定						64頁		
コード		47								
2 作成者	職名		氏名		職名		氏名			
	保健福祉部保険年金課長		森川 洋行							
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり						49頁		
	政策	政策6：いつも健康で暮らせるまちにします						59頁		
	施策	施策17：医療体制・制度の充実（保健福祉部）						62頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■医療費助成による生活の安定（保健福祉部）■医療体制の充実（保健福祉部）								
4 目的		医療費の助成対象者が、経済的な負担のために受診が抑制されないようになっている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	助成対象者数〔障がい者・65歳以上障がい者・一人親家庭等・子ども医療費助成制度対象者の計〕						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			40000	40000	40000	-	33500		
	実績値	21373	33244	38623	-	-	-			
指標設定背景・根拠	助成対象者数の増加は、経済的な負担のために受診が抑制されないような状況がつけられていることを表す。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	1,234,479	1,153,463	1,236,304	-	-	-	-	-
		概算人件費	64,000	64,000	64,000	-	-	-	-	-
		合計コスト	1,298,479	1,217,463	1,300,304	-	-	-	-	-
	①拡大します	(内)一般財源	794,949	735,088	746,961	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)	子ども医療費助成において、平成24年1月から中学生入院に、また、4月から小学生の通院に対象拡大し、更に、9月から所得制限額の緩和を行ったことにより、助成対象者が増加し、より一層、経済的な負担のため受診が抑制されない状況となった。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)	子育て支援施策の一環として、子ども医療費助成の対象を中学生の入院まで拡大しているが、県内の一部市町では、通院も対象としているところがあり、住所地による格差を生んでいるため、更なる対象拡大について、他市の動向も見据えながら検討してまいりたい。									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)	少子高齢化が進む中、子育て世代が経済的にも安心して受診できるよう取組んできた実績を損なうことのないよう、対象拡大も視野に入れながら継続してまいりたい。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付(相対性判断)																
N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性(事務事業評価による方向性)					26年度における事業の方向性					
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性	26年度における事業の方向性	26年度予算配分等に関する優先順位		
1	継続 1号	047001 心身障害者医療費助成事務	保険年金課 1 ソフト事業(任意)			無該当	関連無し	医療費支給件数			件					
	23実績	110374	472,236	12,000	484,236	278,144	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2	
	24計画	108200	463,093	8,000	471,093	270,811	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	24実績	112749	486,862	8,000	494,862	282,326	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	25計画	111400	485,292	8,000	493,292	283,934	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
27計画	0	0	0	0	0											
27実績	0	0	0	0	0											
2	継続 1号	047002 子ども医療費助成事務	保険年金課 1 ソフト事業(任意)			戦略的事业②	関連無し	医療費支給件数			件					
	23実績	192823	368,947	12,000	380,947	204,747	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	325800	634,849	16,000	650,849	397,660	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	24実績	290179	547,612	16,000	563,612	340,026	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	25計画	314300	610,097	16,000	626,097	331,869	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
27計画	0	0	0	0	0											
27実績	0	0	0	0	0											
3	継続 1号	047003 一人親家庭等医療費助成事務	保険年金課 1 ソフト事業(任意)			無該当	関連無し	医療費支給件数			件					
	23実績	40023	104,783	8,000	112,783	62,553	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3	
	24計画	40000	104,243	8,000	112,243	63,028	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	24実績	38388	96,361	8,000	104,361	58,443	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	25計画	39400	103,172	8,000	111,172	62,258	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
27計画	0	0	0	0	0											
27実績	0	0	0	0	0											
4	継続 1号	047004 後期高齢者医療制度窓口事務	保険年金課 1 ソフト事業(任意)			無該当	関連無し	-			-					
	23実績	-	7,997	12,000	19,997	19,997	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4	
	24計画	-	17,569	16,000	33,569	33,369	→	→	↓	↓	→	改善継続	減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4	
	24実績	-	9,824	16,000	25,824	25,633	→	→	↓	↓	→	改善継続	減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4	
	25計画	-	9,219	16,000	25,219	25,019	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
27計画	0	0	0	0	0											
27実績	0	0	0	0	0											
5	継続 1号	047005 後期高齢者医療保険料徴収	保険年金課 1 ソフト事業(任意)			無該当	関連無し	口座振替件数			件					
	23実績	18475	14,572	12,000	26,572	26,572	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5	
	24計画	18000	14,010	15,200	29,210	29,084	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5	
	24実績	19420	12,578	15,200	27,778	27,667	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5	
	25計画	20000	27,809	15,200	43,009	42,884	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
27計画	0	0	0	0	0											
27実績	0	0	0	0	0											

継続 1号	047006 老人保健医療事務					保険年金課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し				-
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	完了	-
6														
7														
8														
9														
10														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		53 男女共同参画の総合的な取組の推進						73頁		
2 作成者	職名	氏名		職名	氏名					
	生活安全部男女共同参画課長	矢田 眞		保健福祉部子育て支援課長	井上 陽子					
3 総合計画体系	政策の柱	第3章 誰もが暮らしやすいまちづくり						49頁		
	政策	政策7：一人ひとりの人権が尊重され、誰もが参画できる社会の実現をめざします						66頁		
	施策	施策20：男女共同参画社会の実現（生活安全部、保健福祉部）						72頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■男女共同参画社会実現を担う人材育成の推進（生活安全部）								
4 目的		鈴鹿市が実施するあらゆる分野における施策に男女共同参画の視点が導入、推進され、総合的な取組が行われている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	審議会等への女性委員登用率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			32	36	40	-	40		
	実績値	26	27.6	30	-	-	-			
指標設定背景・根拠	各課が実施する業務の政策方針を決定する審議会等への女性委員登用率の上昇は、それぞれの分野において男女共同参画推進意識が高まり、推進されていることを示す。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	19,542	19,120	21,753	-	-	-	-	-
		概算人件費	44,400	44,400	44,400	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	63,942	63,520	66,153	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	60,706	59,092	59,706	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		「鈴鹿市審議会等の設置及び見直しに関する要綱」に基づく事前協議を確実に実施するため、協議の申し出がない場合に男女共同参画課からの指摘を行った結果、目標値にはとどかなかったものの着実な向上につながった。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		国は2020年までに指導的地位に立つ女性の割合を少なくとも30%にする目標に向けて継続して取り組んでおり、安倍政権では女性の活躍が政府の成長戦略の一つとされるなど、男女共同参画社会の実現に向けての取組をより一層進めている。本市でも、平成24年に男女共同参画都市宣言を行っており、取組を加速していく必要がある。 また、男女共同参画センターは築後10年を経過し、計画的な老朽化対策が必要となってきた。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		最終目標に向けて、引き続き事前協議を徹底するとともに、登用率引き上げに苦慮している所属に対しては具体策の提案など特に積極的に働きかける必要がある。 相談事業から導き出される課題を分析し、啓発事業の中で効果的な取り組みを行う。 また、男女共同参画センターの設備点検・修繕計画を検討する。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規		事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
	様式		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					26年度における事業の方向性			
	年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間		事業の 方向性		予算の 方向性
1	継続	053001					男女共同参画課				登録団体数			団体	
	1号	男女共同参画センター管理運営事業				1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し						
	23実績	28	9,375	4,000	13,375	11,949	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	33	9,109	1,600	10,709	9,641	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	37	8,213	1,600	9,813	8,644									
	25計画	35	9,150	1,600	10,750	9,682	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	③将来のコスト縮減のため、予算を厚くする	4
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0										
2	継続	053002					男女共同参画課				DV相談先認知度			%	
	1号	男女共同参画相談事業				1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し						
	23実績	57.7	1,969	2,400	4,369	4,369	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	74	1,866	3,200	5,066	5,066	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	46.7	1,856	3,200	5,056	5,056									
	25計画	50	1,840	3,200	5,040	5,040	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0										
3	継続	053003					子育て支援課				措置件数			件	
	1号	児童虐待・DV対策事業総合支援事業				2 ソフト事業（義務）		無該当	関連無し						
	23実績	370	9,369	14,000	23,369	17,893	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	370	5,102	14,000	19,102	17,348	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	413	5,830	14,000	19,830	16,945									
	25計画	413	7,669	14,000	21,669	16,704	↑	↑	↑	→	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0										
4	継続	053004					男女共同参画課				審議会等への女性委員登用率			%	
	1号	男女共同参画基本計画推進事業				1 ソフト事業（任意）		重要事業	関連無し						
	23実績	26	1,751	21,600	23,351	23,341	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	40	3,465	25,600	29,065	28,651	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	30	3,221	25,600	28,821	28,447									
	25計画	40	3,094	25,600	28,694	28,280	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0										
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
26実績															
27計画															
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		ユビキタスネット社会への対応						81頁		
コード		58								
2 作成者	職名	氏名		職名	氏名					
	総務部市政情報課長	玉田 直哉								
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり						74頁		
	政策	政策8：人・物・情報が活発に行き交うまちをつくります						74頁		
	施策	施策23：情報通信インフラの活用と次世代への対応（総務部）						80頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■なし								
4 目的		いつでも、どこでも、誰もが情報通信ネットワークを利用できるようになっている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	地域WiMAXの加入世帯割合						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			0	0	0	-	10		
	実績値	0	0	0	-	-	-			
指標設定背景・根拠	いつでも、どこでも利用できる情報通信基盤の地域WiMAXの加入世帯の増加は、情報格差の解消につながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	260	44	260	-	-	-	-	-
		概算人件費	800	800	800	-	-	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	1,060	844	1,060	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	1,060	844	1,060	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		成果指標の地域WiMAX普及事業については、地域WiMAX事業会社関連企業の被災等で延期となっていたが、昨年、事業会社が資本合併等により地域WiMAX事業の見直しを行った結果、同事業を中止することになったため、指標設定した本市の当該事業もできなくなった。他の情報リテラシー事業は、目標の74%を達成し、現行の講座内容・手法の最終段階を迎えたと評価する。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		市民は、自己が所有するパソコンやスマートフォンを含めたモバイル機器のハード・ソフトの使い方に関心があり、また、災害時等の情報収集における有線復旧までの期間に不安を持ち、無線等通信インフラに関心をもっている。また、国においては、『世界最先端IT国家創造宣言』で、公共サービスのユビキタス化などを経済対策もあって進めている。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		地域WiMAX普及事業を廃止する。光通信・LTE等高速通信インフラの全域普及とモバイル機器への対応を含めた情報リテラシーの向上を目指す。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型	実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位			
	様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					26年度における事業の方向性	26年度予算配分等に関する優先順位			
	年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間		事業の 方向性	予算の 方向性	
1	継続 1号	058001	情報通信技術（ICT）普及事業				市政情報課 1 ソフト事業（任意）	無該当	関連無し	図書館パソコン講習会受講者数			人		
	23実績	1176	139	800	939	939	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	200	260	800	1,060	1,060	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	148	44	800	844	844									
	25計画	300	260	800	1,060	1,060	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		65 中小企業の高度化・高付加価値化の推進						91頁		
2 作成者	職名	氏名		職名		氏名				
	産業振興部産業政策課長	浅野 浩								
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり						74頁		
	政策	政策10：地域経済を支える豊かな産業を活かします						89頁		
	施策	施策26：蓄積された知識と技術の活用による競争力の向上（産業振興部）						89頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■中小企業の高度化・付加価値化の推進（産業振興部）■地元農水産物の消費拡大の推進（産業振興部）								
4 目的		中小製造業が経営を改善し、生産性が向上している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	支援を受けた企業の件数						単位	件	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			100	100	100	-	100		
	実績値	93	117	101	-	-	-			
指標設定背景・根拠		支援件数が増加することは、多くの企業が課題解決に向けた取組を実施している状態であり、経営改善が進み、生産性が向上することにつながる。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	23,557	20,844	29,265	-	-	-	-	-
		概算人件費	27,040	31,840	27,200	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	50,597	52,684	56,465	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	50,597	52,684	56,465	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		経済状況が厳しい中において、巡回訪問活動を通して企業の実情を把握し、現場のニーズに対応した支援プログラムを実行したことが目標達成に繋がった。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		景気が回復する兆しはあるが、中小企業の現状は厳しく、今年度も中小企業に対する支援は、現状を維持して推移していくものと考えられ、企業のシーズの把握に努めつつ企業訪問、企業支援を実施する。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		中小企業の現場、現状を踏まえたものづくり産業支援センターの果たす役割は大きく、ものづくり産業活性化の核として事業を実施していく。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）																
N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名					担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
		投入コスト[単位:千円]					事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						26年度における事業の方向性			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源		成果	活動量	事業費			一般 財源		作業 時間		事業の 方向性
1	継続 1号	065001	ものづくり産業支援センター事業					産業政策課 1 ソフト事業（任意）			戦略的事業④	関連無し	アンケートによる満足度			%
	23実績	100	20,827	14,400	35,227	35,227	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	60	21,949	11,200	33,149	33,149	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	24実績	101	19,294	16,000	35,294	35,294										
	25計画	60	21,943	16,000	37,943	37,943	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
2	継続 1号	065002	知財先進都市支援事業推進					産業政策課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	知的財産に取り組む企業数			件
	23実績	10	454	1,600	2,054	2,054	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2	
	24計画	10	108	4,800	4,908	4,908	→	→	→	→	→	H25統合	増	④25年度に他の事業と統合する	3	
	24実績	10	83	4,800	4,883	4,883										
	25計画	-	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	統合	大幅減	平成24年度統合		
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
3	継続 1号	065003	市制70周年記念事業（ものづくり産業展開催）					産業政策課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	来場者数			人
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-	
	24計画	1000	1,500	11,040	12,540	12,540	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	減		-	
	24実績	1500	1,467	11,040	12,507	12,507										
	25計画	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	完了	-	平成24年度完了	-	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
4	新規 1号	065004	モノづくり元気企業支援					産業政策課 1 ソフト事業（任意）			戦略的事業④	関連無し	補助採択社数（件）			件
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	-	
	24計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	②コストを増加して成果・効果を向上する	1	
	24実績	-	-	-	-	-										
	25計画	3	7,322	11,200	18,522	18,522	→	→	→	→	→	統合	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
5																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
27実績																

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		商店街の活性化促進						94頁		
コード		67								
2 作成者	職名	産業振興部商業観光課長		氏名	菅沼 博喜		職名	氏名		
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり						74頁		
	政策	政策10：地域経済を支える豊かな産業を活かします						89頁		
	施策	施策27：持続的で安定した経営基盤づくり（産業振興部）						92頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■農水産業の担い手支援と生産基盤の整備（産業振興部）								
4 目的		商店街等が、にぎわいを取り戻し、活性化している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	鈴鹿市が支援する商店街等の活性化促進事業の実施件数						単位	件	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			9	9	9	-	9		
	実績値	6	5	5	-	-	-			
指標設定背景・根拠	活性化促進事業の実施件数の増加は、意欲ある商店街等が自ら積極的に活動を展開し、活性化していることを表す。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	1,500	1,201	6,876	-	-	-	-	-
		概算人件費	4,000	3,200	4,000	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	5,500	4,401	10,876	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	5,500	4,401	10,876	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		商店街を取り巻く環境は、大型商業施設の進出や、インターネット販売等による購買機会の多様化・中心市街地の人口減少などの構造的な要因により、厳しい状況が続いている。このような状況のなかで、地域に根差した商店街活動の維持のため、積極的に活動する商店街の支援を行った。前年と同数の事業が実施され、商店街組織の現状維持が図られている。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		今後も商店街組織体制の維持が困難な状況が進展する。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		地域活動を支える、商店街組織体制の維持を図るため、引き続き事業費補助を継続するとともに、広報活動等市が実施可能な支援を積極的に行う。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）															
N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
	様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						26年度における事業の方向性	26年度予算配分等に関する優先順位		
	年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性		予算の 方向性	
1	継続	067001					商業観光課								
	1号	鈴鹿市商店街等活性化促進事業				1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	参加人数			人	
	23実績	13000	1,202	1,600	2,802	2,802	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	13000	1,250	2,400	3,650	3,650	→	→	→	→	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	2
	24実績	15000	1,201	2,400	3,601	3,601	→	→	→	→	→	改善継続	減	⑥成果・効果を維持しながらコスト減少を図る	2
	25計画	15000	1,250	2,400	3,650	3,650	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑦コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
2	継続	067002					商業観光課								
	1号	鈴鹿市商店街共同施設設置事業				1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	実施件数			件	
	23実績	3	398	1,600	1,998	1,998	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	3	250	1,600	1,850	1,850	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	0	0	800	800	800	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25計画	3	5,626	1,600	7,226	7,226	→	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		新産業の集積の促進							105頁	
コード		77								
2 作成者	職名	氏名		職名		氏名				
	産業振興部産業政策課長	浅野 浩								
3 総合計画体系	政策の柱	第4章 いきいきとした地域と活力を生み出すまちづくり							74頁	
	政策	政策11：新たな活力を生み出す産業を振興します							101頁	
	施策	施策28：新ビジネスの創造と産業の振興（産業振興部）							101頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■新商品の研究開発支援と産業集積の促進（産業振興部）								
4 目的		市内の中小企業が、燃料電池等新分野の開発により新たな事業を展開し、燃料電池をはじめとする新分野の産業集積が図られている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	燃料電池関連機器等新分野の開発に参画する企業数						単位	社	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			1	-	-	-	2		
	実績値	1	0	0	-	-	-			
指標設定背景・根拠	参画する企業の増加は、燃料電池等新分野の事業集積が図られていることを示している。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	1,670	1,249	1,686	-	-	-	-	-
		概算人件費	7,200	7,200	11,200	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	8,870	8,449	12,886	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	8,870	8,449	12,886	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		燃料電池の開発に関する事業は取り組む事業者がなく、現在では次世代産業の創出に向けた取組みを展開している。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		燃料電池に関しては過去に取り組んできたが、開発に取り組む事業者がなく、燃料電池だけにこだわらず鈴鹿地域産業活性化基本計画にある今後の産業集積及び産業の活性化を図る取組みが求められている。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		鈴鹿地域産業活性化基本計画にある今後の産業集積及び産業の活性化を図るため、事業として企業を対象にしたが勉強会等を開催していく。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）																
N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
	様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						26年度における事業の方向性	26年度予算配分等に関する優先順位			
	年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性		予算の 方向性		
1	継続 1号	077001	産業政策推進事業				産業政策課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	貿易相談件数（ジェットロ）			人	
	23実績	20	869	1,600	2,469	2,469	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	10	420	4,000	4,420	4,420	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	24実績	28	400	4,000	4,400	4,400	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	25計画	20	1,026	10,400	11,426	11,426	→	→	→	→	→	統合	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	1	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
2	継続 1号	077002	次世代産業育成支援事業				産業政策課 1 ソフト事業（任意）			職种的事業④	関連無し	新しく開発された商品数			件	
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-	
	24計画	1	1,250	3,200	4,450	4,450	↑	↓	↓	↓	↓	H25統合	増	⑤25年度に他の事業と統合する	2	
	24実績	1	849	3,200	4,049	4,049	↑	↓	↓	↓	↓	H25統合	増	⑤25年度に他の事業と統合する	2	
	25計画	-	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	廃止	大幅減	平成24年度廃止	-	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
3	新規 1号	077003	E V 導入事業				産業政策課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	-			-	
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H25新規	-	
	24計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	24実績	-	-	-	-	-										
	25計画	-	660	800	1,460	1,460	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	2	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0	0										
4																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
	27実績															
5																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
	27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		市民の防災力強化							112頁	
2 作成者	職名	氏名		職名	氏名					
	防災危機管理課長	竹嶋 昇								
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり							110頁	
	政策	政策12：災害に強いまちづくりを推進します							110頁	
	施策	施策30：防災対策の推進（保健福祉部、消防本部）							110頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■災害時の対応力の強化（防災危機管理課） ■地域防災力の整備充実（消防本部）								
4 目的		市民一人ひとりが災害発生時には助け合って、防災活動を行える高い防災意識を持っている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	自主防災活動に対する市民の認識率（市民防災講演会等でのアンケートで、災害時に自分たちで何（各項目）ができるのかを認識していますかという質問による回答率）						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画					第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			70	75	75	-	90		
	実績値	56.7	53.6	57.3	-	-	-			
指標設定背景・根拠	市民が災害発生時に行う防災活動を認識することにより、地域の自主防災力の向上につながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	4,400	7,497	7,693	-	-	-	-	-
		概算人件費	5,600	5,600	5,600	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	10,000	13,097	13,293	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	8,650	12,105	11,122	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		市民が災害発生時に行う防災活動に備え、地域の自主防災組織の結成や活動を積極的に実施することが重要であるので、地域と一体となり、更なる防災啓発の促進に努める。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		市内広域に災害が発生すれば、警察・消防・行政など防災関係機関での対応に限界が生じることから、自分の命は自分で守る「自助」、市民の協力・助け合いによる「共助」をより一層強化する必要がある。このことから、防災マップ等により災害時の備えや防災情報の周知を図るとともに、自主防災隊の育成・活動支援を図る。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		自主防災隊の組織率の向上を図り、市民の協力・助け合いによる「共助」の必要性を促すとともに、地域に応じた防災啓発活動を推進する。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
	様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						26年度における事業の方向性			
	年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間		事業の 方向性		予算の 方向性
1	継続 1号	082001 自主防災組織育成事業	防災危機管理課 1 ソフト事業（任意）			職能的事業①	関連無し	自主防災隊の結成数			隊				
	23実績	13	12,175	2,400	14,575	9,575	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	3	4,300	3,200	7,500	6,150	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	3	7,336	2,800	10,136	9,144									
	25計画	5	7,443	2,800	10,243	8,072	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	③コストを維持して成果・効果を維持する	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
2	継続 1号	082002 市民防災啓発事業	防災危機管理課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	出席者数			人				
	23実績	75488	100	2,400	2,500	2,500	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	15988	100	2,400	2,500	2,500	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	2
	24実績	14151	161	2,800	2,961	2,961									
	25計画	14151	250	2,800	3,050	3,050	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	③コストを維持して成果・効果を維持する	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
3															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		地域消防力の整備充実						121頁		
2 作成者	職名	氏名		職名		氏名				
	消防本部消防総務課長	森 国男		消防本部消防課長		中村 康典				
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり						110頁		
	政策	政策13：安全なまちをめざします						120頁		
	施策	施策33：消防力の強化（消防本部）						120頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■消防体制の充実強化（消防本部）								
4 目的		市民防災力の意識が高まっている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	消防団が指導した自主防災隊の訓練参加者数						単位	人	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			2500	2500	2500	-	2990		
	実績値	2360	5288	5353	-	-	-			
指標設定背景・根拠	地域防災の要である消防団が、自主防災隊の防災訓練を指導し、その訓練参加者数が増加することは、市民防災力の意識の高揚につながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	121,746	109,030	128,542	-	-	-	-	-
		概算人件費	42,160	42,160	36,800	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	163,906	151,190	165,342	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	137,289	130,939	116,402	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		東日本大震災以降、消防団員のモチベーションが向上し、分団単位で自主的に大規模地震を想定した図上訓練(DIG)を実施するなど、市民への積極的な防災意識の啓発が図られており、消防団が指導した自主防災隊の訓練参加者数が目標値の2倍を上回っていることから総合的に高く評価できる。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		激甚災害の発生が危惧される中、自治会、自主防災組織に対する消防団の適切なリーダーシップによる自助、共助体制の確立が不可欠である。また、団員の確保にかかる自治会・事業所等との連携が十分とはいえず、行政地区毎の特性を考慮した適正な消防団の運営を支援する必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		消防団施設、車両等の整備を早急に図りつつ、定数確保のための体制整備によって自治会、自主防災組織等と緊密に連携した消防団の地域防災にかかる指導的立場の確立を図る。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名					担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位
		投入コスト[単位:千円]					事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					26年度における事業の方向性			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源		成果	活動量	事業費				一般 財源	作業 時間	
1	継続 1号	088001 消防団活動事業					消防総務課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	各種訓練研修の参加延べ人数			人
	23実績	3095	82,937	16,000	98,937	90,601	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	3600	79,002	24,000	103,002	92,962	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	3204	73,706	24,000	97,706	93,079									
	25計画	3600	76,542	24,000	100,542	90,522	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0										
2	継続 1号	088002 消防団車両等整備事業					消防総務課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	更新車両整備率			%
	23実績	0	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	22	12,000	2,160	14,160	5,160	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上させる	2
	24実績	22	11,988	2,160	14,148	5,348									
	25計画	44	13,000	4,800	17,800	8,100	↑	→	↑	→	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0										
3	継続 2号	088003 消防団施設整備事業					消防総務課 6 ハード事業等			戦略的事業①	関連無し	-			-
	23実績	-	0	0	0	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	-	-
	24計画	-	8,000	8,000	16,000	16,000	↑	→	↑	→	→	現状継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	24実績	-	2,853	8,000	10,853	10,853									
	25計画	-	39,000	8,000	47,000	17,800	→	→	↑	↑	→	現状継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0										
4	継続 1号	088004 消防団安全対策設備					消防総務課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	消防団安全対策設備整備率			%
	23実績	-	-	-	-	-	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	H24新規	-
	24計画	100	22,744	8,000	30,744	23,167	→	↓	↓	↓	↓	H24完了	減	-	-
	24実績	100	20,483	8,000	28,483	21,659									
	25計画	0	0	0	0	0	↓	↓	↓	↓	↓	完了	大幅減	平成24年度完了	-
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0										
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
27計画															
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		生活道路の整備推進						125頁		
コード		91								
2 作成者	職名		氏名		職名		氏名			
	土木部道路整備課長		後久 芳秋		土木部道路用地課長		生川 展行			
	都市整備部建築指導課長		服部 進二							
3 総合計画体系	政策の柱		第5章 安全で安心できるまちづくり						110頁	
	政策		政策13：安全なまちをめざします						120頁	
	施策		施策34：交通安全対策の推進（生活安全部、土木部、都市整備部）						123頁	
	施策内重点戦略		（重点戦略）■市民の安全で安心な暮らしをつくる生活道路の整備促進（土木部）■安全・安心な交通空間づくりのための交通安全施設の整備（土木部）■橋りょうの耐震整備と適正な維持管理（土木部）							
4 目的		道路利用者が円滑に安心して通行している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名		市道整備率					単位	パーセント	
	期別		第3期行財政経営計画					第5次総計		
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)	
	目標値				49.4	50.8	51.1	-	50.3	
	実績値		48.8	49.3	50.5	-	-	-		
指標設定背景・根拠		市道整備率の増加は、生活道路の整備が推進され、道路利用者が円滑に安心して通行していることを示している。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性		24年度		25年度		26年度		27年度	
	計画・実績		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	事業費		523,206	405,870	428,925	-	-	-	-	-
	概算人件費		177,040	177,040	175,200	-	-	-	-	-
	①拡大します		合計コスト	700,246	582,910	604,125	-	-	-	-
	(内)一般財源		493,704	451,563	527,210	-	-	-	-	-
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		県道神戸長沢線の整備に合わせた三畑72号線外道路整備事業について優先的に取り組み、県事業と整合のとれた進捗が図れた。また、地域からの要望にて実施する道路、橋梁新設改良事業は、昨年並みの事業実績を得ることができ、年度目標値を達成した。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		市民生活にかかわりの深い生活道路の整備に関する地域からの要望は、年々増している。しかしながら、財源（予算）の確保については大変厳しい状況にある。限られた予算の中で、円滑に事業を実施していくには、可能な限り国庫補助事業の活用を図ることと、事業の優先付けが必要である。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		引き続き県事業と関連する三畑72号線外道路整備事業を優先的に整備する。道路、橋梁新設改良事業を2番目に位置付け、累積した要望事業を内容精査し、地域と調整しつつ積極的に整備に取り組み強化を図っていきたい。又、山本中辻1号線外整備事業は、新名神高速道路整備の進捗に合わせるため計画的に整備を進めていく。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規		事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
	様式	成果指標 目標・実績	投入コスト[単位:千円]			事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					26年度における事業の方向性		26年度予算配分等に関する優先順位		
	年度目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性	予算の 方向性		26年度における事業の方向性	
1	継続 1号	091001 道路、橋梁新設改良事業					道路整備課 6 ハード事業等		無該当	関連無し	道路改良率			%	
	23実績	41,433	320,092	104,000	424,092	396,030	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	100	211,822	72,000	283,822	265,422	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	2
	24実績	42,697	208,022	72,000	280,022	264,651									
	25計画	100	262,761	72,000	334,761	330,161	↑	↑	↑	↑	↑	現状継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2	継続 2号	091002 三畑72号線外道路整備事業					道路整備課 6 ハード事業等		無該当	関連無し	-			-	
	23実績	-	20,799	8,000	28,799	10,860	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	-	91,986	8,000	99,986	20,495	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	24実績	-	65,486	8,000	73,486	16,869									
	25計画	-	31,877	8,000	39,877	12,445	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
3	継続 1号	091003 生活道路用地取得事務					道路用地課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	用地取得（契約）地権者数			人	
	23実績	6	11,350	24,000	35,350	35,350	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	2	44,201	31,200	75,401	75,401	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	3
	24実績	1	14,502	31,200	45,702	45,702									
	25計画	8	31,943	31,200	63,143	63,143	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	①課題解決に向け緊急性が高い	4
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
4	継続 1号	091004 市道敷における用地未登記処理事務					道路用地課 4 施設維持管理事業		無該当	関連無し	未登記処理件数			件	
	23実績	8	1,697	8,000	9,697	9,697	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	8
	24計画	-	1,510	8,000	9,510	9,510	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	③将来のコスト縮減のため、予算を厚くする	7
	24実績	5	3,426	8,000	11,426	11,426									
	25計画	-	1,500	8,000	9,500	9,500	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	③将来のコスト縮減のため、予算を厚くする	6
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
5	継続 1号	091005 狭あい道路対策費（道路後退用地等整備推進事業）					建築指導課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	後退用地寄付率			%	
	23実績	81	72,340	35,440	107,780	88,612	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	80	73,411	45,840	119,251	101,751	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを増加して成果・効果を向上する	6
	24実績	83.3	70,233	45,840	116,073	98,573									
	25計画	80	71,965	44,000	115,965	98,465	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	7
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									

6	継続 2号	091006 山本中辻1号線外整備事業				道路整備課 6 ハード事業等			重要事業	関連無し				-	
	23実績	-	29,278	8,000	37,278	9,276	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	新規	4
	24計画	-	40,276	8,000	48,276	11,125	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け 緊急性が高い	4
	24実績	-	39,199	8,000	47,199	9,840	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け 緊急性が高い	4
	25計画	-	14,879	8,000	22,879	8,796	→	→	↑	→	→	現状継続	増	①課題解決に向け 緊急性が高い	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
7	継続 2号	091007 安塚393号線道路整備事業				道路整備課 6 ハード事業等			重要事業	関連無し				-	
	23実績	-	930	8,000	8,930	8,130	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	新規	5
	24計画	-	60,000	4,000	64,000	10,000	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け 緊急性が高い	5
	24実績	-	5,002	4,000	9,002	4,502	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け 緊急性が高い	5
	25計画	-	14,000	4,000	18,000	4,700	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	①課題解決に向け 緊急性が高い	5
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
8															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
9															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
10															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		安全で良質な建築物の確保						129頁		
2 作成者	職名	氏名		職名	氏名					
	都市整備部建築指導課長	服部 進二								
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり						110頁		
	政策	政策13：安全なまちをめざします						120頁		
	施策	施策35：建築物の安全性確保（都市整備部）						128頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■なし								
4 目的		建築物の安全性が確保され、市民が安全に生活している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	建築確認申請を受けた建築物の完了検査合格率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			96	96	96	-	96		
	実績値	92.79	96.16	94.92	-	-	-			
指標設定背景・根拠	完了検査合格率を向上させることは、建築物の安全性や建築規制の実効性が確保され、安全安心な住まいづくりにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	7,121	3,538	5,843	-	-	-	-	-
		概算人件費	76,000	76,000	72,200	-	-	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	83,121	79,538	78,043	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	57,894	64,996	55,557	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		完了検査合格率については、完了時期が近づいた物件及び工事監理者未定の物件について現地調査を行い、建築主に対し完了検査の受検を促したが、目標値をやや下回った。建築物の安全性を確保するため、完了検査合格率の向上に向け、努力していきたい。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		東日本大震災等により、建築物の安全性の確保の必要性が再認識されたところである。また、南海トラフの海溝型巨大地震及び首都直下地震の発生が懸念されていることから、市民においても防災意識が高まっている。一方、国においては、建築行政マネジメント計画策定指針を示し、建築物の安全性を確保するため、特定行政庁が中心となって建築基準法の実効性を高めるためのさらなる取組を求めている。このことから、今後実施する方策について、的確に対応する必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		三重県及び三重県内の特定行政庁で構成される三重県建築行政マネジメント推進協議会において策定した「三重県建築行政マネジメント計画」に基づき、建築確認から検査までの建築規制の実効性を確保するため、目標及び目標値を設定し、講じる施策を明確にするとともに当該計画を重点的に取り組み、その結果を各年で検証し進めることとする。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
	様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						26年度における事業の方向性	26年度予算配分等に関する優先順位		
	年度目標・実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性		予算の 方向性	
1	継続 1号	094001 建築確認等業務				建築指導課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	完了検査率			%	
	23実績	-	3,422	94,400	97,822	80,906	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	96	7,121	76,000	83,121	57,894	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	94.9	3,538	76,000	79,538	64,996									
	25計画	96	5,843	72,200	78,043	55,557	↑	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
3	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
4	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
5	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		99 企業性を重視した水道事業の経営						137頁		
2 作成者	職名	氏名		職名	氏名					
	水道局水道総務課長	杉本 直人								
3 総合計画体系	政策の柱	第5章 安全で安心できるまちづくり						110頁		
	政策	政策14：安心できる市民生活を確保します						130頁		
	施策	施策38：上水道の安定供給（水道局）						136頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■計画的な施設整備（水道局） ■健全経営の推進（水道局） ■おいしい水の供給（水道局） ■啓発・PRの推進（水道局）								
4 目的		水道事業が健全に経営されている。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	水道事業の経常収支比率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			100以上	100以上	100以上	-	100		
	実績値	108.4	104.68	104.19	-	-	-			
指標設定背景・根拠		経常収支比率は、収益性を見る際の最も代表的な指標であり、この比率が100%以上であれば黒字となり健全な経営であることを表している。								
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	22,913	20,215	19,393	-	-	-	-	-
		概算人件費	64,000	64,000	64,000	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	86,913	84,215	83,393	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	-	-	-	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の実績状況、目標の達成状況を踏まえて)		給水収益減少のため、経常収支比率は若干減少したが、目標値は達成することができた。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		景気低迷及び各家庭での節水意識の高まりにより、今後も給水収益の増加は期待できない。更なる経営努力が必要と思われる。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		今後も経常収支比率100%を達成するため、予算編成及び経理事務を優先した。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			26年度における事業の方向性	26年度予算配分等に関する優先順位	
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				事業の方向性	予算の方向性				
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源			作業 時間	事業の方向性	予算の方向性	
1	継続 1号	099001 水道啓発事業					水道総務課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	収納率			%	
	23実績	92.3	55	1,600	1,655	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	93	179	1,600	1,779	0	↑	→	↓	↓	↓	現状継続	減	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	92.36	121	1,600	1,721	0									
	25計画	93	215	1,600	1,815	0	→	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2	継続 1号	099002 水道局庁舎・財産等管理事務					水道総務課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	-			-	
	23実績	-	16,033	8,000	24,033	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	-	18,509	8,000	26,509	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	-	16,133	8,000	24,133	0									
	25計画	-	17,586	8,000	25,586	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
3	継続 1号	099003 水道局職員人事管理事務					水道総務課 5 内部管理事務		無該当	関連有り	-			-	
	23実績	-	177	6,400	6,577	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	6
	24計画	-	305	6,400	6,705	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	6
	24実績	-	304	6,400	6,704	0									
	25計画	-	285	6,400	6,685	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
4	継続 1号	099004 文書管理事務					水道総務課 5 内部管理事務		無該当	関連無し	電子決裁実施率			%	
	23実績	3.5	0	4,000	4,000	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	7
	24計画	6	0	4,000	4,000	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	7
	24実績	10.8	0	4,000	4,000	0									
	25計画	10	0	4,000	4,000	0	↑	↑	→	→	→	現状継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
5	継続 1号	099005 入札及び契約事務（水道局）					水道総務課 5 内部管理事務		無該当	関連無し	-			-	
	23実績	-	868	12,000	12,868	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	-	957	12,000	12,957	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	-	850	12,000	12,850	0									
	25計画	-	957	12,000	12,957	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									

6	継続 1号	099006 予算編成及び事業計画事務					水道総務課 5 内部管理事務			無該当	関連有り				-
	23実績	2,496	8,000	10,496	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	1,554	8,000	9,554	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	①課題解決に向け 緊急性が高い	1	
	24実績	1,406	8,000	9,406	0										
	25計画	175	8,000	8,175	0	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを維持し て成果・効果を維 持する	1	
	25実績	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0										
7	継続 1号	099007 水道事業会計経理事務					水道総務課 5 内部管理事務			無該当	関連無し	資金運用利息			千円
	23実績	5670	2,672	24,000	26,672	0	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	4140	1,409	24,000	25,409	0	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持し て成果・効果の向 上を目指す	2
	24実績	4404	1,401	24,000	25,401	0									
	25計画	3840	175	24,000	24,175	0	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持し て成果・効果を維 持する	2
	25実績	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0										
	27実績	0	0	0	0										
8	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
9	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
10	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		市民参加のまちづくりの推進							146頁	
2 作成者	職名	氏名		職名	氏名					
	生活安全部地域課長	宮崎 由美子								
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために							145頁	
	政策	主要テーマ1：市民みんなで取り組むまちづくりをめざします							145頁	
	施策	施策40：市民参加が活発なまちづくり（生活安全部）							145頁	
	施策内重点戦略	（重点戦略）■市民が主役のまちづくり（生活安全部）								
4 目的		市民が積極的にまちづくりに参加している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	地域の課題を解決するために、地域住民や各種団体等で構成された地域組織の設立数						単位	団体	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			11	13	15	-	17		
	実績値	8	9	11	-	-	-			
指標設定背景・根拠	当該組織の設立数が増加することは、市民参加のまちづくりが推進されたことになる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	115,622	112,305	115,178	-	-	-	-	-
		概算人件費	48,800	48,800	48,800	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	164,422	161,105	163,978	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	164,422	161,105	163,978	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		鈴鹿市まちづくり基本条例が策定され、フォーラム等を通じて、地域づくりの必要性が徐々にではあるが市民に理解されるようになり、地域からの機運の高まりの中で、目標数の地域組織が設立された。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		厳しい財政状況や東日本大震災の発生等によって、地域づくりの必要性は理解されつつあり、これまで以上に地域づくりへの関心が高まってきているように思われる。この時期から、将来を見据えた本市の地域づくりのあり方（地域の範囲や補助金のあり方等）を明確にしておくべきである。また、地域づくり協議会の育成には、地域づくりアドバイザーが不可欠である。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		本市においても、さらに厳しい社会状況になることが予想され、住民自治の確立が急務である。そのためにも市民参加と協働のまちづくりが必要であり、地域づくり推進事業と市民参加推進事業を優先とする。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）															
N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型		実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）				26年度における事業の方向性					
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量				事業費	一般 財源		作業 時間	事業の 方向性
1	継続 1号	106001	地域づくり推進事業				地域課 1 ソフト事業（任意）		重要事業	関連有り	地域づくり活動団体設立数			団体	
	23実績	9	2,499	10,400	12,899	12,899	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	11	3,327	12,800	16,127	16,127	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	①課題解決に向け 緊急性が高い	1
	24実績	11	3,032	12,800	15,832	15,832									
	25計画	13	3,592	12,800	16,392	16,392	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け 緊急性が高い	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2	継続 1号	106002	自治会委託事務				地域課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	自治会事務委託料の世帯数			世帯数	
	23実績	66809	103,854	4,000	107,854	107,854	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4
	24計画	67785	105,910	4,000	109,910	109,910	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを維持し て成果・効果を維持 する	3
	24実績	66760	103,979	4,000	107,979	107,979									
	25計画	67785	105,660	4,000	109,660	109,660	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを維持し て成果・効果を維持 する	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
3	継続 1号	106003	自治会団体事務				地域課 1 ソフト事業（任意）		無該当	関連無し	自治会連合会加入率			%	
	23実績	99.25	3,655	4,000	7,655	7,655	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5
	24計画	100	3,785	5,600	9,385	9,385	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを維持し て成果・効果を維持 する	4
	24実績	99.5	3,049	5,600	8,649	8,649									
	25計画	100	3,637	5,600	9,237	9,237	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを維持し て成果・効果を維持 する	4
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
4	継続 1号	106004	地縁団体認可事務				地域課 2 ソフト事業（義務）		無該当	関連無し	地縁団体認可数			自治会数	
	23実績	-	0	2,400	2,400	2,400	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	10
	24計画	-	0	4,000	4,000	4,000	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	②コストを維持し て成果・効果を維持 する	5
	24実績	86	0	4,000	4,000	4,000									
	25計画	-	0	4,000	4,000	4,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	②コストを維持し て成果・効果を維持 する	5
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
5	継続 1号	106005	市民参加推進事業				地域課 1 ソフト事業（任意）		重要事業	関連有り	市民活動情報サイト登録団体数			団体	
	23実績	-	1,805	12,800	14,605	14,605	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	120	2,600	14,400	17,000	17,000	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを維持し て成果・効果の向 上を目指す	2
	24実績	117	2,245	14,400	16,645	16,645									
	25計画	125	2,289	14,400	16,689	16,689	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	②コストを維持し て成果・効果の向 上を目指す	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		市民参加の活動環境の充実						147頁		
コード		107								
2 作成者	職名	氏名		職名	氏名					
	生活安全部地域課長	宮崎 由美子								
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために						145頁		
	政策	主要テーマ1：市民みんなで取り組むまちづくりをめざします						145頁		
	施策	施策40：市民参加が活発なまちづくり（生活安全部）						145頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略） ■市民が主役のまちづくり（生活安全部）								
4 目的		充実した活動環境により、市民のまちづくりへの参加が拡大している。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	市民がまちづくりの活動を行う主要施設の設置数					単位	か所		
	期別	第3期行財政経営計画					第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			324	325	326	-	327		
	実績値	324	324	324	-	-	-			
指標設定背景・根拠	公民館、コミュニティセンター、自治会集会所等のまちづくり活動を行う主要な施設が増加することは、市民参加の活動環境が充実したことにつながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	76,888	76,940	80,083	-	-	-	-	-
		概算人件費	11,200	11,200	11,200	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	88,088	88,140	91,283	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	88,087	88,138	91,253	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		財政状況の厳しい時代にあって、箱モノの建設は容易ではない。既存の公共施設については、誰でも気軽に利用が可能となるように施設の改修等を計画的に行った。地域住民が身近に集える集会所等は、地域コミュニティの活性化のために重要な施設であり、改築や新築移転など、さらなる環境整備が行われている。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		少子高齢化等、ますます厳しくなる社会環境に対応するためには、市民参加が活発なまちづくりの推進を図り、その活動拠点となる施設整備が不可欠である。また、既存の公共施設については、住民のニーズにあった利用が可能となるよう、施設的环境整備が必要である。設置要望がある（仮称）市民活動センターについては、設置場所等の検討を行い、その管理運営を担える団体の育成が必要であると考え。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		社会環境の変化に対応したコミュニティセンターの運営とするためには、自主事業の実施等支援の拡充を図るなど、コミュニティセンター設置趣旨に合った運営が必要であることから、コミュニティセンター管理運営事業を優先とする。また、市民活動の活性化のためには、その拠点となる施設が不可欠であり、現在、活用している既存施設のさらなる充実に取り組む。次に、自治会への支援として、災害緊急時に使用でき、地域の情報伝達手段としての自治会放送施設や町内掲示板設置整備を優先とする。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）					26年度における事業の方向性				
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費				一般 財源	作業 時間		事業の 方向性
1	継続 1号	107001 市民活動センター設置事業	地域課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	パンフレット等設置団体数			団体				
	23実績	31	1,034	800	1,834	1,834	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	50	1,073	800	1,873	1,873	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3
	24実績	47	986	800	1,786	1,786									
	25計画	50	1,084	800	1,884	1,884	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
2	継続 1号	107002 コミュニティセンター管理・運営事業	地域課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	利用者満足度			%				
	23実績	3996	12,102	800	12,902	12,902	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	100	11,450	800	12,250	12,249	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	24実績	98	10,775	800	11,575	11,573									
	25計画	100	15,065	800	15,865	15,835	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
3	継続 1号	107003 地区市民センター施設管理運営事業	地域課 3 施設管理運営事業			無該当	関連無し	業務を実施すべき日			日				
	23実績	0	26,791	6,400	33,191	33,191	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	9
	24計画	245	50,491	6,400	56,891	56,891	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	24実績	245	49,728	6,400	56,128	56,128									
	25計画	244	51,003	6,400	57,403	57,403	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
4	継続 1号	107004 集会所建築等補助事業	地域課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	集会所数			箇所				
	23実績	0	10,786	1,120	11,906	11,906	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	-
	24計画	287	13,374	1,600	14,974	14,974	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	6
	24実績	287	14,510	1,600	16,110	16,110									
	25計画	287	12,931	1,600	14,531	14,531	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	5
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
5	継続 1号	107005 町内掲示板設置補助事業	地域課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	町内掲示板設置数			箇所				
	23実績	0	480	160	640	640	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	-
	24計画	618	250	800	1,050	1,050	↑	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	2
	24実績	626	500	800	1,300	1,300									
	25計画	626	0	800	800	800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	⑤コストを維持して成果・効果を維持する	4
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										

継続 1号	107006 自治会放送施設設置補助事業					地域課 1 ソフト事業 (任意)			無該当	関連無し	放送施設設置数			箇所	
	23実績	24計画	24実績	25計画	25実績	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続		
6	23実績	0	340	80	420	420									
	24計画	81	250	800	1,050	1,050	↑	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上する	1
	24実績	81	441	800	1,241	1,241									
	25計画	81	0	800	800	800	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	③コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
27実績	0	0	0	0	0										
7	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
8	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
9	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															
10	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
27実績															

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		市民への情報提供の推進						149頁		
2 作成者	職名	氏名		職名		氏名				
	企画財務部秘書広報課長	丹羽 威知郎		総務部市政情報課長		玉田 直哉				
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために						145頁		
	政策	主要テーマ1：市民みんなで取り組むまちづくりをめざします						145頁		
	施策	施策41：市民との情報共有の推進（生活安全部）						145頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■情報提供の推進（企画財務部）■対話中心の広聴の推進（生活安全部）								
4 目的	市政情報や市内の情報がより多くの市民に提供され、市政やまちづくりに対する市民の関心が高まっている。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	鈴鹿市ホームページへの年間アクセス件数					単位	万件		
	期別	第3期行財政経営計画					第5次総計			
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			750	780	790	-	1000		
	実績値	806	713	633	-	-	-			
指標設定背景・根拠	インターネットは市民にとって身近な情報収集の手段となっています。鈴鹿市ホームページへのアクセス数が増加することは、市政に関する情報が多くの市民に提供され、関心を持たれていることを示している。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	50,004	50,873	50,051	-	-	-	-	-
		概算人件費	32,400	32,400	34,020	-	-	-	-	-
	①拡大します	合計コスト	82,404	83,273	84,071	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	82,404	83,273	84,071	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)	多様な媒体を活用し、市民ニーズに沿った行政情報を提供し、平成24年度には「市制70周年事業」としてのPR活動など、まちづくりの取組み等の情報を提供しました。また、平成25年3月にホームページをより利用しやすく、理解しやすいものにリニューアルしました。なお、目標値を下回った要因としては、一時的な減少によるものと判断しており、リニューアル以降については、アクセス件数は増加傾向にあります。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)	ツイッター、フェイスブック等のソーシャルメディアの急速な普及及びスマートフォンタブレット等の携帯端末の普及による情報環境の変化に伴い、市民の方が行政情報を入手する手段も多様化している。このような環境変化に遅れることなく多様なメディアを活用し、より多くの市民の方々が、行政情報について必要な時間帯に必要な内容をより容易に入手できる環境を整える必要がある。今後とも地域クラウドの構築やICT技術を活用した、本市の情報提供戦略の樹立が必要である。									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)	ICT技術の進展が進んでいいるものの、本市の現状はまだ行政情報の提供の主軸は「広報すずか」であり、広報紙の内容充実に取り組む。ホームページに関しては25年3月にリニューアルを行ったが、市民により関心を持たれる情報を提供するための新たな取組みとして、今まで以上にアンケート調査等を実施し、市民ニーズを検証、分析し、一層の創意工夫を行い、一層の拡充に取り組んでいく。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）																
NO	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名					担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
		投入コスト[単位:千円]					事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						26年度における事業の方向性			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源		成果	活動量	事業費			一般 財源		作業 時間		事業の 方向性
1	継続 1号	108001	情報公開事務					市政情報課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	情報公開コーナー利用件数			件
	23実績	865	588	8,000	8,588	8,588	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	4	
	24計画	908	1,408	8,000	9,408	9,408	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4	
	24実績	953	891	8,000	8,891	8,891										
	25計画	1001	1,519	9,620	11,139	11,139	↑	→	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	4	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
2	継続 1号	108002	広報すずか発行事業					秘書広報課 2 ソフト事業（義務）			無該当	関連無し	メールモニター制度を使った満足度アンケート			%
	23実績	74.25	18,784	10,400	29,184	29,184	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	70	21,203	9,600	30,803	30,803	↑	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	24実績	77	19,174	9,600	28,774	28,774										
	25計画	70	21,596	9,600	31,196	31,196	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	3	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
3	継続 1号	108003	テレビ広報事業					秘書広報課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	メールモニター制度を使った満足度アンケート			%
	23実績	56	11,907	3,200	15,107	15,107	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	5	
	24計画	70	11,907	3,200	15,107	15,107	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5	
	24実績	68	11,907	3,200	15,107	15,107										
	25計画	70	11,655	3,200	14,855	14,855	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	5	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
4	継続 1号	108004	ホームページ管理運営事業					秘書広報課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	アクセス件数			件
	23実績	7134356	3,489	4,000	7,489	7,489	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3	
	24計画	7491073	3,277	4,000	7,277	7,277	↑	↑	↑	↑	↑	改善継続	増	①課題解決に向け緊急性が高い	1	
	24実績	6328685	6,610	4,000	10,610	10,610										
	25計画	6645119	3,277	4,000	7,277	7,277	↑	↑	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	1	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
5	継続 1号	108005	コミュニティFM広報事業					秘書広報課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	メールモニター制度を使った満足度アンケート			%
	23実績	71	11,000	800	11,800	11,800	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2	
	24計画	70	10,000	1,600	11,600	11,600	↑	→	↑	↑	→	改善継続	増	②コストを増加して成果・効果を向上させる	2	
	24実績	83	10,000	1,600	11,600	11,600										
	25計画	70	9,840	1,600	11,440	11,440	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											

	108006 政策広報業務（市長のWebページに関する情報管理）						秘書広報課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	市長のWebページへのアクセス件数			件
	23実績	40137	0	2,000	2,000	2,000	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間	事業	
6	24計画	32000	0	2,000	2,000	2,000	↑	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	24実績	33051	0	2,000	2,000	2,000									
	25計画	33000	0	2,000	2,000	2,000	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	6
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
7	108007 報道機関との連絡調整事務						秘書広報課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	新聞に掲載された記事をスクラップしたそのスクラップ冊数			冊
	23実績	37	0	2,400	2,400	2,400	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間	事業	
	24計画	24	0	2,400	2,400	2,400	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	24実績	36	0	2,400	2,400	2,400									
	25計画	24	0	2,400	2,400	2,400	→	→	→	→	→	現状継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	8
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
8	108008 メールモニター事業						秘書広報課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	アンケート回答者数（年間）			人
	23実績	4206	2,209	2,000	4,209	4,209	成果	活動量	事業費			一般財源	作業時間	事業	
	24計画	5273	2,209	1,600	3,809	3,809	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7
	24実績	3892	2,291	1,600	3,891	3,891									
	25計画	4879	2,164	1,600	3,764	3,764	→	→	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	7
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
9	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
10	26実績														
	27計画														
	27実績														

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名		市民の声の的確な把握							150頁		
コード		109									
2 作成者	職名		氏名		職名		氏名				
	生活安全部市民対話課長		吉崎 美穂		企画財務部秘書広報課長		丹羽 威知郎				
3 総合計画体系	政策の柱		第6章 構想の推進のために							145頁	
	政策		主要テーマ1：市民みんなで取り組むまちづくりをめざします							145頁	
	施策		施策41：市民との情報共有の推進（生活安全部）							145頁	
	施策内重点戦略		（重点戦略）■情報提供の推進（企画財務部）■対話中心の広聴の推進（生活安全部）								
4 目的		多様化する市民ニーズを的確に把握することにより、市民生活に密着した行政サービスを提供している。									
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名		「市政への提言」による広聴を行った件数					単位	件		
	期別		第3期行財政経営計画					第5次総計			
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値				70	80	90	-	100		
	実績値		63	61	30	-	-	-			
指標設定背景・根拠		手紙やメール等、様々な方法で寄せられる「市政への提言」による広聴件数の増加は、多様化する市民ニーズの的確な把握につながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性		24年度		25年度		26年度		27年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	事業費		173	118	162	-	-	-	-	-	
	概算人件費		40,000	40,000	40,000	-	-	-	-	-	
	合計コスト		40,173	40,118	40,162	-	-	-	-	-	
①拡大します		(内)一般財源		40,000	40,000	40,000	-	-	-		
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		成果指標は、市に寄せられる「市民の声」の中から「市政への提言」として広聴を行った件数を置いているが、その件数は年々減少傾向にある。特に24年度は、内容を精査したこともあり、より顕著となってしまった。より多くの「市民の声」を聴取する目的で、25年度からはホームページの見直しを行い、広聴の仕組みを検討しているが、最終目標を達成するためにも更なる改善の必要がある。									
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		「市政への提言」件数と相反し、「市民の声」総件数は、増加の一途をたどっている。社会情勢の悪化などをうけ、様々な意見が寄せられている状況である。									
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		多種多様化する市民ニーズを的確に把握し、「市民の声」を市政に繋げていくためにも広聴業務は重要と考える。									

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）

N O	継続・新規	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位		
	様式	投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						26年度にお ける事業の 方向性	26年度予 算配分等 に関する 優先順位			
	年度目標・ 実績	成果指標 目標・実績	事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費	一般 財源	作業 時間	事業の 方向性		予算の 方向性		
1	継続 1号	109001 「市民の声」広聴事業				市民対話課 1 ソフト事業（任意）			無該当	関連無し	「市民の声」の内、回答すべきものに対する回答率（「市政への提言」による広聴を行った件数）			%（件）		
	23実績	61	4,437	40,000	44,437	44,162	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1	
	24計画	100 (70)	173	40,000	40,173	40,000	↑	↑	→	→	↑	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	24実績	100 (30)	118	40,000	40,118	40,000	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	25計画	100 (30)	162	40,000	40,162	40,000	↑	↑	→	→	→	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1	
	25実績	0	0	0	0	0										
	26計画	0	0	0	0	0										
	26実績	0	0	0	0	0										
	27計画	0	0	0	0	0										
27実績	0	0	0	0	0											
2																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
27実績																
3																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
27実績																
4																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
27実績																
5																
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算			
	24計画															
	24実績															
	25計画															
	25実績															
	26計画															
	26実績															
	27計画															
27実績																

鈴鹿市単位施策評価シート

対象年度 平成24→27年度

1 単位施策名 コード		国・県との連携						152頁		
2 作成者	職名	氏名		職名		氏名				
	企画財務部企画課長	長谷川 玲子		総務部総務課長		鈴木 謙治				
3 総合計画体系	政策の柱	第6章 構想の推進のために						145頁		
	政策	主要テーマ2：時代の変化に対応した行政経営をめざします						151頁		
	施策	施策42：自治力の強化（企画財務部，総務部）						151頁		
	施策内重点戦略	（重点戦略）■地方分権型社会に対応できる人材の育成（総務部）■シティセールスの推進（企画財務部）■自主財源の積極的な確保（企画財務部）								
4 目的		国や県に対して政策提案及び改善に向けた要望活動を行うことは，市が重点的に推進する施策の早期実現につながる。								
5 目的の達成状況（成果指標）	指標名	市からの要望事項に対する県の対応率						単位	パーセント	
	期別	第3期行財政経営計画						第5次総計		
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	最終目標(H27)		
	目標値			85	90	95	-	100		
	実績値	73	82	76	-	-	-			
指標設定背景・根拠	対応率が上がることは，国や県の協力が得られたことになり，課題解決につながる。									
6 投入コスト	第3期行財政経営計画資源投入の方向性	単位：千円	24年度		25年度		26年度		27年度	
		計画・実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		事業費	15	-	10	-	-	-	-	-
		概算人件費	6,080	4,400	4,000	-	-	-	-	-
	②現状を維持します	合計コスト	6,095	4,400	4,010	-	-	-	-	-
	(内)一般財源	6,095	4,400	4,010	-	-	-	-	-	
7 総合評価 (24年度の取組み状況、目標の達成状況を踏まえて)		国・県の要望事項については，積極的に取り組み，要望件数は増加している。また，要望内容も単なる事業支援型，財政支援型の要望だけでなく，新たな制度創設や提案型要望に変化してきている。そのため，県の対応が明確な回答へと繋がらないケースもあり，対応率は低下したものと理解する。								
8 環境変化を踏まえた課題認識 (市民からの要望、国・県の動向なども踏まえて)		地方分権が進み，基礎自治体においても独自施策が求められてくる中で，国・県に対して積極的な要望活動等を通してアピールしていくことも一層重要となる。 要望方法についても，膨大な数の要望の中から，本市の要望内容を取り上げてもらうためには，何をどのように要望しているのか，明確かつ的確に理解される要望書作成にも努める必要がある。								
9 今後の方向性 (新規事業や既存事業の26年度における優先順位の考え方)		国・県の動向や社会経済状況の変化等を見極め，本市にとって真に必要となり，公共の福祉に最大限繋がる事業に対して優先的に要望していくことが求められる。 国・県，三重県市長会，東海市長会を通じて全国市長会など様々な要望先があるため，要望手法の検証や，要望先に応じた内容かどうかの精査も行い，最も効果的な要望に繋げていく。								

10 構成事務事業の方向性・優先順位付（相対性判断）															
N O	継続・新規 様式 年度目標・実績	事務事業コード 事務事業名				担当所属名 事業類型			実施 計画	行革 関連	成果指標 指標名			単位	
		投入コスト[単位:千円]				事業実施の方向性（事務事業評価による方向性）						26年度における事業の方向性			
		事業費	概算 人件費	合計 コスト	一般 財源	成果	活動量	事業費			一般 財源		作業 時間		事業の 方向性
1	継続 1号	110001	各種補助制度申請事務				企画課 5 内部管理事務			無該当	関連無し	-			-
	23実績	-	0	960	960	960	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	3
	24計画	-	0	960	960	960	→	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果を維持する	3
	24実績	-	0	800	800	800									
	25計画	-	0	800	800	800	↑	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
2	継続 1号	110002	国・県等への要望活動				企画課 5 内部管理事務			無該当	関連無し	-			-
	23実績	-	0	1,600	1,600	1,600	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	1
	24計画	-	0	1,600	1,600	1,600	↑	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	24実績	-	0	2,000	2,000	2,000									
	25計画	-	0	1,600	1,600	1,600	↑	→	→	→	→	改善継続	人件費のみ	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	1
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
3	継続 1号	110003	地方分権推進事業				総務課 5 内部管理事務			無該当	関連無し	-			-
	23実績	-	119	3,840	3,959	3,959	成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算	継続	2
	24計画	-	15	3,520	3,535	3,535	→	↓	→	→	↓	改善継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果の向上を目指す	2
	24実績	-	0	1,600	1,600	1,600									
	25計画	-	10	1,600	1,610	1,610	→	→	→	→	→	現状継続	増減なし	④コストを維持して成果・効果を維持する	3
	25実績	0	0	0	0	0									
	26計画	0	0	0	0	0									
	26実績	0	0	0	0	0									
	27計画	0	0	0	0	0									
	27実績	0	0	0	0	0									
4															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														
5															
	23実績						成果	活動量	事業費	一般財源	作業時間	事業	予算		
	24計画														
	24実績														
	25計画														
	25実績														
	26計画														
	26実績														
	27計画														
	27実績														

④構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	3	
単位施策名	図書館サービスの充実	
3001	改善すべき課題の具体的な内容	図書館サービス方針策定のため、市民、利用者を対象に図書館利用アンケート調査を実施した。その調査結果を集計・分析し、利用者の意見などを踏まえ図書館の運営にあたり、利用者の要望・意見を集約し、今後の改善の方向性を示す。
図書館運営・サービス事業		
3002	改善すべき課題の具体的な内容	公立図書館の責務として、施設の維持管理において常に図書環境の充実に努める必要がある。竣工後32年を経過し老朽化が目立つ施設であり、利用者に向けたサービスの一つとして施設の維持管理は今後も重要であるため、継続的な整備が必要となる。
図書館施設等維持管理事務		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	8	
単位施策名	子どもの教育環境の充実	
8001	改善すべき課題の具体的な内容	教育委員の議論の前提となる各種資料の適切な作成と提示
教育委員会運営事務		
8002	改善すべき課題の具体的な内容	補助金交付要綱の策定と適切な運用
私立中高等学校私学振興費補助事業		
8003	改善すべき課題の具体的な内容	補助金交付要綱の策定と適切な運用
三重朝鮮学園補助事業		
8004	改善すべき課題の具体的な内容	今後において、園舎、校舎及び屋内運動場等施設の老朽化が進む中、多額な維持管理費用が必要となってきている。
幼稚園・小・中学校施設維持管理		
8005	改善すべき課題の具体的な内容	国土交通省の技術指針の公表が遅れているため、事業実施できない状況である。
小・中学校屋内運動場吊り天井改修		
8006	改善すべき課題の具体的な内容	児童生徒数の増加が長期間に及ぶ学校がある。
小・中学校施設整備		
8007	改善すべき課題の具体的な内容	旧校舎敷地の売却に向けての公図等の整理を行うとともに、第2グラウンドについては適正な不動産鑑定評価を行う。
神戸中学校移転改築		
8008	改善すべき課題の具体的な内容	引き続き、教育委員会事務局各所属間の情報共有に努める。
教育行政相談		

8009	改善すべき課題の 具体的な内容	分離発注を行うことから、各工事間での施工期間の調整に苦慮することが予測される。
平田野中学校移転改築		
8010	改善すべき課題の 具体的な内容	補助金交付要綱の策定と適切な運用
イーエーエス伯人学校補助 事業		
8011	改善すべき課題の 具体的な内容	事業完了
深伊沢小学校屋内運動場増 改築		
8012	改善すべき課題の 具体的な内容	分離発注を行うことから、各工事間での施工期間の調整に苦慮することが予測される。
第二学校給食センター施設 整備		
8013	改善すべき課題の 具体的な内容	施工時における児童の安全と、周辺地域住民への生活環境に配慮することが望まれる。
栄小学校屋内運動場・プー ル増改築		
8014	改善すべき課題の 具体的な内容	今回対象となっていない学校についての取り組みが課題である。
教育施設防災機能強化		
8015	改善すべき課題の 具体的な内容	現状把握を適切に行い、設置費用の縮減を図りつつ、早期に設置を完了する必要がある。
教育施設扇風機設置		
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	9	
単位施策名	就学前教育の充実	
9001	改善すべき課題の具体的な内容	補助金交付要綱の策定と適切な運用
私立幼稚園補助事業		
9002	改善すべき課題の具体的な内容	国庫補助申請方式の変更や補助対象の拡大に対応していく必要がある。
私立幼稚園就園奨励費補助事業		
9003	改善すべき課題の具体的な内容	幼稚園再編計画(案)に基づいた施設整備等を実施する。
幼稚園管理運営事業		
9004	改善すべき課題の具体的な内容	保育料が適切であるか検討する。
幼稚園保育料収納管理事務		
9005	改善すべき課題の具体的な内容	再編整備計画(案)を策定し、地元と協議を行う。
幼児教育振興検討事業(公立幼稚園再編整備)		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	12	
単位施策名	確かな学力づくり	
12001	改善すべき課題の具体的な内容	理科教育の振興は、本市の教育課題であるため、鈴鹿高専との連携をさらに図り、児童生徒の意欲向上を図る。
鈴鹿市教育研究会研究事業		
12002	改善すべき課題の具体的な内容	児童生徒や保護者の満足度をさらに上げるために、特別教育振興会との内容充実に向けた協議を行いつつ、効果をあげたい。
特別支援教育の振興補助事業		
12003	改善すべき課題の具体的な内容	JETプログラムを活用したALTの体制を進める。
国際化教育推進事業		
12004	改善すべき課題の具体的な内容	研修機会の確保のため、多くが参加できる工夫が必要である
教育研究推進事業		
12005	改善すべき課題の具体的な内容	教科学習における調べ学習等学校図書館の学習・情報センター機能の活用をさらに進める必要がある。
学校図書館巡回指導員派遣事業		
12006	改善すべき課題の具体的な内容	・パソコン室教育用パソコンについて、前回の更新から5年を超えた学校が15校あり、不具合が頻発している。 また、文科省が定める目標台数も小学校については下回っている。
学校教育情報化推進事業		
12007	改善すべき課題の具体的な内容	補助金から事業費に変更したため、円滑な事業運営が課題である。
チャレンジ14事業		
12008	改善すべき課題の具体的な内容	学習指導要領にそって、学校教育の一環として部活動を明確に位置付け、学校経営の中で適切に運営していく必要がある。
部活動振興事業		

12009	改善すべき課題の 具体的な内容	各学校において、本事業を教育課程に適切に位置付け教育効果を 高めていく必要がある。
すずか夢工房－達人に学ぶ －		
12010	改善すべき課題の 具体的な内容	25年度実施なし
学力保障推進事業		
12011	改善すべき課題の 具体的な内容	授業研究や校内研修会以外の各学年の相談については、可能な場 合は学校の方から庁舎に来てもらうことについては、実現できた。
指導主事の要請訪問		
12012	改善すべき課題の 具体的な内容	24年度は国の事業を受けて、防災減災教育を強化し、新しく取組を 始める事務事業が多かった。
復興教育支援事業		
12013	改善すべき課題の 具体的な内容	24年度は、小学校において必ず行う食育のカリキュラムを作成した ので、小学校における実践の充実を図る。 中学校における栄養教諭と連携した食育の取組を浸透させる。
食育推進事業		
12014	改善すべき課題の 具体的な内容	新学習指導要領の浸透や学力向上の面から、今後ますます、学校 図書館を活用する機会は増加する。
学校図書館学習・情報セン ター機能強化支援事業		
12015	改善すべき課題の 具体的な内容	この事業の継続により、各校が自校の強みを生かし、生きる力の育 成のために「特色ある学校づくり」にさらに取り組むよう指導していく。 特色ある取組と生きる力の育成の関連性について周知する必要がある。 ある。
確かな学力を育む特色ある 学校づくり事業		
12016	改善すべき課題の 具体的な内容	－
理科教育推進支援事業費		
12017	改善すべき課題の 具体的な内容	市内の学校での授業研修を盛んにし、研修したことを実践・検証する 機会を設けたい。
道徳教育総合支援事業		
12018	改善すべき課題の 具体的な内容	他の教科との関連を大切にして、教科横断的な指導にするために も、カリキュラムを評価・改善していく必要がある。
教育課程研究指定校事業		

12019	体系的なキャリア教育実践 研究事業	改善すべき課題の 具体的な内容	実践校の成果について、他校に還流する方策を考え、その機会を設定する必要がある。
12020			
12020	環境教育調査研究事業	改善すべき課題の 具体的な内容	今後は、環境教育のカリキュラムについて、評価・改善を実施し、よりよいカリキュラムにしていくことに取り組みたい。
12021	栄養教諭を中核とした食育 推進事業	改善すべき課題の 具体的な内容	24年度は、小学校において必ず行う食育のカリキュラムを作成したので、小学校における実践の充実を図る。 中学校における栄養教諭と連携した食育の取組を充実させる。
12022			
12022	消費者教育推進調査研究事業	改善すべき課題の 具体的な内容	24年度は国の事業を受けて、新しく取組を始める事務事業が多かった。 消費者教育を教育課程に位置付けるきっかけとすることができた。

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	36	
単位施策名	障がい者福祉の推進	
36001	改善すべき課題の具体的な内容	「社会福祉基金」充当事業の検証(将来的な年次計画等)
福祉タクシー事業		
36002	改善すべき課題の具体的な内容	特にないが、福祉的就労事業所における「工賃」推移の把握を徐々に実施していく。
通所助成事業		
36003	改善すべき課題の具体的な内容	平成25年度に補助金の削減を行っているため、数年先にあらためて、その効果、改善を検討する。
社会福祉団体等活動費補助事業		
36004	改善すべき課題の具体的な内容	特になし。
在宅障害者手当事業		
36005	改善すべき課題の具体的な内容	特になし。
障害者施策推進事業		
36006	改善すべき課題の具体的な内容	事務事業量の軽減
特別障害者手当等事業		
36007	改善すべき課題の具体的な内容	特になし
難病患者等在宅福祉事業		
36008	改善すべき課題の具体的な内容	出張相談業務の廃止
生活支援事業		

36009	重症心身障害者移送支援事業	改善すべき課題の具体的な内容	円滑な既存類似事業への移行もしくは別メニューで対応する助成制度の新設を検討し、本制度の役割を終えること。
36010	自立支援給付事業	改善すべき課題の具体的な内容	特になし。
36011	地域生活支援事業	改善すべき課題の具体的な内容	特になし。
36012	障害福祉サービス費等加算事業	改善すべき課題の具体的な内容	特になし。
36013	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業	改善すべき課題の具体的な内容	特になし
36014	各種障害者手帳及び福祉サービスに係る窓口事務	改善すべき課題の具体的な内容	専門性も加味した嘱託、臨時職員の大規模配置もしくはアウトソーシング
36015	高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する事務	改善すべき課題の具体的な内容	建築物の設計時に、基準に適合するよう設計者に指導する。改修時は、事前相談をするよう所有者に現地で指導する。法律で義務付けているので、現状を継続する。
36016	障害者グループホーム等緊急整備事業	改善すべき課題の具体的な内容	特になし
36017	NPO法人等福祉施設運営資金貸付金	改善すべき課題の具体的な内容	特になし
36018	障害者相談員設置事業	改善すべき課題の具体的な内容	相談実績が、守秘義務等から見えにくく、県からの委譲時に十分把握すべきであった反省点がある。

36019	改善すべき課題の 具体的な内容	特になし
ベルホーム管理運営事業		
36020	改善すべき課題の 具体的な内容	特になし
障害児通所支援事業		
36021	改善すべき課題の 具体的な内容	特になし
療育センター管理運営事業		
36022	改善すべき課題の 具体的な内容	特になし
おもいやり駐車場区画整備 事業費		

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	37	
単位施策名	生活保障の確保	
37001	改善すべき課題の具体的な内容	不正受給の増加が全国的な課題となっており、今後不正受給防止・早期発見が課題となる。
生活保護法に基づく自立支援事業		
37002	改善すべき課題の具体的な内容	警察や病院など、関係機関からの連絡により発生する事案である。
行旅病人及び行旅死亡人取扱事業		
37003	改善すべき課題の具体的な内容	支給件数が1件となり、効率性の向上は困難である。
外国人福祉給付金支給事務		
37004	改善すべき課題の具体的な内容	さまざまな研修に取り組んで職員のレベルアップを図る必要があるが、現時点では業務の多忙さゆえに基礎的な業務研修にとどまっている。
生活保護適正推進事業		
37005	改善すべき課題の具体的な内容	突発的に発生することに対して、効率性を向上させることが困難なこと。
災害見舞金の支給事務		
37006	改善すべき課題の具体的な内容	なし
社会福祉寄付金品受領事務		
37007	改善すべき課題の具体的な内容	戦没者、戦傷病者の遺族に対して個別対応が必要で、法定受託事務として効率性の向上は困難。
戦傷病者戦没者遺族等援護に関する事務		
37008	改善すべき課題の具体的な内容	災害救援物資の配布は、突発的に発生するもので、効率性の向上が困難。
日本赤十字社鈴鹿市地区事務		

37009		
国民生活基礎調査事務	改善すべき課題の 具体的な内容	調査員の確保が難しく、また調査内容が個々の収入等に関わることもあり、調査対象者の協力が得にくく、調査回収率が上がらない。
37010		
支援給付事業	改善すべき課題の 具体的な内容	平成24年度同様、対象世帯に対して経済的支援とともに家庭訪問等の相談業務を行い、安定した生活が送れるよう事業に取り組んでいく。
37011		
災害援護資金貸付金事業	改善すべき課題の 具体的な内容	なし。(ここ数年の事業実績なし。)
37012		
身体障害者等緊急保護事業	改善すべき課題の 具体的な内容	なし。(ここ数年の事業実績なし。)
37013		
国民年金事務	改善すべき課題の 具体的な内容	市町村事務処理基準に従って業務を行っており、改善の余地がない。
37014		
住宅手当緊急特別措置事業	改善すべき課題の 具体的な内容	就労支援を強化するような制度変更が予定されているので、変更に応じた取り組みが必要である。
37015		
更生保護施設整備費補助	改善すべき課題の 具体的な内容	—
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	39	
単位施策名	介護保険の推進	
39001	改善すべき課題の具体的な内容	介護給付費以外の事務的経費等について、更なる効率的な執行を求めていく。
鈴鹿亀山地区広域連合負担金(介護保険分)		
39002	改善すべき課題の具体的な内容	普通徴収の増加に伴う未納者対応の増加。
介護保険料賦課徴収事業		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	42	
単位施策名	働く場の確保と就労支援	
42001	改善すべき課題の具体的な内容	新規の講座も予定されているため、利用者数の増加を図るようにしたい。
労働雇用支援事業		
42002	改善すべき課題の具体的な内容	前年度比での契約額増加はあるが、契約数の増加や会員の獲得など運営努力や事務効率化などを求め、収支バランスの改善を求めたい。
シルバー人材センター運営支援事業		
42003	改善すべき課題の具体的な内容	直営事業に関しては、H25年度で終了し、その他の委託事業も26年度で終了する予定である。
緊急雇用創出事業		
42004	改善すべき課題の具体的な内容	—
鈴鹿地域職業訓練センター施設改修事業		
42005	改善すべき課題の具体的な内容	—
緊急経済対策住宅リフォーム促進事業		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	45	
単位施策名	健康診査の推進	
45001	改善すべき課題の具体的な内容	妊婦健康診査及び乳幼児健康診査に対する認識は高く、今後も継続した取り組みが必要なため。
妊婦乳幼児健康診査事業		
45002	改善すべき課題の具体的な内容	当事業は、地域住民に検診の機会を設定することにより、結核の早期発見・早期治療を行うことを目的としており、事業の必要性は高いため。
結核レントゲン検診事業		
45003	改善すべき課題の具体的な内容	予防接種法に基づく事業であり、継続的に実施していく必要があるため。
定期(任意)予防接種実施事業		
45004	改善すべき課題の具体的な内容	市民の健康保持を図る上において、当事業の必要性は高いことから、受診率の向上を図りつつ実施していくこととする。
各種がん検診事業		
45005	改善すべき課題の具体的な内容	生活習慣病の早期発見、早期治療につなげるため、今後も健康診査事業の実施が必要であるため。
健康増進法健康診査		
45006	改善すべき課題の具体的な内容	特定保健指導の受診率が低い。
特定健診実施事業		
45007	改善すべき課題の具体的な内容	歯周病の早期発見により、歯の喪失を防止することができるとともに、健康増進が図れるため。
歯周病検診		
45008	改善すべき課題の具体的な内容	安心して健全に子育てができるよう育児不安等の早期支援や虐待防止を目的とした事業であり、地域に住む対象者の子育て健康レベル向上につながる活動であるため、今後も継続する必要がある。
母子保健啓発事業		

45009	改善すべき課題の 具体的な内容	—
任意予防接種(ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんワクチン)		
45010	改善すべき課題の 具体的な内容	高齢者の肺炎予防を図ることにより、肺炎による対象者の生活の質の保持と医療費の削減を図るため、事業を継続していくことが必要。
任意予防接種(高齢者用肺炎球菌ワクチン)		
45011	改善すべき課題の 具体的な内容	—
未熟児養育医療		
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	
	改善すべき課題の 具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	47	
単位施策名	医療費助成による生活の安定	
47001	改善すべき課題の具体的な内容	福祉医療費助成制度改革検討会等で福祉医療制度について議論していく。
心身障害者医療費助成事務		
47002	改善すべき課題の具体的な内容	福祉医療費助成制度改革検討会等で福祉医療制度について議論していく。
子ども医療費助成事務		
47003	改善すべき課題の具体的な内容	福祉医療費助成制度改革検討会等で福祉医療制度について議論していく。
一人親家庭等医療費助成事務		
47004	改善すべき課題の具体的な内容	窓口業務であり、解決する課題はない。
後期高齢者医療制度窓口事務		
47005	改善すべき課題の具体的な内容	引き続き口座振替の推進に努める。
後期高齢者医療保険料徴収		
47006	改善すべき課題の具体的な内容	制度移行で会計事務が残っているもので、特に課題はない。
老人保健医療事務		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	53	
単位施策名	男女共同参画の総合的な取組の推進	
53001	改善すべき課題の具体的な内容	男女共同参画を意識しながら活動する団体を増やし、現状の登録団体については男女共同参画の意識を高めていく必要がある。
男女共同参画センター管理運営事業		
53002	改善すべき課題の具体的な内容	女性弁護士相談の日数を減らして電話相談日を増やしたが、弁護士相談が隔月になったことで急を要する相談に対応できなくなった。
男女共同参画相談事業		
53003	改善すべき課題の具体的な内容	社会情勢の変化に加え、DV・虐待等の件数が増加傾向にある。また支援方法や相談の手法に関して専門性が求められ、今後も継続的な対応や支援を必要とする家庭が増加すると思われる。
児童虐待・DV対策事業総合支援事業		
53004	改善すべき課題の具体的な内容	「鈴鹿市男女共同参画基本計画」で掲げる26年度に審議会等への女性委員登用率を40%にする目標に向けてペースを上げて進めなければならない。
男女共同参画基本計画推進事業		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	58	
単位施策名	ユビキタスネット社会への対応	
58001		
情報通信技術(ICT)普及事業	改善すべき課題の具体的な内容	市が提供している講習用パソコンのOS(WindowsXP)の延長サポートが平成26年4月をもって終了するため、パソコンの更新による事業継続或いはNPOが拠点の白子サンズにて実施しているパソコンのミニ講座への統合など、当該事務事業の方向性を判断する必要がある。
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	65	
単位施策名	中小企業の高度化・高付加価値化の推進	
65001	改善すべき課題の具体的な内容	多様な企業サイズに対応できる支援アドバイザーの確保。
ものづくり産業支援センター事業		
65002	改善すべき課題の具体的な内容	事務事業コード:077001 事務事業名:産業政策推進事業
知財先進都市支援事業推進		
65003	改善すべき課題の具体的な内容	—
市制70周年記念事業(ものづくり産業展開催)		
65004	改善すべき課題の具体的な内容	—
モノづくり元気企業支援		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	67	
単位施策名	商店街の活性化促進	
67001	改善すべき課題の具体的な内容	市の経費負担のあり方を検討していく必要がある。
鈴鹿市商店街等活性化促進事業		
67002	改善すべき課題の具体的な内容	商店街の規模が縮小してきているため運用経費の負担が増大している。
鈴鹿市商店街共同施設設置事業		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	77	
単位施策名	新産業の集積の促進	
77001	改善すべき課題の具体的な内容	事業者への情報提供について、鈴鹿市ものづくり支援センターとの連携。
産業政策推進事業	改善すべき課題の具体的な内容	
77002	改善すべき課題の具体的な内容	—
次世代産業育成支援事業	改善すべき課題の具体的な内容	
77003	改善すべき課題の具体的な内容	—
EV導入事業	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	82	
単位施策名	市民の防災力強化	
82001	改善すべき課題の具体的な内容	命を守ることを最優先に、災害時における被害の様相や規模等を市と地域、住民の間で共有し、それぞれで対応できることを見極め、備える必要がある。
自主防災組織育成事業		
82002	改善すべき課題の具体的な内容	命を守ることを最優先に、災害時における被害の様相や規模等を市と地域、住民の間で共有し、それぞれで対応できることを見極め、備える必要がある。
市民防災啓発事業		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	88	
単位施策名	地域消防力の整備充実	
88001	改善すべき課題の具体的な内容	消防団員の定数は、行政地区ごとに定められており、地区の定数に欠員が生じない限り、希望者であっても採用できないことが、公募促進の弊害となっている。
消防団活動事業		
88002	改善すべき課題の具体的な内容	消防団の活動の原点は、地域密着性であり、管轄地域の特性にあった車両、装備の導入が進められていない。
消防団車両等整備事業		
88003	改善すべき課題の具体的な内容	年次計画による投資的予算の有効活用をもって事業の推進を図っている。
消防団施設整備事業		
88004	改善すべき課題の具体的な内容	事業が完了している。
消防団安全対策設備		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	91	
単位施策名	生活道路の整備推進	
91001	改善すべき課題の具体的な内容	—
道路、橋梁新設改良事業		
91002	改善すべき課題の具体的な内容	—
三畑72号線外道路整備事業		
91003	改善すべき課題の具体的な内容	生活道路の用地取得は、市民の生活に密着した道路を整備していくうえで重要な事業であるため、現状を維持していく必要がある。
生活道路用地取得事務		
91004	改善すべき課題の具体的な内容	未登記処理事務を行うことで、地権者及び市の双方にメリットがあるため、現状維持の方向で継続していきたい。
市道敷における用地未登記処理事務		
91005	改善すべき課題の具体的な内容	道路後退用地等整備推進事業を現体制で推進するとともに、指定道路図の公表に向けて道路の法的根拠を明確にするよう努めたい。
狭あい道路対策費(道路後退用地等整備推進事業)		
91006	改善すべき課題の具体的な内容	—
山本中辻1号線外整備事業		
91007	改善すべき課題の具体的な内容	—
安塚393号線道路整備事業		
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	94	
単位施策名	安全で良質な建築物の確保	
94001		
建築確認等業務	改善すべき課題の具体的な内容	当該事業は法律で定められた申請であり、確認申請件数に関係なく完了検査合格率も目標値に近いことから、現状継続とする。
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	99	
単位施策名	企業性を重視した水道事業の経営	
99001	改善すべき課題の具体的な内容	水道事業の仕組み、現状及び取り組みを積極的にPRすることにより、利用者の理解を深める。
水道啓発事業		
99002	改善すべき課題の具体的な内容	事業の継続性を保ちつつ、年数経過に伴う庁舎管理、公用車管理関係経費の増加が見込まれることから、適正管理に努める必要がある。
水道局庁舎・財産等管理事務		
99003	改善すべき課題の具体的な内容	水道事業の円滑な運営には、必要な事業である。
水道局職員人事管理事務		
99004	改善すべき課題の具体的な内容	水道事業を進めていくうえで必要な事業であり、継続的な電子決裁の取組み、意識向上が求められる。
文書管理事務		
99005	改善すべき課題の具体的な内容	水道施設の維持・管理に必要な事業である。
入札及び契約事務(水道局)		
99006	改善すべき課題の具体的な内容	今後も水道事業を円滑に進めていくうえで必要な事業である。また、水道事業の経営基盤強化を図るために遊休資産の売却処分を進めていく必要がある。
予算編成及び事業計画事務		
99007	改善すべき課題の具体的な内容	鈴鹿市土地開発公社の借入金との相殺預金について、借入利率の一番低い金融機関を落札者としているため、預金利率も限りなく低くなってしまったため、やり方を改善する。
水道事業会計経理事務		
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	106	
単位施策名	市民参加のまちづくりの推進	
106001	改善すべき課題の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全地区に地域づくり協議会が設立されるよう未設置の地区に働きかける。 ・最終的に地域づくり協議会にどこまでの権限をもっていくのか。他市が実施している「地域包括交付金」のような制度の導入が本市でも可能かどうかの検討する。
地域づくり推進事業		
106002	改善すべき課題の具体的な内容	<p>増加傾向にある行政からの回覧文書と他の媒体との重複周知, また, 省資源化のための自治会長宛て鑑文の省略について改善が必要と考える。</p>
自治会委託事務		
106003	改善すべき課題の具体的な内容	<p>短期的課題として市自治会連合会事業の活性化及び参加率向上, 長期的課題としては連合会の自立化が課題と捉えている。</p>
自治会団体事務		
106004	改善すべき課題の具体的な内容	<p>法令に定めのある事業であることから, 引き続き, 諸手続きに関して適切な支援に努めつつ現状継続を図っていく。</p>
地縁団体認可事務		
106005	改善すべき課題の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「鈴鹿市まちづくり基本条例」の理念を周知し, 市民参加に関する理解や関心を高めることが必要。 ・市民活動団体相互の連携を図り, 市全体の市民活動の活性化を促進する。
市民参加推進事業		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	107	
単位施策名	市民参加の活動環境の充実	
107001	改善すべき課題の具体的な内容	男女共同参画センターに持たせている市民活動センターとしての一部機能について、関連図書の紹介・閲覧・貸出しや各市民団体の情報発信・活動紹介など、市民活動への理解・認識を広める場として活用することを促進する。 「市民活動センター」の設置に向け、市民活動団体等関係機関と意見交換の場を持つ。
市民活動センター設置事業		
107002	改善すべき課題の具体的な内容	コミュニティセンター運営委員会の事業が、施設管理業務に偏ってしまっている。コミュニティセンター設置の趣旨を鑑み、地域コミュニティ形成の場としての役割が十分果たしているのか、原点に戻って検討していく。
コミュニティセンター管理・運営事業		
107003	改善すべき課題の具体的な内容	施設の老朽化に伴う維持修繕費の増加
地区市民センター施設管理運営事業		
107004	改善すべき課題の具体的な内容	H25.04に要綱の一部改正を行ったことから、今後においても各会議などを通じて周知に努めていきたいと考える。
集会所建築等補助事業		
107005	改善すべき課題の具体的な内容	H25.04に要綱の一部改正を行ったことから、今後においても各会議などを通じて周知に努めていきたいと考える。
町内掲示板設置補助事業		
107006	改善すべき課題の具体的な内容	H25.04に要綱の一部改正を行ったことから、今後においても各会議などを通じて周知に努めていきたいと考える。
自治会放送施設設置補助事業		
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	108	
単位施策名	市民への情報提供の推進	
108001	改善すべき課題の具体的な内容	情報公開コーナーにおける行政資料の収集の充実を引き続き図るとともに、市民に対する市政情報の積極的な提供を推進する必要がある。
情報公開事務		
108002	改善すべき課題の具体的な内容	引き続き、多色刷りの特性を活かし、写真やイラストを用いた分かりやすい紙面づくりに努める。
広報すずか発行事業		
108003	改善すべき課題の具体的な内容	引き続き、イラストや写真、表などを用い、分かりやすい映像に努める。
テレビ広報事業		
108004	改善すべき課題の具体的な内容	平成24年度にトップページのデザインリニューアルを行い、検索機能が向上した。一方で、他言語対応のページについては、情報量が古く少ないため、改善が必要である。
ホームページ管理運営事業		
108005	改善すべき課題の具体的な内容	引き続き、ラジオ広報の認知度を高めるため広報すずか等で周知を図る。
コミュニティFM広報事業		
108006	改善すべき課題の具体的な内容	市長メッセージ、公務日程の公開等について、現状では十分な発信レベルを維持していると考えられる。
政策広報業務(市長のWebページに関する情報管理)		
108007	改善すべき課題の具体的な内容	庁内の各部署に対し、積極的に報道機関へ情報提供をするよう呼び掛けるとともに、資料作成にあたっては、引き続き担当課と連絡調整を行い記者の知りたい情報を提供しよう努める。
報道機関との連絡調整事務		
108008	改善すべき課題の具体的な内容	メールモニターの回答者数が減少している。
メールモニター事業		

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	109	
単位施策名	市民の声の的確な把握	
109001		
「市民の声」広聴事業	改善すべき課題の具体的な内容	平成24年度中に「市政への提言」のホームページのレイアウトを見直し、平成25年3月に公開した。今後、市民の方からのご意見や市民の声利用者数の増減などを分析・検討し、更なる改善を図っていく。
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

構成事務事業「改善すべき課題の具体的な内容」一覧

単位施策コード	110	
単位施策名	国・県との連携	
110001	改善すべき課題の具体的な内容	国や県からの補助制度をより多く活用し、財源確保につなげ事業推進を図っていく必要がある。
各種補助制度申請事務	改善すべき課題の具体的な内容	国や県からの補助制度をより多く活用し、財源確保につなげ事業推進を図っていく必要がある。
110002	改善すべき課題の具体的な内容	社会経済環境が厳しい中、要望事項の実現につなげるために、要望内容や要望方法の検討、国や県へ積極的な働きかけを行うための機会の確保が課題となる。
国・県等への要望活動	改善すべき課題の具体的な内容	社会経済環境が厳しい中、要望事項の実現につなげるために、要望内容や要望方法の検討、国や県へ積極的な働きかけを行うための機会の確保が課題となる。
110003	改善すべき課題の具体的な内容	新三次一括法の進捗を把握を積極的に情報収集していく。国や県に必要な情報を発信していく。
地方分権推進事業	改善すべき課題の具体的な内容	新三次一括法の進捗を把握を積極的に情報収集していく。国や県に必要な情報を発信していく。
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	
	改善すべき課題の具体的な内容	

⑤行財政経営計画検証委員会 委員名簿

- 杉浦 礼子（すぎうら れいこ）
高田短期大学キャリア育成学科 教授
- 千種 智之（ちくさ ともゆき）
鈴鹿地区労働者福祉協議会 会長
- 林 佳代子（はやし かよこ）
鈴鹿市青少年育成市民会議 事務局長
- 平井 憲章（ひらい のりゆき）
鈴鹿国際交流協会 理事長
- 山崎 昭（やまざき あきら）
鈴鹿市体育協会 理事兼事務局長

※五十音順

⑥鈴鹿市市民委員会規則（一部抜粋）

（設置）

第1条 市政における各種行政課題等に関し市民からの意見を聴くとともに，市民参加の開かれた市政の運営等に資するため，鈴鹿市市民委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（名称等）

第2条 委員会の名称，所掌事項等は，別表のとおりとする。

（任期）

第3条 委員会の委員は，再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は，前任者の在任期間とする。

（委員長）

第4条 委員会に，委員長を置き，委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は，会務を総理し，委員会を代表する。

3 委員長に事故があるときは，あらかじめその指名する委員が，その職務を代理する。

（部会等）

第5条 委員会に専門事項の調査検討，軽易な事項の審査等必要があるときは，部会又は小委員会を置くことができる。

（事務局）

第6条 委員会の事務を処理させるため，委員会に，事務局を置く。

（委任）

第7条 この規則に定めるもののほか，委員会の運営等に関し必要な事項は，要領で定める。

（別表）

30 鈴鹿市行財政経営画検証委員会

目的	総合計画の基本計画である行財政経営計画の目標達成のため，社会情勢や市民ニーズと照らし合わせて，行財政経営計画の適切な進行管理を図る。
所掌事項	(1) 行財政経営計画の進行管理の検証に関すること。 (2) 前号に掲げるもののほか，市長が必要と認める事項
選任基準	(1) 鈴鹿市総合計画審議会委員経験者 (2) 学識経験者 (3) 前2号に掲げる者のほか，市長が必要と認める者
定数	5人以内
任期	2年以内
事務局	企画財務部企画課